

工事仕様書

工事名称 鷺浦小学校屋内運動場長寿命化改修工事(建築主体工事)

工事場所 三原市鷺浦町須波

工事内容 次のとおり、鷺浦小学校屋内運動場の長寿命化改修工事を行う。

【工事概要】

1 屋内運動場

- 1) 屋根改修工事
- 2) 外壁改修工事
- 3) 建具改修工事
- 4) 内装改修工事(体操場床、控室壁、地下倉庫)

2 渡り廊下

- 1) 屋根改修工事
- 2) 外壁改修工事

準 則 公共建築工事標準仕様書(最新版)、公共建築改修工事標準仕様書(最新版)、建築物解体工事共通仕様書(最新版)に基づき施工する。

関係法令等 本工事については、次の関係法令その他の規定等に基づき施工すること。

- ・建築基準法、同施行令、同施行規則
- ・消防法、同施行令、同施行規則
- ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律、同法施行令、同法施行規則
- ・労働安全衛生法、同法施行令、労働安全衛生規則
- ・建設工事公衆災害防止対策要綱
- ・石綿障害予防規則
- ・大気汚染防止法、振動規制法及び土壌汚染対策法
- ・建設工事に係る再資源化等に関する法律、同法施行令、同法施行規則
- ・その他関係法令

工事保険等 受注者は、本工事において第三者に与えた損害を補填する保険又はその他必要とする建設工事に関連する保険等に加入しなければならない。

疑義変更 本設計図書は、設計の概要を示すものであり、詳細部等について技術的必要事項は明記なくとも完全に施工すること。

施工に際して疑義を生じた場合、または軽微な変更を必要とする場合には、速やかに監理者と協議し、監督員の指示により施工すること。ただし、これらに於いて受注金額の増減はなきものとする。

提出書類 施工に先立ち、工事工程表、仮設計画図及び監督員の指示する書類を提出し、監督員の承認を受けること。商品名及び製造者名が記載された材料については、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督員の承諾を受けるものとする。また、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料を提出して監督員の承諾を受けるものとする。

工 期 本工事は請負契約締結の後、令和6年2月29日をもって工期とする。このうち検査期間としてこのうち検査期間として13日間を見込んでいる。

留意事項

- ・入札に先立ち現地調査を十分に行ない、質疑がある場合は入札前に確認すること。
- ・本工事は、学校関係者等の安全はもとより、丁寧な説明と施工により、理解と協力を得ながら実施すること。
- ・行政機関の休日に関する法律(昭和63年法律第91号)に定める行政機関の休日に工事の施工を行わない。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合は、この限りではない。
- ・工事中に粉塵の発生が予想される工種については、周辺の環境対策のため散水を実行すること。
- ・工事期間中は付近の交通の安全を図ると共に、必要な場合には交通誘導員を配置し事故及び危険防止に努めること。
- ・周辺道路の保全及び清掃については、常に注意を払い定期的に清掃を行うこと。
- ・工事車両等により周辺の道路を汚した場合は、清掃を行うこと。
- ・第三者災害防止及び飛散防止対策のため、必要に応じて監督員の指示する範囲に、バリケード等を設置すること。また、苦情等発生した場合にはこれに対応すること。
- ・台風等の強風が見込まれる場合、事前に足場等の養生シートを折りたたむなど対策を施すこと。
- ・工事に係る電気、水道及び下水道料金等は受注者の負担とする。
- ・施工面積(外構工事含む)が3,000㎡以上の場合、土壌汚染対策法第4条第1項に規定する届け出を工事着手30日前までに所轄官庁へ提出すること。
- ・石綿含有建材の調査について、工事着手前までに書面及び目視調査を、一般建築物石綿含有建材調査者、特定建築物石綿含有建材調査者、またはこれらの者と同等以上の能力を有すると認められる者が行うこと。
- ・また、含有建材の調査結果を工事着手前までに発注者に対し説明を行うこと。
- ・廃石綿等が発見された場合は、建築物解体工事共通仕様書のアスベスト含有建材の除去等に基づき、適切に除去を行うこと。
- ・その他石綿の飛散防止等については、改正大気汚染防止法及び施行令(令和3年4月1日施行)に基づくこと。
- ・官公署その他への手続きは受注者の負担で遅滞なく行うこと。
- ・施工箇所周囲の備品、機器等については、養生及び清掃等を実行すること。
- ・図面に明示されていない事項であっても、工事上必要とされる事は工事範囲とする。
- ・工事に伴い各種申請手数料等が発生した場合は受注者の負担とする。
- ・配筋検査は、受注者による自主検査を行ったうえ、監理者及び監督員による検査を受検すること。なお、これらの検査は、種類、径及び数量については全数検査を行うこと。
- ・本工事の外注資材、労務等の調達については、極力、三原市内に主たる営業所を有する業者に発注すること。困難な場合は、あらかじめ、理由を添えて発注者の承認を受けること。
- ・外部足場等に過剰な宣伝広告はしないこと。
- ・受注者事務所、休憩所及び便所等は関係法令に従って設けること。
- ・工事完了後、完成図として製本図面(二つ折り・A3縮小版)を3部提出すること。
- ・広島県工事中情報共有システムを利用すること。なお、本工事にシステム利用料金を見込む。
- ・監督員の指示する位置に、屋根を点検するためのタラップ設置を見込んでいる。

鷺浦小学校屋内運動場長寿命化改修工事(建築主体工事)

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A - 01	表紙・目次				
A - 02	建築改修工事特記仕様書 (1)				
A - 03	建築改修工事特記仕様書 (2)				
A - 04	建築改修工事特記仕様書 (3)				
A - 05	建築改修工事特記仕様書 (4)				
A - 06	建築改修工事特記仕様書 (5)				
A - 07	建築改修工事特記仕様書 (6)				
A - 08	建築改修工事特記仕様書 (7)				
A - 09	建築改修工事特記仕様書 (8)				
A - 10	外壁改修工事特記仕様書 (1)				
A - 11	外壁改修工事特記仕様書 (2)				
A - 12	外壁改修工事特記仕様書 (3)				
A - 13	付近見取図・配置図				
A - 14	外部仕上表				
A - 15	内部仕上表				
A - 16	地階、1階平面図 (改修前・後)				
A - 17	2階平面図 (改修前・後)				
A - 18	屋根伏図 (改修前・後)				
A - 19	立面図 1 (改修前・後)				
A - 20	立面図 2 (改修前・後)				
A - 21	立面図 3 (改修前・後)				
A - 22	断面図 (改修前・後)				
A - 23	矩計図 (改修前)				
A - 24	矩計図 (改修後)				
A - 25	断面詳細図 1 (改修前)				
A - 26	断面詳細図 1 (改修後)				
A - 27	断面詳細図 2 (改修前)				
A - 28	断面詳細図 2 (改修後)				
A - 29	耐震フレーム塗装改修図 1 (改修前・後)				
A - 30	耐震フレーム塗装改修図 2 (改修前・後)				
A - 31	器具庫詳細図 (改修前・後)				
A - 32	器具庫展開図 (改修前・後)				
A - 33	器具庫 1、2 棚詳細図 (改修前・後)				
A - 34	床伏図 (改修前)				
A - 35	床伏図 (改修後)				
A - 36	建具表 1 (改修前・後)				
A - 37	建具表 2 (改修前・後)				
A - 38	建具表 3 (改修前・後)				
A - 39	アルミサッシカバー工法納まり図 (参考図)				
A - 40	渡り廊下平面詳細図 (改修前・後)				
A - 41	渡り廊下立面図・断面図 (改修前・後)				
A - 42	防球ネット詳細図 1 (参考図)				
A - 43	防球ネット詳細図 2 (参考図)				
A - 44	仮設計画図 (参考図)				
A - 45	劣化調査 立面図 1				
A - 46	劣化調査 立面図 2				
A - 47	劣化調査 2階平面図				
A - 48	劣化調査 2階展開図				

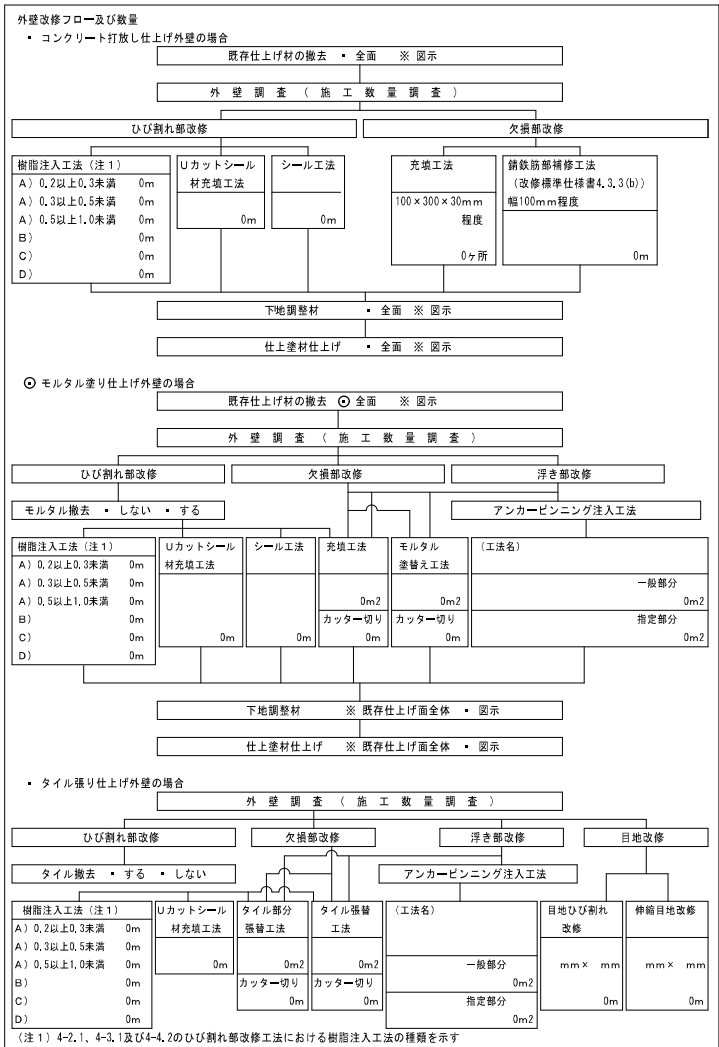


2	仮設工事	① 騒音・粉じん等の対策	[2.1.3] 騒音・粉じん等の対策 ・ 防音パネル ○ 防音シート 防音パネル、防音シートを取り付ける足場の設置範囲 ※ 工事に必要な範囲																																			
		② 足場等	[2.2.1] [表2.2.1] 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1手すり先行工法による足場の積立等に関する基準」における2(2)手すり設置方式又は(3)手すり専用足場方式により行う。 外部足場 ○ 設置する(範囲 ※ 工事に必要な範囲) ・ 設置しない 防塵シート ○ 設置する(範囲 ※ 工事に必要な範囲) ・ 設置しない 内部足場 ○ 設置する(※ 脚立、足場板等) ・ 設置しない 材料、撤去等の運搬方法 ・ A種 ○ B種 ・ C種 ○ D種 ○ E種 C種: 利用可能なエレベーター() D種: 利用可能な階段()																																			
	3	③ 既存部分の養生	養生方法等 [2.3.1] ○ 既存部分の養生方法 ※ ビニルシート、合板等による ○ 既存家具、既設設備等の養生方法 ※ ビニルシート等 ・ 既存プラインド、カーテン等の養生方法 ※ ビニルシート等(取外し再取付を行う) 保管場所 ※ 構内既設施設内 ・ 固定された家具等(備品、机、ロッカー等)の移動 ※ 行う(図示) 既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。																																			
		④ 仮設間仕切り	[2.3.2] 仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所 ※ 図示 仮設間仕切りの種類と材質等 ・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ 図示 A、B種の仕上げ材 ※ せっこうボード(GB-R 厚さ9.5mm) ・ 合板(普通合板 厚さ9mm) A、B種の片面への塗装等 ※ 行わない ・ 行う A種のガラスウールの充填 ※ 行う(JIS A 6301ガラスウール吸音材32K厚50mm) ・ 行わない 仮設扉の種類 ※ 木製(合板張り程度) ・																																			
	3	⑤ 監督職員事務所等	[2.4.1] ・ 設ける m2程度 ※ 設けない 現場に設置する備品等は、現場説明書の施工条件明示による																																			
		⑥ 工事用水	構内既設の施設 ・ 利用できる(※ 有償 ・ 無償) ※ 利用できない																																			
		⑦ 工事用電力	構内既設の施設 ・ 利用できる(※ 有償 ・ 無償) ※ 利用できない																																			
		⑧ 仮囲い等の安全施設	別紙設計図による																																			
		⑨ 工事現場の表示	現場の見えやすい位置に、監督職員が指示する次の表示板を設置する ○ 工事名等の表示板(900mm×600mm) ○ 工事概要等の説明看板(900mm×600mm)																																			
		⑩ 交通誘導員	※ 配置する ・ 配置しない ※ 大型車両進入時()人/日 ・ 常時配置()人/日 ・ ()作業時間()人/日																																			
① 降雨等に対する養生方法		[3.1.3] ※ 改修標準仕様書3.1.3(5)7)~(9)による。																																				
② 既存防水の処理		[3.2.3, 4, 6] 既存保護層の撤去 ・ 行う(範囲 ※ 図示) ・ 行わない 既存防水層の撤去 ・ 行う(範囲 ※ 図示) ・ 行わない 既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ○ 行う(・ M4AS ・ M4AS1 ・ M4C ・ M4D1 ○ L4X) ・ 行わない																																				
4	③ 既存下地の処置	[3.2.6] 既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等 ※ 図示 POS工法及びPISI工法(機械的固定工法)の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処置 ※ 改修標準仕様書3.2.6(4)(9)(g)①~③による 設備機器架台、配管受部、パラベット、貫通パイプ回り、手すり・丸環の取付部、塔屋出入口部等の欠損部及び防水層末端部の納まり部の処理 ※ 図示。ただし、図示が無いものは監督職員と協議する																																				
	④ アスファルト防水	[3.3.2~5] 屋根保護防水 防水層の種類 <table border="1"> <thead> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材</th> <th>絶縁用シート</th> <th>立上り部の保護</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">・ P2A</td> <td>・ A-1</td> <td rowspan="4">※ ポリエチレンフィルム</td> <td rowspan="4">※ ポリエチレンフィルム</td> <td rowspan="4">0.15mm以上</td> <td rowspan="4">乾式保護材 ・ コンクリート 厚さ ・ れんがが押え ※ JIS R 1250</td> </tr> <tr> <td>※ A-2</td> </tr> <tr> <td>・ A-3</td> </tr> <tr> <td>・ A-3</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・ P1B</td> <td>・ B-1</td> <td rowspan="3">※ フラット</td> <td rowspan="3">※ フラット</td> <td rowspan="3">ヤーンクロス 70g/m2程度</td> <td rowspan="3">乾式保護材 ・ コンクリート 厚さ ・ れんがが押え ※ JIS R 1250</td> </tr> <tr> <td>※ B-2</td> </tr> <tr> <td>・ B-3</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ P2A1</td> <td>・ A1-1</td> <td rowspan="2">JISA9521に基づく押出法 ポリスチレンフォーム断熱材3種 b A (スキン層付き) (厚さ) ※ 25mm ・ 50mm</td> <td rowspan="2">※ フラット</td> <td rowspan="2">ヤーンクロス 70g/m2程度</td> <td rowspan="2">乾式保護材 ・ コンクリート 厚さ ・ れんがが押え ※ JIS R 1250</td> </tr> <tr> <td>※ A1-2 ・ A1-3</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ P1B1</td> <td>・ B1-1</td> <td rowspan="2">※ フラット</td> <td rowspan="2">※ フラット</td> <td rowspan="2">ヤーンクロス 70g/m2程度</td> <td rowspan="2">乾式保護材 ・ コンクリート 厚さ ・ れんがが押え ※ JIS R 1250</td> </tr> <tr> <td>※ B1-2 ・ B1-3</td> </tr> </tbody> </table> 改質アスファルトフイーグシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による 部分粘着層付改質アスファルトフイーグシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による 平場の保護コンクリートの厚さとして仕上げ こて仕上げ ※ 水下 80mm以上 床タイル張り ※ 水下 60mm以上 乾式保護材 商業系パネル: 無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形シートクレープ養生したもの。 金属複合板: 金属板と樹脂を積層一体化したもの。	工法	種別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート	立上り部の保護	・ P2A	・ A-1	※ ポリエチレンフィルム	※ ポリエチレンフィルム	0.15mm以上	乾式保護材 ・ コンクリート 厚さ ・ れんがが押え ※ JIS R 1250	※ A-2	・ A-3	・ A-3	・ P1B	・ B-1	※ フラット	※ フラット	ヤーンクロス 70g/m2程度	乾式保護材 ・ コンクリート 厚さ ・ れんがが押え ※ JIS R 1250	※ B-2	・ B-3	・ P2A1	・ A1-1	JISA9521に基づく押出法 ポリスチレンフォーム断熱材3種 b A (スキン層付き) (厚さ) ※ 25mm ・ 50mm	※ フラット	ヤーンクロス 70g/m2程度	乾式保護材 ・ コンクリート 厚さ ・ れんがが押え ※ JIS R 1250	※ A1-2 ・ A1-3	・ P1B1	・ B1-1	※ フラット	※ フラット	ヤーンクロス 70g/m2程度	乾式保護材 ・ コンクリート 厚さ ・ れんがが押え ※ JIS R 1250
工法	種別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート	立上り部の保護																																	
・ P2A	・ A-1	※ ポリエチレンフィルム	※ ポリエチレンフィルム	0.15mm以上	乾式保護材 ・ コンクリート 厚さ ・ れんがが押え ※ JIS R 1250																																	
	※ A-2																																					
	・ A-3																																					
	・ A-3																																					
・ P1B	・ B-1	※ フラット	※ フラット	ヤーンクロス 70g/m2程度	乾式保護材 ・ コンクリート 厚さ ・ れんがが押え ※ JIS R 1250																																	
	※ B-2																																					
	・ B-3																																					
・ P2A1	・ A1-1	JISA9521に基づく押出法 ポリスチレンフォーム断熱材3種 b A (スキン層付き) (厚さ) ※ 25mm ・ 50mm	※ フラット	ヤーンクロス 70g/m2程度	乾式保護材 ・ コンクリート 厚さ ・ れんがが押え ※ JIS R 1250																																	
	※ A1-2 ・ A1-3																																					
・ P1B1	・ B1-1	※ フラット	※ フラット	ヤーンクロス 70g/m2程度	乾式保護材 ・ コンクリート 厚さ ・ れんがが押え ※ JIS R 1250																																	
	※ B1-2 ・ B1-3																																					

(品質・性能)					
分類・規格		・ 商業系パネル I 類 (寒冷地仕様)	・ 商業系パネル II 類 (一般地仕様)	・ 金属複合板	
寸法 (mm)	厚さ (mm)				
寸法の許容差	厚さ: +10%、-5%、幅: ±1%				
出荷時の含水率	出荷時において10%以下				
曲げ強さ・曲げモーメント (N・cm)	標準時 550以上	450以上	300以上		
凍結融解完了時 (試験サイクル数)	400以上 (300)	320以上 (200)	250以上 (300)		
吸水率 (%)	20以下	20以下	1以下		
吸水による長さ変化率 (%)	0.07以下	0.07以下	0.01以下		
脆性	不燃	不燃	表面層は不燃		
耐凍結融解性能	曲げ強さ、曲げモーメントの凍結融解完了時の試験サイクル後、著しい割れや剥離がなく、外観上異常がないこと				
耐衝撃性能	質量500g (商業系パネル I 類は1,000g) のなす形おもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落とすとき、裏面に達する穴があかないこと。	質量500g (商業系パネル I 類は1,000g) のなす形おもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落とすとき、裏面に達する穴があかないこと。残留変形量1/100以下かつ加圧時の最大変形量1/100以下。			
剛性 (E×I)	-	-	80,000N・cm ² 以上		
(試験方法)					
(1) 寸法の測定方法 (厚さ) 供試体の周辺から20mm以上内側の四隅を0.05mmまで測定できる測定器で測り、4点の平均値を求めパネルの厚さとする。 (幅) 供試体を平らな台に置き、供試体のほぼ中央1層所の幅寸法を、JIS B 7512「鋼製巻尺」に規定する目量が1mmの1級コンベックスルーラー又は、JIS B 7516「金属直尺」に規定する目量が1mmの1級置尺を用いて測定する。 (2) 曲げ強度試験は、JIS A 1408「建築用ボード類の曲げ及び衝撃試験方法」による。試験体は3号試験体とする。幅及び厚さは製品寸法とし、支持スパン長さは400mmとする。試験方法は試験体の表面からスパン中央全幅に集中荷重を印加し、試験体が破壊した時の最大荷重を測定する。同時に破壊時の中央部のたわみ量について、変位計を用いて測定する。測定項目については、凍結融解試験前、同試験100、200、300サイクル完了後の合計4項目に亘って測定する。(商業系パネル II 類は200サイクルまでとする。) なお、荷重を加える時の平均速度は、1~3分間で予想最大荷重に達する程度とする。 (3) 吸水率試験は、JIS A 5430「繊維強化セメント板」に準じて行う。 (4) 脆性試験は、JIS A 1321「建築物の内装材料及び工法の脆性試験方法」に準じて行う。 (5) 吸水による長さ変化率試験は、試験体(幅40mm×長さ160mm×素材厚さ)を乾燥機に入れ、その温度を60±3℃に保ち24時間経過した後取り出してJIS K 8123「塩化カルシウム(試薬)」に規定する塩化カルシウム又は JIS K 1464「工業用乾燥剤」に規定する品質に適合するシリカゲルで調湿したデシケータに入れ、常温まで冷却する。次に、試験体の縁線間が140mmになるように標線を描く。その後、1/150mm以上の精度をもつコンパレータを用いて標線の長さを測定し、それを基準(L1)とする。次に試験体の長さ方向を水平にこぼ立てし、その上端が水平下約30mmとなるように保持して、常温の水中に浸せきする。24時間経過した後、試験片を水中から取り出して湿布で表面に付着した水を拭き取り、再び標線の長さ(L2)を測る。 吸水による長さ変化率(ΔL)は、次式によって求める。 (ΔL) = (L2 - L1) / L1 × 100 ΔL: 吸水による長さ変化率(%) L1: 乾燥時の標線間の長さ(mm) L2: 吸水時の標線間の長さ(mm) (6) 耐凍結融解性能試験は、JIS A 5422「商業系サイディング」の気中凍結融解試験法によって行う。100、200、300サイクル完了時の曲げ強度測定及び外観の状態を観察する。(商業系パネル II 類は200サイクルまでとする。) -20±3℃の気中での約2時間の凍結、20±3℃の水中での約1時間の融解を行う3時間を1サイクルとする。 (7) 耐衝撃性能試験は、JIS A 1408「建築用ボード類の曲げ及び衝撃試験方法」の衝撃性能試験に準じて行う。試験体の支持装置は、記号S2対辺単純支持法による。試験体の大きさは、4号(長さ400mm、幅300mm)とする。おもりは、鋼製のなす形おもりとし、記号(W1-1000)、質量1,000gとする。試験体を支持装置で支持して、堅固な床に水平に置き、おもりを試験体のほぼ中央の距直上1.0mから試験体の弱点部に自然落下させ、裏面に達する穴の有・無を確認する。金属複合板の残留変形量は、最大くぼみ深さを測定する。					
屋根露出防水 防水層の種類					
工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射反射率の防水の適用
・ M4C	・ O-1	※ 製造所の指定による	-	-	-
	・ O-2				
	・ O-3				
	・ O-4				
・ M3D	・ D-1	※ 製造所の指定による	-	-	-
	・ D-2				
	・ D-3				
	・ D-4				
・ M4D1	・ D1-1	JIS A 9521(建築用断熱材)に基づく発泡プラスチック断熱材(種類) ※ 複質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号(厚さ) ※ 25mm ・ 50mm	-	-	-
	・ M3D1				
	・ M4D1				
	・ M4D1				

改質アスファルトシート防水										
断気装置の種類 ※ アスファルトフイーグ類の製造所の仕様 断気装置の設置数量 ※ アスファルトフイーグ類の製造所の仕様										
屋根露出防水絶縁断熱工の場合の、ルーフトレンドリ及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※ 図示										
屋内防水										
工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射反射率の防水の適用					
・ P1E ・ P2E	・ E-1 ※ E-2	-	-	-	-					
						・ 設ける ・ 設けない				
E-1の場合で工程3を行う部位(※ 貯水槽、浴槽等常時水に接する部位)										
押え金物の材質、形状及び寸法 ※ アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 屋上排水溝 ※ 図示										
防水層の種類 [3.4.2, 3]										
工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射反射率の防水の適用					
・ M4AS	・ AS-T1 ・ AS-T2 ・ AS-U2	-	-	※ 製造所の指定による	-					
						・ M3AS	・ AS-T3 ・ AS-T4	-	-	-
						・ M3AS1 ・ M4AS1 ・ P0AS1	・ AS1-T1 ・ AS1-J1	JIS A 9521(建築用断熱材)に基づく発泡プラスチック断熱材 ※ 複質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号(厚さ) ※ 25mm ・ 50mm	※ 製造所の指定による	断気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない
改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書3.4.1から表3.4.3による 粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書3.4.1から表3.4.3による 部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書3.4.1から表3.4.3による 断気装置の種類 ※ 改質アスファルトシートの製造所の仕様 断気装置の設置数量 ※ 改質アスファルトシートの製造所の仕様										
押え金物の材質、形状及び寸法 ※ アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度										
防水層の種類 [3.5.2~4] [表3.5.1~3]										
工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射反射率の防水の適用					
・ POS ・ SAS	・ S-F1	-	-	-	-					
						・ S-F2 ・ S-W1	-	-	-	
										・ S-W2 ・ S-W3
						・ S3S	・ S-F1	-	-	
・ M4S	・ S-W1	-	-	-	-					
						・ S-F2 ・ S-W3	-	-	-	
										・ POS1 ・ S3S1 ・ SAS1 ・ M4S1
						・ S1-F2 ・ S1-W1	(材質) ※ 改修標準仕様書3.5.2(a)(3)(b)による(厚さ) ※ 25mm ・ 50mm	※ 製造所の指定による	断気装置 ・ 設ける ・ 設けない	
・ S1-W2	(材質) ※ 改修標準仕様書3.5.2(c)(3)(i)による(厚さ) ※ 25mm ・ 50mm	※ 製造所の指定による	断気装置 ・ 設ける ・ 設けない							
S1-F1、S1-F2、S1-W1及びS1-W2における防湿フィルム ※ 設けない ・ 設ける S1-M2の絶縁用シートの材質 ※ 発泡ポリエチレンシート S-M2及びS1-M2の立上り部の工法 ※ 接着工法(立ち上がり面のシートの厚さ ※ 1.5mm) ・ 機械的固定工法										
屋内防水 防水層の種類										
種別	施工箇所	平場のモルタル塗り		立上り部の保護モルタルの塗布						
・ S-C1	-	差厚		差厚						
		・ 床塗り ・ 下地モルタル塗り		※ 7mm以下						

7	差膜防水	① 差膜防水	屋内防水で平場を保護コンクリート仕上げとする場合の厚さ ルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書3.5.1から表3.5.3による 固定金具の材質及び寸法形状 ※ 防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもので、厚さ0.4mm以上のもの 断気装置の種類及び設置数量 接着工法の場合の断気装置の種類 ※ ルーフィングシートの製造所の仕様 接着工法の場合の断気装置の設置数量 ※ ルーフィングシートの製造所の仕様 プレキャストコンクリート部材下地の目地処理(接着工法の場合) ・ 行う(・ 図示) ・ 行わない プレキャストコンクリート部材の隅部の増張り(種別S-F1、S1-F1の場合) ・ 行う(・ 図示) ・ 行わない 機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け 建築基準法に基づき定まる風圧力の(・ 1・ 1.15・ 1.3)倍の風圧力に対応した工法																																												
		② 防水層の種類	防水層の種類 [3.6.2, 3]																																												
		③ 工法	工法 種別 施工箇所 仕上塗料 高日射反射率の防水の適用 備考																																												
		④ P O X	※ X-1 ・ X-2	※ 2成分アクリルウレタン樹脂系 ・ ふっ素樹脂系 ・ アクリルシリコン樹脂系	※ 製造所の指定による	断気装置 ・ 設ける 改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない																																									
		⑤ O L 4 X	・ X-1 ※ X-2	・	※ 製造所の指定による	断気装置 ・ 設ける ○ 設けない																																									
		⑥ P 1 Y	※ Y-2	・	・	保護層 ・ 設ける ・ 設けない																																									
		⑦ P 2 Y	※ Y-2	・	・	保護層 ・ 設ける ・ 設けない																																									
		X-1(絶縁工法)の断気装置の種類 ※ 主材料の製造所の仕様 X-1(絶縁工法)の断気装置の設置数量 ※ 主材料の製造所の仕様 Y-1、Y-2の工数及び各工数の使用量 ※ 改修標準仕様書3.6.2による ・ 主材料の製造所の仕様																																													
		シーリング改修工法の種類 [3.7.2, 3, 3.7.7] ○ シーリング充填工法 ○ シーリング再充填工法 ・ 植替シーリング再充填工法 ・ ブリッジ工法 ボンドプレーカー張り ・ 適用する ・ 適用しない エッジング材張り ・ 適用する ・ 適用しない シーリング材の種類、施工箇所 下表以外は、改修標準仕様書3.7.1による																																													
		シーリング材の種類(記号)																																													
シーリング材表面に仕上塗料、塗装等 ※ 行う ・ 行わない シーリング材の目地寸法 ※ 改修標準仕様書3.7.3(1)~(2)による 接着試験 ※ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験																																															
⑧ とい																																															
⑨ とい																																															
⑩ アルミニウム製笠木																																															
といの材質 ・ 配管用鋼管 ○ 硬質ポリ塩化ビニル管(カラー) [3.8.2, 3] ルーフトレンドリ <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ ろく屋根用(・ 縦型 ・ 横型)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ バルコニー用</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ バルコニー中継用</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ルーフトレンドリの材質: ※ 本体等の縁鉄品の種類は、JIS G 5501(わずみ縁鉄品)によるFC150又はFC200とし、張掛け幅は100mm以上とする。 とい受け金物及び足金物の材質、形状及び取付間隔 ※ 改修標準仕様書3.8.2により、溶融亜鉛めっきを行ったもの 多雪地域 ・ 適用する ○ 適用しない 防露材のホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象量 鋼管製の防露巻き ・ 適用する(工法: ※ 標準仕様書13.5.4による) ・ 適用しない 既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法 ※ 図示 鋼管製といの防露巻き ※ 改修標準仕様書3.8.4による たてどい受金物の取付け ※ 図示 [3.9.2, 3] 種類 ・ オープン形式(・ 押出250形 ・ 押出300形 ・ 押出350形) ・ 板材折曲げ形(・ オープン形式 ・ シール形式) 本体幅()mm 板厚(※ 2.0mm) mm 表面処理 種別()種 色合等 ・ 標準色() ・ 特注色() 既存笠木の撤去 ・ 行う(範囲 ※ 図示) ・ 行わない 下地補修の工法 ※ 図示 板材折曲げ形の笠木の取付方法 ※ 図示 笠木の固定金具の工法等 建築基準法に基づき定まる風圧力の(・ 1・ 1.15・ 1.3)倍の風圧力に対応した工法						種別	施工箇所	・ ろく屋根用(・ 縦型 ・ 横型)		・ バルコニー用		・ バルコニー中継用																																			
種別	施工箇所																																														
・ ろく屋根用(・ 縦型 ・ 横型)																																															
・ バルコニー用																																															
・ バルコニー中継用																																															
防水改修フロー及び数量 ・ 既存保護層の補修及び処置 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="6">防水面積調査(施工数量調査)</th> </tr> <tr> <th>ひび割れ部補修</th> <th>欠損部改修</th> <th>浮き部補修</th> <th>ぜい弱部補修</th> <th>既存目地欠損部補修</th> <th>既存目地欠損部補修(断気を利用する場合)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0m</td> <td>0m</td> <td>0m</td> <td>0m</td> <td>0m</td> <td>0m</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="6">シーリング改修</th> </tr> <tr> <th colspan="6">シーリング再充填工法</th> </tr> <tr> <th>mm × mm</th> <th>mm</th> <th>mm × mm</th> <th>mm</th> <th>mm</th> <th>mm</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0m</td> <td>0m</td> <td>0m</td> <td>0m</td> <td>0m</td> <td>0m</td> </tr> </tbody> </table>						防水面積調査(施工数量調査)						ひび割れ部補修	欠損部改修	浮き部補修	ぜい弱部補修	既存目地欠損部補修	既存目地欠損部補修(断気を利用する場合)	0m	0m	0m	0m	0m	0m	シーリング改修						シーリング再充填工法						mm × mm	mm	mm × mm	mm	mm	mm	0m	0m	0m	0m	0m	0m
防水面積調査(施工数量調査)																																															
ひび割れ部補修	欠損部改修	浮き部補修	ぜい弱部補修	既存目地欠損部補修	既存目地欠損部補修(断気を利用する場合)																																										
0m	0m	0m	0m	0m	0m																																										
シーリング改修																																															
シーリング再充填工法																																															
mm × mm	mm	mm × mm	mm	mm	mm																																										
0m	0m	0m	0m	0m	0m																																										



5	1	改修工法	[5. 1. 3]																							
		<table border="1"> <tr> <th>建具の種類</th> <th>かぶせ工法</th> <th>撤去工法</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>○ アルミ製建具</td> <td>○</td> <td>・</td> <td>※ 建具表による</td> </tr> <tr> <td>○ 樹脂製建具</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>※ 建具表による</td> </tr> <tr> <td>○ 鋼製建具</td> <td>・ 外部</td> <td>・</td> <td>※ 建具表による</td> </tr> <tr> <td>○ 鋼製軽量建具</td> <td>・ 内部</td> <td>・</td> <td>※ 建具表による</td> </tr> <tr> <td>○ ステンレス製建具</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>※ 建具表による</td> </tr> </table> <p>新規に建具を設ける場合 壁部分の開口の開け方 ※ 図示 新規建具周囲の補修工法及び範囲 ※ 図示</p>	建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所	○ アルミ製建具	○	・	※ 建具表による	○ 樹脂製建具	・	・	※ 建具表による	○ 鋼製建具	・ 外部	・	※ 建具表による	○ 鋼製軽量建具	・ 内部	・	※ 建具表による	○ ステンレス製建具	・	・	※ 建具表による
建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所																							
○ アルミ製建具	○	・	※ 建具表による																							
○ 樹脂製建具	・	・	※ 建具表による																							
○ 鋼製建具	・ 外部	・	※ 建具表による																							
○ 鋼製軽量建具	・ 内部	・	※ 建具表による																							
○ ステンレス製建具	・	・	※ 建具表による																							
2	防火戸	・ 適用する 指定箇所（※ 建具表による）		[5. 1. 4]																						
3	建具見本の製作	※ 製作しない ・ 製作する（・ 納まり等が分かる程度のもの）		[5. 1. 5]																						
4	防犯建物部品	・ 適用する 適用箇所（※ 建具表による）		[5. 1. 7]																						
5	アルミニウム製建具	<p>性能値等 [5. 2. 2~5] [表5. 2. 2]</p> <p>・ 耐風圧性の等級（ ）、機密性の等級（ ）、水密性の等級（ ） ※ 改修標準仕様書表5. 2. 1による種別 外部に面する建具の種類 ○ A種（建具符号： ・ 全て ・ 建具表による） ○ B種（建具符号： ・ 全て ・ 建具表による） ○ C種（建具符号： ・ 全て ・ 建具表による） ○ D種（建具符号： ・ 全て ・ 建具表による）</p> <p>防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級（ ） （建具符号： ・ 建具表による）</p> <p>断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級（ ） （建具符号： ・ 建具表による）</p> <p>耐震ドア 面内変形耐震性の等級（ ） （建具符号： ・ 建具表による）</p> <p>ステンレス鋼板の材料 ※ SUS304, SUS430J1L又はSUS443J1 枠の見込み寸法 ※ 建具表による</p> <p>表面処理 外部に面する建具 種類 ○ B9-1種 ・ B9-2種 色合等 ※ 標準色（ ） ・ 特注色（ ）</p> <p>屋内の建具 種類 ・ B0-1種 ・ B0-2種 色合等 ※ 標準色（ ） ・ 特注色（ ）</p> <p>結露水の処理方法 ※ 図示 水切り板、ぜん板 ※ 図示</p>																								

6	網戸等	[5. 2. 3]													
7	樹脂製建具	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>線径</th> <th>網目</th> </tr> <tr> <td>・ 防虫網</td> <td>※ 合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス（SUS316）製</td> <td>※ 0.25mm以上</td> <td>※ 16~18メッシュ</td> </tr> <tr> <td>・ 防鳥網</td> <td>ステンレス（SUS304）線材</td> <td>1.5mm</td> <td>網目寸法15mm</td> </tr> </table> <p>性能値等 [5. 2. 2] [5. 3. 2~5]</p> <p>・ 耐風圧性の等級（ ）、機密性の等級（ ）、水密性の等級（ ） ※ 改修標準仕様書表5. 3. 1による種別 外部に面する建具の種類 ・ A種（建具符号： ・ 全て ・ 建具表による） ・ B種（建具符号： ・ 全て ・ 建具表による） ・ C種（建具符号： ・ 全て ・ 建具表による）</p> <p>防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 ・ T-1 ・ T-2 （建具符号： ・ 建具表による）</p> <p>断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級 ・ H-4 ・ H-5 ・ H-6 （建具符号： ・ 建具表による）</p> <p>枠の見込み寸法 ※ 建具表による 表面色 ※ 標準色 ・ 特注色 水切り板、ぜん板 ※ 図示 ガラス ※ 複層ガラス</p> <p>性能等級（建具符号： ○ 建具表による） [5. 2. 2] [5. 4. 2~4] [表5. 4. 2]</p> <p>簡易気密型ドアセット ・ 適用する 外部に面する面する建具の耐風圧性 ○ S-4 ○ S-5 ○ S-6</p> <p>防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級（ ） 断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級（ ） 耐震ドア 面内変形耐震性の等級（ ） ステンレス鋼板の材料 ※ SUS304, SUS430J1L又はSUS443J1 鋼板の厚さ ※ 改修標準仕様書表5. 4. 2による</p>	種類	材質	線径	網目	・ 防虫網	※ 合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス（SUS316）製	※ 0.25mm以上	※ 16~18メッシュ	・ 防鳥網	ステンレス（SUS304）線材	1.5mm	網目寸法15mm	
		種類	材質	線径	網目										
・ 防虫網	※ 合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス（SUS316）製	※ 0.25mm以上	※ 16~18メッシュ												
・ 防鳥網	ステンレス（SUS304）線材	1.5mm	網目寸法15mm												
8	鋼製建具	[5. 2. 2] [5. 4. 2~4] [表5. 4. 2]													
9	鋼製軽量建具	<p>性能等級（建具符号： ○ 建具表による） [5. 2. 2] [5. 5. 2~4]</p> <p>簡易気密型ドアセット ・ 適用する 外部に面する面する建具の耐風圧性 ○ S-4 ○ S-5 ○ S-6</p> <p>防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級（ ） 断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級（ ） 耐震ドア 面内変形耐震性の等級（ ） 鋼板の材料 ※ 亜鉛めっき鋼板 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板 ステンレス鋼板の材料 ※ SUS304, SUS430J1L又はSUS443J1 鋼板の厚さ ※ 改修標準仕様書表5. 5. 1による 召合せ、縦小口包み板の材質 ※ 鋼板</p>													
		10	ステンレス製建具	[5. 2. 2] [5. 4. 2] [5. 6. 2~5] [5. 7. 2, 3]											
11	建具用金物	<p>金物の種類及び見え出し部の材質等 ※ 改修標準仕様書表5. 1. 1及び適用は建具表による 金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※ 改修標準仕様書表5. 7. 2による 樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※ 標準仕様書表5. 7. 3による 握り玉及びレバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置 ※ 建具表による</p> <p>錠前類 【シリンダ錠錠及びシリンダ本締まり錠】 （品質） テッドボルトの出寸法は17mm以上とする。 鍵付きのものはマスターキー、グラッドマスターキー、コンストラクションキーなどのキーシステムが構築できるものとする。 （性能） <使用頻度による性能> 1)（シリンダ錠錠のみ）ラッチボルトの開閉繰り返し試験（40万回）を行った後、ハンドルでの開閉操作力及びラッチング力が試験前の2倍未満であり、動作に支障がない。 2) キーによるテッドボルトの旋解錠繰り返し試験（10万回）を行った後、試験前の回転トルクの2倍未満であり、旋解錠操作に支障がない。（シリンダ本締まり錠のみ）シリンダ単体の旋解錠繰り返し試験は、シリンダだけの回転トルクが10N・cm以下とする。 3) キーによる旋解錠繰り返し試験（10万回）を行った後、試験前の回転トルクの2倍未満であり、旋解錠操作に支障がない。 4) キーの抜き差し繰り返し試験（10万回）を行った後、キーの抜き差しに要する荷重は10N以下である。また、未使用の合錠でシリンダが回転でき、かつ、1箇所1段差浅い刻みをもつ異なるキーでは、シリンダが回転しないこと。（キーに加えるトルクは、150N・cmとする） <外力に対する性能> 1) テッドボルトの押し込み強度試験（10KN）を行った後、荷重を除いたときのテッドボルトの出寸法は8mm以上であること。 2) テッドボルトの側圧強度試験（10KN）を行った後、加圧板がテッドボルトを通過しないこと。 3) テッドボルトの押し込み強度（衝撃荷重）試験（58.5J）の衝撃荷重を加えたとき、解錠状態（テッドボルトの突出量が8mm未満）にならないこと。 4) テッドボルトの側圧強度（衝撃荷重）試験（58.5J）の衝撃荷重を加えたとき、解錠状態（加圧板がテッドボルトを通過した状態）にならないこと。 5)（シリンダ本締まり錠はグレード3以上の形造錠の場合）ストライクプレートは厚さ1.5mm以上のステンレス鋼製とし、トロヨケは厚さ1.6mm以上の鋼製の一体設計とする。又はストライクの強度と同等以上の強度をもつものとする。 <使用頻度の質量に対する性能（シリンダ錠錠のみ）> 1) ラッチボルトの側圧強度試験（4KN）を行い、荷重を除いたとき、ハンドル操作及びラッチングに支障がない。 2) レバーハンドルのねじり強度試験（3.5KN・cm）を行った後、トルクを除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、旋解錠ハンドルが固定される錠は、旋解錠状態が維持され、かつ、旋解錠操作に支障がない。</p>													
		12	錠	[5. 7. 4]											
13	自動ドア開閉装置	<p>マスターキー ※ 製作する（ ）組 ・ 製作しない ○ 既存に締込む 錠の製作本数 ※ 各室3本1組（室名札付き） 錠類 ・ 設ける（ ）用組 ○ 設けない</p> <p>引き戸用駆動装置 性能値 ※ 改修標準仕様書表5. 8. 1による 種類 ・ SSLD-1 ・ SSLD-2 ・ DSLD-1 ・ DSLD-2</p>	[5. 8. 2, 3]												

14	引戸	<p>多機能トイレ出入口引き戸用駆動装置 性能値 ・ ※ 改修標準仕様書表5. 8. 2による 引き戸用検出装置の種類は、多機能トイレスイッチとする</p> <p>引き戸用検出装置 性能値 ・ ※ 改修標準仕様書表5. 8. 3による 種類 ・ 光線（反射）センサー ・ 磁線センサー ・ 音波センサー ・ 光電センサー ・ 電波センサー ・ タッチスイッチ ・ 押しボタンスイッチ</p> <p>戸の開閉方式 ※ 建具表による 防錆 ・ 適用する ・ 適用しない 凍結防止措置 ・ 適用する ・ 適用しない</p> <p>性能値等 ※ 標準仕様書表5. 9. 1による （試験方法） （1）耐久性（開閉繰り返し）試験 閉については外力によらず、試験体の自開装置及び制御装置のみにより戸を開閉位置から閉端位置までの動作を確認できる試験を行う。開試験に用いる試験体は片引戸とし、開口内法有効高さ2,000mm、幅は最大寸法とする。適用戸総質量の区分毎に試験を行う。自開装置、制御装置は10万回以上の時点でのみ調整を行えるものとし、また、その他の制御装置についてはメーカーの耐久性能試験成績書において2万回以上の耐久性能を確認することで、試験に代えることができるものとする。 （2）耐衝撃性試験 落下高さ17cmにて、ドアの中央部にドアが外れる方向に衝撃を与え、耐衝撃試験に用いる試験体は片引戸、開口内法有効寸法は高さ2,000mm、幅900mmとする。適用戸総質量の区分毎に試験を行う。 （3）気密性試験 JIS A 1516「建具の気密性試験方法」による。</p>	[5. 9. 3]												
		15	重量シャッター	[5. 1. 0. 2, 3]											
16	軽量シャッター	<p>シャッターの種類 ・ 管理用シャッター 耐風圧強度（ ）N/m² ・ 外壁用防火シャッター 耐風圧強度（ ）N/m² ・ 屋内用防火シャッター ・ 防塵シャッター</p> <p>開閉方式の種類 ※ 上部電動式（手動併用） ・ 上部手動式 二重チェーン、急降下制動装置、急降下停止装置を設けた電動シャッターの設置箇所 ※ 図示 障害物感知装置を設けた電動シャッターの設置箇所 ※ 図示 屋内用防火シャッター若しくは防塵シャッターの障害物感知機構の設置箇所 ※ 図示 適用する障害物感知機構 ※ 改修標準仕様書表5. 10. 2(4) (d) (a) かつ (c) ・ 改修標準仕様書表5. 10. 2(4) (d) (b) かつ (c)</p> <p>管理用シャッターのシャッターケース ・ 設ける ・ 設けない スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ※ JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼板） ※ JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき及び鋼板） めっきの付着量 ※ Z12又はF12を満足するもの ステンレス鋼板の材料 ※ SUS304, SUS430J1L又はSUS443J1</p>	[5. 1. 1. 2~4]												
		17	オーバードア	[5. 1. 2. 2, 3]											
18	木製建具	<p>産板の材質（屋外の場合） ※ ステンレス製製品</p> <p>セクション材料による区分 ※ スチールタイプ ・ 175（1750） ※ バランス式 ・ アルミニウムタイプ ・ 125（1250） ※ チェーン式 ・ ファイバーグラスタイプ ・ 100（1000） ※ 電動式 ・ 75（750） ・ 50（500）</p> <p>開閉方式による区分 ※ スタンダード形 ・ ローヘッド形 ※ 溶融亜鉛めっき鋼板 ※ ステンレス鋼板</p> <p>電動式タイプで障害物感知装置を設ける箇所 ※ 図示</p> <p>建具材の加工、組立時の含水率 ※ 日種 ・ 建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外</p> <p>表面材の合板の種類</p> <table border="1"> <tr> <th>合板の種類</th> <th>規格等</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・ 普通合板</td> <td>表面の樹種 生地、透明塗料塗り （ ※ ラワン合板程度 ） 不透明塗料塗り （ ※ しな合板程度 ）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 天然木化粧合板</td> <td>樹種名（ ） 接着の程度（ ・ 1種 ・ 2種）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 特殊加工化粧合板</td> <td>化粧加工の方法 （ ・ オーバーレイ ・ プリント ・ 塗装） 表面性能（ ）タイプ 接着の程度（ ・ 1種 ・ 2種）</td> <td></td> </tr> </table> <p>表面板の厚さ ※ 標準仕様書表16. 7. 6による ・ かまち戸 ・ かまち樹種（ ） 鍵板樹種（ ） 見込み寸法 ※ 建具表による ・ ふすま 張りの種類（ ・ I型 ・ II型） 上張り（押入等の事例以外） ・ 鳥の子 ・ 新鳥の子又はビニル紙程度 縫仕上げ ・ 塗り縫 ・ 生地縫（紫地） ・ 生地縫（ウレタンリヤー塗装） 見込み寸法 ※ 建具表による ・ 戸ぶすま 見込み寸法 ※ 建具表による ・ 紙張り障子 見込み寸法 ※ 建具表による 枠の材料 ※ 木製枠（6 屋内改修工事による） ・ 鋼製枠 ※ 亜鉛めっき鋼板 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板 くつずりの材料 ※ ステンレス鋼板</p>	合板の種類	規格等	備考	・ 普通合板	表面の樹種 生地、透明塗料塗り （ ※ ラワン合板程度 ） 不透明塗料塗り （ ※ しな合板程度 ）		・ 天然木化粧合板	樹種名（ ） 接着の程度（ ・ 1種 ・ 2種）		・ 特殊加工化粧合板	化粧加工の方法 （ ・ オーバーレイ ・ プリント ・ 塗装） 表面性能（ ）タイプ 接着の程度（ ・ 1種 ・ 2種）		[16. 7. 2~4]
		合板の種類	規格等	備考											
・ 普通合板	表面の樹種 生地、透明塗料塗り （ ※ ラワン合板程度 ） 不透明塗料塗り （ ※ しな合板程度 ）														
・ 天然木化粧合板	樹種名（ ） 接着の程度（ ・ 1種 ・ 2種）														
・ 特殊加工化粧合板	化粧加工の方法 （ ・ オーバーレイ ・ プリント ・ 塗装） 表面性能（ ）タイプ 接着の程度（ ・ 1種 ・ 2種）														

18 ガラス (16, 9, 7, 14, 2~4) (表16, 14, 1) ※ 建具表による ※ 合わせガラスの材料ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ及び特性による種類 ※ 下記以外は建具表による

材料ガラスの種類、組合せ	溶融断熱ガラスの種類
フロート板、フロート板合わせガラス	Ⅰ類、Ⅱ-Ⅰ類、Ⅱ-2類、Ⅲ類

強化ガラスの形状による種類、材料ガラスの種類による名称及び特性による種類 ※ 下記以外は建具表による

材料ガラスによる種類	材料ガラス	破片の形状及びにショットバック衝撃特性による種類
フロート強化ガラス	フロート板ガラス	Ⅰ類、Ⅱ類

熱線吸収ガラスの板ガラスによる種類、厚さによる種類及び性能による種類 ※ 下記以外は建具表による

材料ガラスによる種類	性能による種類	色調
熱線吸収フロート板ガラス	Ⅰ種、Ⅱ種	グリーン
熱線吸収網入り遮光板ガラス		

複層ガラスの材料ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ ※ 下記以外は建具表による

断熱性による区分	乾燥気体の種類
T1・T2・T3・T4・T5・T6	空気・アルゴン

日射取得性、日射遮断性による区分

乾燥気体の種類	
G・S	空気・アルゴン

熱線反射ガラスの材料ガラスの種類及び厚さによる種類 ※ 下記以外は建具表による

材料ガラスによる種類	日射遮断性による区分	耐久性による区分
色調 (ブルー・グレー)	Ⅰ種、Ⅱ種、Ⅲ種	A類、B類、C類

反射防護面 内面、外面
映像調整 行わない、行う

ガラスの留め材及び溝の大きさ

建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ (mm)
アルミニウム製	シーリング材、ガスケット、グレイジングチャンネル	建具の製造所の仕様による
銅製及び銅製軽量	シーリング材	建具の製造所の仕様による
ステンレス製	シーリング材	建具の製造所の仕様による

防火戸のガラス留め材は、建築基準法に基づき防火性能の認定を受けた条件による

19 ガラスブロック積み (5, 13, 5)

表面形状	呼び寸法 (mm)	厚さ (mm)	色調	日地幅 (mm)	伸縮調整日地位置 (mm)	防火性能
正方形	125×125	80	クリア、乳白	8~15	※6mm以下	※無し
	160×160	95		15~25	※15以下	有り
	200×200	95			内側	
	320×320	95			※6以上	
長方形	250×125	80				
	320×160	95				

壁用金属枠及び補強材の材質・形状 ※ 図示

力骨 材質 ※ ステンレス鋼 (SUS304)
寸法 ※ 径5.5mm
形状 ※ はしご形状複筋及び単筋

化粧目地モルタルの色 ()
金属製化粧カバー 材質 ※ ステンレス製、アルミニウム製
寸法 ※ 図示
形状 ※ 図示

工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の (1・1.15・1.3) 倍の風圧力に対応した工法

目地部の横力骨の納まり ※ ガラスブロック製造所の仕様による 図示

20 ガラス用フィルム

種類	記号	その他性能等
日射調整フィルム	内張り用 S-C-1、外張り用 S-C-2	日射率への性能による区分 A・B・C・D・E
低放射フィルム	LE	熱伝達率による区分 A・B・C・D
衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム	G1-1	G1-2
相関部位破壊対応ガラス飛散防止フィルム	GD-1	GD-2
ガラス貫通防止フィルム	SF	ガラスの貫通防止性能による区分 A・B

品質 JIS A5759による

6 内装改修工事

1 他の部位との取り合い等 [6.1.3]
既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁面及び床の改修範囲 ※ 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う 図示
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 ※ 壁面より側面600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う 図示
既存天井の撤去に伴う取り合い部の壁面の改修 ※ 既存のまま 図示

2 既存床の撤去及び下地修繕 [6.2.2]
ビニル床シート等の撤去 ※ 仕上材のみ (接着剤とも) ※ 下地モルタルとも (図示の範囲) 撤去範囲全て
合成樹脂塗床材の除去工法 ※ 機械的除去工法 ※ 目貫し工法
既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4章外装改修工事による。
改修後の床の清掃範囲 ※ 改修部の端部より1m程度

3 既存壁の撤去及び下地修繕 [6.3.2]
間仕切壁撤去に伴う他の構造体の修繕 ※ 改修標準仕様書4.4.9によるモルタル塗り (仕上げ厚又は全塗厚25mmを超える場合の処理 ※ 図示)

4 木下地等の表面仕上げ [6.5.1]
表面仕上げの種類 適用箇所
機械加工 A種、B種、C種
手加工 H-A種、H-B種、H-C種

5 製材 [6.5.2]

「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材	施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の適用
				※2級		※A種・B種		
				※2級		※A種・B種		

「製材の日本農林規格」による造作用針葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の適用
見入掛り面			※上小節		※A種・B種		
見入掛り面以外			※小節以上		※A種・B種		

「製材の日本農林規格」による広葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の適用
			※1等		※10%以下	※A種・B種	
			※1等		※10%以下	※A種・B種	

「製材の日本農林規格」以外の製材

施工箇所	樹種	寸法 (mm)	材面の品質	防火処理	含水率	保存処理	間伐材等の適用
			()	※適用する、※適用しない	※A種・B種		

6 造作用集成材 [6.5.2]

ホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外
「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法 (mm)	見付け材面数	見付け材面の品質	間伐材等の適用
					※1等、※2等

「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成材

施工箇所	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用
					※1等、※2等

「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集成材

施工箇所	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
					※15%以下	

「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
					※15%以下	

7 造作用単板積層材 [6.5.2]

ホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外
「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材

施工箇所	厚さ (mm)	表面の化粧加工	防火処理	間伐材等の適用
		有り (加工: 天然木化粧加工・塗装加工)、無し (等級)	※適用する、※適用しない	

「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材

施工箇所	厚さ (mm)	表面の化粧加工	防火処理	含水率	間伐材等の適用
		有り (加工: 天然木化粧加工・塗装加工)、無し ()	※適用する、※適用しない	※14%以下	

「直交集成材 (CLT)」

施工箇所	品名	曲げ強度 (強度等級)	種別	接着性能 (使用環境)	樹種	寸法 (mm)	間伐材等の適用

8 床張り用合板等 [6.5.2]

ホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外
普通合板

施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防火処理	間伐材等の適用
	※5.5、※12		※1種、※2種	広葉樹 ※2等以上、針葉樹 ※C-D以上	※1等	※適用する、※適用しない

構造用合板

施工箇所	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	厚さ (mm)	防火処理	強度等級	間伐材等の適用
床板、床裏材	※2級以上	針葉樹	※1種、※特種	※C-D以上	※12	※適用する、※適用しない		

「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板

施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	防火処理	間伐材等の適用
			※1種・特種	※適用する、※適用しない	

「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板

施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ (mm)	接着の程度	防火処理	間伐材等の適用
			※1種・2種	※適用する、※適用しない	

「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板

施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	表面性能	化粧加工の方法	防火処理	間伐材等の適用
		※1種・2種			※適用する、※適用しない	

パーティクルボード

施工箇所	表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ (mm)
		※13タイプ	※P又はM		※15

構造用パネル

施工箇所	等級	厚さ (mm)
	1級、2級、3級、4級	

メディアムデンシティファイバーボード (MDF)

施工箇所	厚さ (mm)	表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分	間伐材等の適用

9 防湿・防蟻処理 [6.5.5]

防湿、防蟻処理を省略できる樹種による製材 適用部位: ()

薬剤の加圧注入による防蟻防蟻処理 適用部位 ()

適用部位	保存処理性能区分
	K2・K3・K4
	K2・K3・K4
	K2・K3・K4

薬剤の塗布等による防蟻、防蟻処理 適用部位 ()

適用部位	処理の方法
	※ 改修標準仕様書6.5.5(1)(b)②?~?による

薬剤の接着材への混入による防蟻、防蟻処理 適用部位 ()

10 軽量鉄骨天井下地 [6.6.2~4]

野縁等の種類 (※ 25形) 屋内 (※ 19形・25形)
・ 屋外の軒天、ピロティ天井等
工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の (1・1.15・1.3) 倍の風圧力に対応した工法
野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔、図示
野縁の間隔、図示
野縁の埋込みインサート ※ 使用する、使用しない
あと施工アンカーの確認試験
・ 行う (試験箇所 ※ 屋内の場合、当該間において3箇所) (確認強度 ※ 改修標準仕様書6.4(1)(b)による)
・ 行わない
・ 吊りボルトの間隔が900mmを超える場合 補強方法 ※ 図示
・ 天井のふところ高が1.5m以上3.0m以下の場合 補強方法 ※ 改修標準仕様書6.4(8)による 図示
・ 天井のふところ高が3.0mを超える場合 補強方法 ※ 図示
・ 天井の下地材における耐震性を考慮した補強 補強箇所 ※ 高さが6mを超える天井 図示
補強方法 ※ 「特定天井及び特定天井の構造耐力上安全な構造方法を定める件」(平成25年国土交通省告示第771号) 第3第2項第二号に適合させる。 図示

11 軽量鉄骨壁下地 [6.7.3] [表6.7.1]
スタッド、ランナーの種類 ※ 改修標準仕様書表6.7.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 図示
スタッドの高さが5.0mを超える場合 ※ 図示
出入口及びこれに準ずる開口部の補強 ※ 標準仕様書14.5.4.(5)による

種類の記号	色柄	特殊機能	厚さ (mm)	備考
※ FS	無地、マーブル柄、柄物	帯電防止、耐衝撃性、防汚性	※ 2.0	

※ 自地処理 (工法 ※ 熱溶接工法) ・ 突付け (施工箇所:)
特殊機能
帯電防止 ・ 帯電防止性能評価値 (JIS A 1455) 1.2以上~3.2未満
又は体積電気抵抗値 (JIS A 1454) 1×10¹⁰~1×10¹² Ω程度

13 ビニル床タイル [6.8.2]

種類の記号	色柄	寸法	特殊機能	厚さ (mm)	備考
※ KT	無地	300×300	帯電防止	※ 2.0	
※ TT・FT	柄物	450×450	防汚性	※ 2.5	
※ FOA・FOB		500×500		※ 3.0	

特殊機能
帯電防止 ・ 帯電防止性能評価値 (JIS A 1455) 1.2以上~3.2未満
又は体積電気抵抗値 (JIS A 1454) 1×10¹⁰~1×10¹² Ω程度

14 接着剤 [6.5.3.4] [6.8.2] [6.9.3] [6.11.4.5]
接着剤は可塑剤 (揮発性の可塑剤を除く) が添加されていないものとする。
ホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外
施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種類 図示

15 ビニル幅木 [6.8.2]
材質の種類 ※ 軟質、硬質
高さ (mm) ※ 60、75、100
厚さ (mm) ※ 1.5以上

16 ゴム床タイル [6.8.2]
種類 ・ 単層品 ・ 複層品
色柄 ()
厚さ (mm) ※ 3.0、4.5、6.0、9.0
寸法 (mm) ()

17 カーペット敷き [6.9.3.4] [表6.9.1]
・ 織じゅうたん
織り方 バイルの形状 帯電性 備考
・ ウォルトンカーペット バイルの形状 カットバイル 帯電性 備考
・ ダブルフェースカーペット ルーフバイル 帯電性 備考
・ アキスミンターカーペット カット、ルーフ併用 帯電性 備考
バイル系の種類等 ※ 模様のない無地のもの (改修標準仕様書表6.9.1による種類 A種・B種・C種)
・ タフテッドカーペット バイルの形状 バイル長さ (mm) 工法 帯電性 備考
・ カットバイル 5~7 ※ 全面接着工法 帯電性 備考
・ ルーフバイル 4~6 ※ グリッパ工法 帯電性 備考
・ カット、ルーフ併用
・ ニードルパンチカーペット 厚さ (mm) () 帯電性 適用する 適用しない 備考 ()
・ タイルカーペット バイルの形状 種類 施工箇所 寸法 (mm) 総厚さ (mm) 備考
※ ルーフバイル ※ 第一種 ※ 500×500 ※ 6.5
・ 第二種
・ カットバイル ※ 第一種 ※ 500×500 ※ 6.5
・ 第二種
・ カット、ルーフ併用 ※ 第一種 ※ 500×500 ※ 6.5
・ 第二種
タイルカーペットの敷き方 ① ② ※ 市松敷き ・ 模様流し ・
階段部分 ※ 模様流し ・ 市松敷き
下敷き材 ※ 反モフェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm
見切り、押え金物の材質、種類及び形状 ※ 図示

18 合成樹脂塗床 [6.1.0.2.3]
19 防じん用塗床
20 フローリング張り [6.1.1.2~6]
21 畳敷き [6.1.2.2]
22 セッコウボードその他ボード及び合板張り [6.1.3.2.3]

23 壁紙張り [6.1.4.2.3]
24 モルタル塗り [6.1.5.3.6]
25 タイル張り [6.1.6.2~4]

26 セルフレベリング材塗り [7.1.3]
7 塗装改修工事
7.1 塗料
7.2 下地調整

3 錆止め塗料塗り [7.3.2.3]
4 仕上げ塗料塗り [7.4.2~7.14.2]
8 耐震改修工事
9 環境配慮改修工事
10 石綿含有建材の除去工事 [9.1.1.3~5]

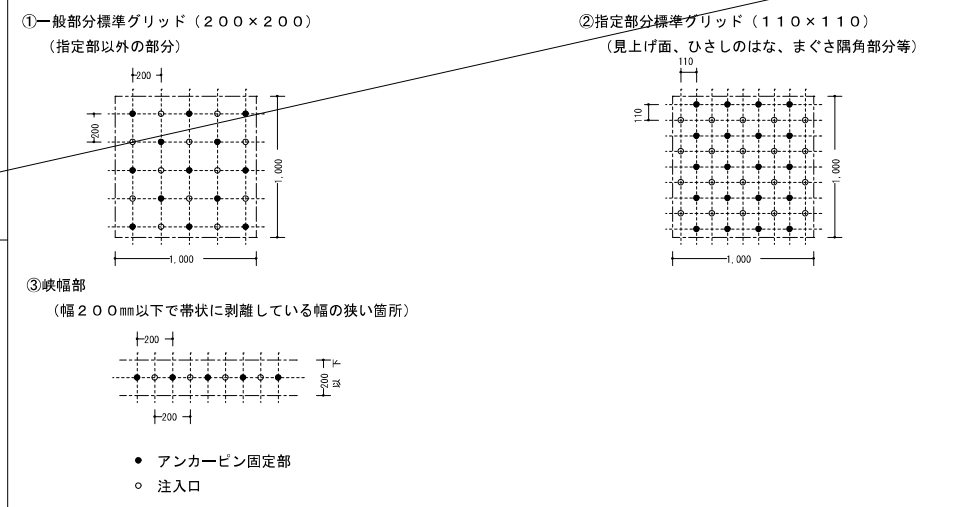
2	断熱アスファルト防水改修工事	3	外断熱改修工事	測定方法 ・ 自動測定器による測定	4	ガラス改修工事	複層ガラス 5 章 建築改修工事による	10	1	フリーアクセスフロア	(2.0.2.2)	2	表示	(2.0.2.10)		
				測定名称 ・ 測定4 ・ 測定5 ・ 測定 ()			測定方法 粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定				5				断熱・防露改修工事	[9.5.2~4]
3	外断熱改修工事	断熱材の種類()、断熱材の厚さ(mm)	断熱材の種類()、断熱材の厚さ(mm)	ホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外 ・ 断熱材打込み工法	6	屋上緑化改修工事	補給経路及び材料 屋上緑化経路システム ・ 適用しない 芝及び地被類の種類等 ※ 図示 見切り材、舗装材、排水穴、マルチング材等 ※ 図示 (品質・性能等) 項目 品質・性能 透気・排水層等 合成樹脂等が耐腐食性及び耐久性のあるものであること。 成材の主要材質 (保水層を有する場合は、保水層共) 透水層 目詰まりにより植物の生育に支障を生じることがなく、補え込み用土を流出させない構造であること。 排水層 植物の生育に必要な排水性能を持ち、通気性及び補え込み土を支え、流出しない構造をもつこと。 排水層の鉛直方向の排水性能 240L/m ² ・h以上 耐腐食性能 一般メンテナンス時の上部歩行に破損しないこと。 (排水層の許容圧縮強度) 3×10 ⁶ N/m ² 以上の荷重で破壊・有害な変形がないこと。 耐根腐 重ね合わせ部を含め、クマザサ等の地下茎根長力の強い植物に対して3年以上の耐根腐性能を有し、かつ、耐腐食性及び耐久性のあるものであること。 耐根腐保護層 材質は、合成樹脂等とし、耐腐食性及び耐久性を有し、かつ、施工及び施工後の耐根腐を保護するものであること。ただし、耐根腐を保護コンクリート(絶縁シートも含む)の下に設ける場合は省略することができるものとする。 (試験方法) (1) 排水基盤の耐腐食性能 イ) 3×10 ⁶ N/m ² の等分布荷重による加圧試験を行い、排水層及び耐根腐層等に有害な変形・破壊の起きないことを確認する。また、その時の圧縮応力に対する歪み(%)を測定する。(保水層を有する場合は保水層も対象とする。) ロ) 試験体は耐根腐から透水層までを通常使用状態にセットした3体とする。 加圧速度は10mm/min以下とする。 建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法 かん水装置 ・ 設置する(種類) 既存保護層の撤去 ・ 行う ・ 行わない 新植した芝及び地被類の枯損償の期間 ※ 引き渡しの日から1年 下記以外は、10章その他による 既存舗装の撤去及び再利用 ※ 図示	7	透水アスファルト舗装改修工事	[9.7.2~5.9]	7	透水アスファルト舗装改修工事	[9.7.2~5.9]	7	天井点検口	材質 × 寸法(mm) 形式 ※ アルミニウム製 ※ 450×450 ※ 一般形 ※ 屋内外用 ※ 縦線タイプ ※ 縦線タイプ ・ 600×600 ※ 一般形 ※ 屋内外用 ※ 目地タイプ ※ 目地タイプ (品質・性能) 内枠の材質 アルミニウム製 JIS H 4100 A6035又は同等の性能を有するもの 表面処理 陽極酸化皮膜JIS H 8601(AA6)又は同等の性能を有するもの (外枠に用いる場合は、JIS H 8602のB種又は同等以上の性能を有するもの) 内枠及び外枠のコーナース 縦線に垂れつき等の防錆処理を行ったもの又は同等の性能を有するもの 外枠の取付け金物 縦線に垂れつき等の防錆処理を行ったもの又は同等の性能を有するもの 内枠の仕上げ材留付金物 アルミニウム及びアルミニウム合金押出成形材、垂れつき鋼板又は同等の性能を有するもの 耐久性(繰り返し開閉試験) (1) 50回、100回、300回の内蓋の垂れ下がりが、0.5mm以内。 (2) 開閉試験後、使用上支障をきたす異常がないこと。 枠の寸法許容差 ±0.5mm以内 外枠と内枠のクリアランス 片側2.0mm以内 (試験方法) 内蓋(内枠)の繰り返し開閉試験 (1) 試験体は、特見込み40mm程度のものとする。 吊り金物は、外枠を天井地下取付用補強材に直接留付ける方式(天井ボードなどの仕上材を挟まない方式)とする。標準仕様書14章4節により製作した試験体固定天井地下取付用補強材に試験体の天井点検口450mm×450mmを吊り金4箇所にて各メーカー仕様に従い取付ける。なお、野線の種類は、19形とし仕上げ材は、せっこうボード厚さ9.5mm(JIS A 6901「せっこうボード製品」のGB-Rの難燃2級又は発熱性2級以上)二重張りとする。 (2) 試験は、内蓋を閉じた状態から自由開放状態にする動作を繰り返し行う。 (3) 測定は、上記繰り返し試験において、各50回、100回、300回以内蓋の垂れ下がり状態を測定する。

9	床点検口	<table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>形式</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>○ アルミニウム製 ・ ステンレス製 ・ 鋼製</td> <td>・ 450×450 ※ 600×600</td> <td>○ 一般形 ・ 密閉形</td> <td>○ 屋内外用 ○ 屋内用</td> </tr> <tr> <td colspan="4">密閉形とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものとす。 (品質・性能)</td> </tr> <tr> <th>部材名</th> <th>材質</th> <th>屋内外用</th> <th>屋内用</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">受枠材 蓋枠材</td> <td>アルミニウム及びアルミニウム合金押出形材</td> <td>JIS H 4100のA6063S-T5 (表面処理) JIS H 8602のB種又はJIS H 8601のAA15</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ステンレス製</td> <td>JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 (表面処理) HL又は2B仕上げ程度</td> <td>JIS G 4305のSUS430 (表面処理) HL又は2B仕上げ程度</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">二重蓋の中蓋</td> <td>鉄板</td> <td>JIS G 5501のFC150、FC200</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>塩化ビニル樹脂製等</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">目地材</td> <td>黄銅</td> <td>JIS H 3100 のC2600、C2720、C2801 JIS H 3250 のC3602、C3604</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ステンレス</td> <td>JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 JIS G 4308のSUS304</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">底板材コーナーステンレス底板補強材</td> <td>ステンレス鋼板</td> <td>JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 JIS G 4308のSUS304</td> <td>JIS G 4305のSUS430</td> </tr> <tr> <td>アルミニウム板</td> <td>JIS H 4000(A1100P H24) 表面処理：陽極酸化塗装複合被膜 JIS H 8601(AA15) JIS H 8602(B)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>鋼材</td> <td>—</td> <td>鋼製又はJIS G 3313にメラミン樹脂接着塗装若しくは、標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの</td> </tr> <tr> <td>パッキン材</td> <td colspan="3">塩化ビニル系ゴム、軟質塩化ビニル、クロロプレン、スポンジラバー、エチレンプロピレン等種の材質、形状に適した弾力性、密着性、気密性を有するもの</td> </tr> <tr> <td>アンカー取手</td> <td colspan="3">鋼製に電気亜鉛めっき又は防錆塗料を行ったもの 黄銅鋼製、黄銅製、アルミニウム押出形材・合金鋼鋼製、ステンレス鋼鋼品、ステンレス製等 ステンレス鋼材、アルミニウム押出形材などで被覆した、合成樹脂製のものは、衝撃による変形・割れが生じないものとする</td> </tr> <tr> <td>鍵</td> <td colspan="3">黄銅製、ステンレス製、亜鉛合金製とする 施設・開錠は、鍵又は開閉用ハンドル式とする</td> </tr> <tr> <td>蓋の耐荷重性能</td> <td colspan="3">蓋中央部が荷重値P=1,000Nにおいて残響たわみが点検口の有孔径の0.08%以内であること。 受け枠、蓋その他の使用上支障がないこと。 破壊荷重は、荷重値のPの2倍以上であること。</td> </tr> <tr> <td>受け枠寸法の許容差</td> <td colspan="3">±0.5mm以下</td> </tr> <tr> <td>蓋付寸法の許容差</td> <td colspan="3">±0.5mm以下</td> </tr> <tr> <td>受け枠と蓋枠のクリアランス</td> <td colspan="3">片側2.0mm以内 (試験方法)</td> </tr> <tr> <td>耐荷重試験</td> <td colspan="3">試験体は、強物とし、600mm角程度、枠見込みは、40mm以下とする。 試験は、蓋枠の四角を支持させ、蓋の中央部にφ50mmの加圧板を設置し、加圧する。 本試験前に200Nを加圧した後、本試験を行う。 本試験は、1,000Nで加圧、荷重除去を3回繰り返した後、その後試験体が破壊する(終局荷重)まで加圧する。 測定は、蓋中央部にかかる加圧を200N増す毎にたわみと受け枠の変形その他の異常について1,000Nまで3回繰り返す。</td> </tr> </table>	材種	寸法 (mm)	形式	備考	○ アルミニウム製 ・ ステンレス製 ・ 鋼製	・ 450×450 ※ 600×600	○ 一般形 ・ 密閉形	○ 屋内外用 ○ 屋内用	密閉形とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものとす。 (品質・性能)				部材名	材質	屋内外用	屋内用	受枠材 蓋枠材	アルミニウム及びアルミニウム合金押出形材	JIS H 4100のA6063S-T5 (表面処理) JIS H 8602のB種又はJIS H 8601のAA15		ステンレス製	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 (表面処理) HL又は2B仕上げ程度	JIS G 4305のSUS430 (表面処理) HL又は2B仕上げ程度	二重蓋の中蓋	鉄板	JIS G 5501のFC150、FC200		その他	塩化ビニル樹脂製等		目地材	黄銅	JIS H 3100 のC2600、C2720、C2801 JIS H 3250 のC3602、C3604		ステンレス	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 JIS G 4308のSUS304		底板材コーナーステンレス底板補強材	ステンレス鋼板	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 JIS G 4308のSUS304	JIS G 4305のSUS430	アルミニウム板	JIS H 4000(A1100P H24) 表面処理：陽極酸化塗装複合被膜 JIS H 8601(AA15) JIS H 8602(B)	—	鋼材	—	鋼製又はJIS G 3313にメラミン樹脂接着塗装若しくは、標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの	パッキン材	塩化ビニル系ゴム、軟質塩化ビニル、クロロプレン、スポンジラバー、エチレンプロピレン等種の材質、形状に適した弾力性、密着性、気密性を有するもの			アンカー取手	鋼製に電気亜鉛めっき又は防錆塗料を行ったもの 黄銅鋼製、黄銅製、アルミニウム押出形材・合金鋼鋼製、ステンレス鋼鋼品、ステンレス製等 ステンレス鋼材、アルミニウム押出形材などで被覆した、合成樹脂製のものは、衝撃による変形・割れが生じないものとする			鍵	黄銅製、ステンレス製、亜鉛合金製とする 施設・開錠は、鍵又は開閉用ハンドル式とする			蓋の耐荷重性能	蓋中央部が荷重値P=1,000Nにおいて残響たわみが点検口の有孔径の0.08%以内であること。 受け枠、蓋その他の使用上支障がないこと。 破壊荷重は、荷重値のPの2倍以上であること。			受け枠寸法の許容差	±0.5mm以下			蓋付寸法の許容差	±0.5mm以下			受け枠と蓋枠のクリアランス	片側2.0mm以内 (試験方法)			耐荷重試験	試験体は、強物とし、600mm角程度、枠見込みは、40mm以下とする。 試験は、蓋枠の四角を支持させ、蓋の中央部にφ50mmの加圧板を設置し、加圧する。 本試験前に200Nを加圧した後、本試験を行う。 本試験は、1,000Nで加圧、荷重除去を3回繰り返した後、その後試験体が破壊する(終局荷重)まで加圧する。 測定は、蓋中央部にかかる加圧を200N増す毎にたわみと受け枠の変形その他の異常について1,000Nまで3回繰り返す。		
	材種	寸法 (mm)	形式	備考																																																																													
	○ アルミニウム製 ・ ステンレス製 ・ 鋼製	・ 450×450 ※ 600×600	○ 一般形 ・ 密閉形	○ 屋内外用 ○ 屋内用																																																																													
	密閉形とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものとす。 (品質・性能)																																																																																
	部材名	材質	屋内外用	屋内用																																																																													
	受枠材 蓋枠材	アルミニウム及びアルミニウム合金押出形材	JIS H 4100のA6063S-T5 (表面処理) JIS H 8602のB種又はJIS H 8601のAA15																																																																														
		ステンレス製	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 (表面処理) HL又は2B仕上げ程度	JIS G 4305のSUS430 (表面処理) HL又は2B仕上げ程度																																																																													
	二重蓋の中蓋	鉄板	JIS G 5501のFC150、FC200																																																																														
		その他	塩化ビニル樹脂製等																																																																														
	目地材	黄銅	JIS H 3100 のC2600、C2720、C2801 JIS H 3250 のC3602、C3604																																																																														
ステンレス		JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 JIS G 4308のSUS304																																																																															
底板材コーナーステンレス底板補強材	ステンレス鋼板	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 JIS G 4308のSUS304	JIS G 4305のSUS430																																																																														
	アルミニウム板	JIS H 4000(A1100P H24) 表面処理：陽極酸化塗装複合被膜 JIS H 8601(AA15) JIS H 8602(B)	—																																																																														
	鋼材	—	鋼製又はJIS G 3313にメラミン樹脂接着塗装若しくは、標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの																																																																														
パッキン材	塩化ビニル系ゴム、軟質塩化ビニル、クロロプレン、スポンジラバー、エチレンプロピレン等種の材質、形状に適した弾力性、密着性、気密性を有するもの																																																																																
アンカー取手	鋼製に電気亜鉛めっき又は防錆塗料を行ったもの 黄銅鋼製、黄銅製、アルミニウム押出形材・合金鋼鋼製、ステンレス鋼鋼品、ステンレス製等 ステンレス鋼材、アルミニウム押出形材などで被覆した、合成樹脂製のものは、衝撃による変形・割れが生じないものとする																																																																																
鍵	黄銅製、ステンレス製、亜鉛合金製とする 施設・開錠は、鍵又は開閉用ハンドル式とする																																																																																
蓋の耐荷重性能	蓋中央部が荷重値P=1,000Nにおいて残響たわみが点検口の有孔径の0.08%以内であること。 受け枠、蓋その他の使用上支障がないこと。 破壊荷重は、荷重値のPの2倍以上であること。																																																																																
受け枠寸法の許容差	±0.5mm以下																																																																																
蓋付寸法の許容差	±0.5mm以下																																																																																
受け枠と蓋枠のクリアランス	片側2.0mm以内 (試験方法)																																																																																
耐荷重試験	試験体は、強物とし、600mm角程度、枠見込みは、40mm以下とする。 試験は、蓋枠の四角を支持させ、蓋の中央部にφ50mmの加圧板を設置し、加圧する。 本試験前に200Nを加圧した後、本試験を行う。 本試験は、1,000Nで加圧、荷重除去を3回繰り返した後、その後試験体が破壊する(終局荷重)まで加圧する。 測定は、蓋中央部にかかる加圧を200N増す毎にたわみと受け枠の変形その他の異常について1,000Nまで3回繰り返す。																																																																																
10	手すり	<table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>表面仕上げ</th> <th>直径 (mm)</th> <th>取付箇所</th> </tr> <tr> <td>・ 集成材</td> <td>・ クリアラッカー</td> <td>・ 35 ・ 45</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ステンレスパイプ</td> <td>・ HL程度</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 鋼製パイプ</td> <td>・ S O P</td> <td>・ E P-G</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ビニル製ハンドル</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	材質	表面仕上げ	直径 (mm)	取付箇所	・ 集成材	・ クリアラッカー	・ 35 ・ 45		・ ステンレスパイプ	・ HL程度			・ 鋼製パイプ	・ S O P	・ E P-G		・ ビニル製ハンドル																																																														
	材質	表面仕上げ	直径 (mm)	取付箇所																																																																													
・ 集成材	・ クリアラッカー	・ 35 ・ 45																																																																															
・ ステンレスパイプ	・ HL程度																																																																																
・ 鋼製パイプ	・ S O P	・ E P-G																																																																															
・ ビニル製ハンドル																																																																																	
11	天井見切り線等	壁及び下がり壁と天井の取合いの見切線(天井見切線、下がり壁見切線)の材質 ※ アルミニウム既製品 ・ ビニル既製品																																																																															
12	視覚障害者用床 タイル (視覚障害者誘導用ブロック)	(1.1.2.2.1.9.2.2)																																																																															
	<table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種類</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td rowspan="4">屋内</td> <td>・ 塩化ビニル製</td> <td>※ 300×300</td> <td>・ 7.0</td> </tr> <tr> <td>・ セラミックタイル</td> <td>※ 300×300</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ レジコンクリート製</td> <td>※ 300×300</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ コンクリート製</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">屋外</td> <td>・ セラミックタイル</td> <td>※ 300×300</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ レジコンクリート製</td> <td>※ 300×300</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ コンクリート製</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	施工箇所	種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	屋内	・ 塩化ビニル製	※ 300×300	・ 7.0	・ セラミックタイル	※ 300×300	・	・ レジコンクリート製	※ 300×300	・	・ コンクリート製			屋外	・ セラミックタイル	※ 300×300	・	・ レジコンクリート製	※ 300×300	・	・ コンクリート製			・																																																				
施工箇所	種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)																																																																														
屋内	・ 塩化ビニル製	※ 300×300	・ 7.0																																																																														
	・ セラミックタイル	※ 300×300	・																																																																														
	・ レジコンクリート製	※ 300×300	・																																																																														
	・ コンクリート製																																																																																
屋外	・ セラミックタイル	※ 300×300	・																																																																														
	・ レジコンクリート製	※ 300×300	・																																																																														
	・ コンクリート製																																																																																
	・																																																																																
13	鉄筋	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (5.2.1)(表5.2.1)																																																																															
	<table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>呼び名</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※ S D 2 9 5 A</td> <td>※ D 1 6 以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>※ S D 3 4 5</td> <td>※ D 1 9 以上</td> <td></td> </tr> </table>	種類の記号	呼び名	備考	※ S D 2 9 5 A	※ D 1 6 以下		※ S D 3 4 5	※ D 1 9 以上																																																																								
種類の記号	呼び名	備考																																																																															
※ S D 2 9 5 A	※ D 1 6 以下																																																																																
※ S D 3 4 5	※ D 1 9 以上																																																																																
14	溶接金網	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (5.2.2)																																																																															
	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>網目寸法、鉄線の径 (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※ 溶接金網</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 鉄筋格子</td> <td>100×100 D10</td> <td></td> </tr> </table>	種類	網目寸法、鉄線の径 (mm)	備考	※ 溶接金網			○ 鉄筋格子	100×100 D10																																																																								
種類	網目寸法、鉄線の径 (mm)	備考																																																																															
※ 溶接金網																																																																																	
○ 鉄筋格子	100×100 D10																																																																																
15	鉄筋の継手及び定着	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (5.3.4) 鉄筋の継手の方法等 ※ 重ね継ぎ手 ・ 鉄筋の重ね継ぎ手の長さ ※ 4 0 dと標準仕様書表5.3.2の重ね継ぎ手の長さのうち大きい値とする ・ 鉄筋の定着長さ ※ 柱に取り付ける束の引っ張り鉄筋の重ね定着長さは4 0 d以上とし、それ以外は標準仕様書表5.3.4による																																																																															

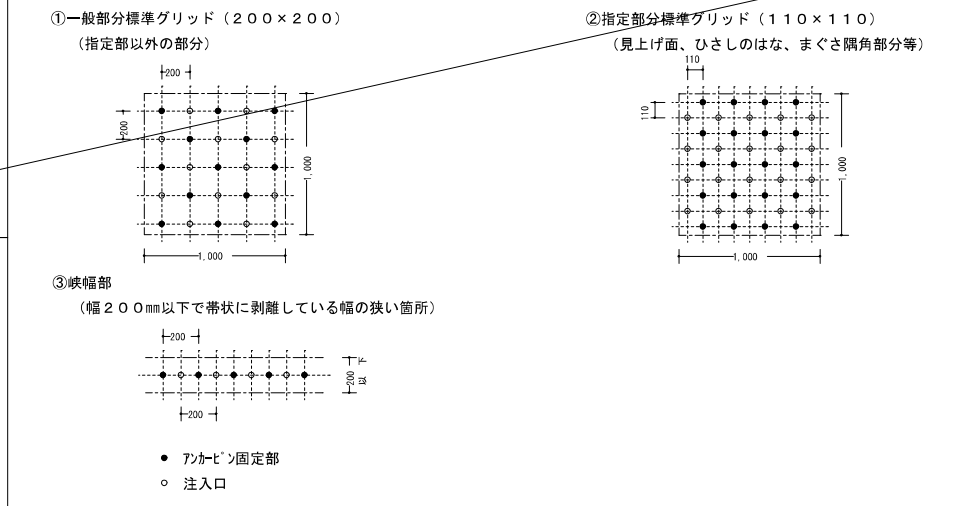
16	コンクリートの気乾単位容積質量による種類及び強度等	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (6.2.1~4) ※ 普通コンクリート 設計基準強度 (F c) スランプ (c m) 適用箇所 [N/mm2] ※ 2 4 ※ 標準仕様書表6.2.4による ※ コンクリート全て ○ 2 1 ※ 1 5 (無筋コンクリートを除く)
	17	セメント
18	型枠	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (6.8.2) せき板の材料 ※ 合板 厚さ (※ 1 2 mm) ・ メッシュ型枠 ・ 断熱材を兼用した型枠 厚さ2 5 mm以下かつ熱抵抗値1 m h 2 C / k C a I 以上
	19	無筋コンクリート
20	床コンクリート 直均し仕上げ	種類 (8.1.4)(表8.1.5) 仕上げの平坦さは、図示以外は下記による 改修標準仕様書表8.1.5に よる平坦さの種類 施工箇所 a種 合成樹脂塗床、ビニル系床材張り、床コンクリート直均し仕上げ、 フリースアクセスフロア(重設式) () b種 カーベット張り、防水下地、セルフレベリング材塗り () c種 タイル張り、モルタル塗り、フリースアクセスフロア(支柱調整式) ()
	21	あと施工アンカー
22	トイレブース	(2.0.2.5) 表面材の材料 脚部 ドアエッジ 形状 材質 ※ メラミン樹脂系化粧板 ※ 幅木タイプ ※ アルミニウム製 ・ ポリエステル樹脂系化粧板 ・ 樹脂系化粧板 ・ ステンレス製 ・ 表面材と同材
		(品質・性能) (1) パネル 項目 品質・性能 表面材 メラミン樹脂系、ポリエステル樹脂系化粧板又はメラミン樹脂系単一材とする。 裏打ち材 JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、防食処理及び防錆処理を施した材料とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。 心材 JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。 枠材 JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、亜鉛めっきエッジ材 処理を施した材料とする。 小口 防水処理を施す。
		(2) 構造金物 項目 品質・性能 脚部 JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」に規定するSUS304、SUS430J1L、SUS443J1とし、仕上げはHL程度とする。
		(3) 付属金物 項目 品質・性能 ヒンジ 耐蝕性のあるものとする。 ラッチセット 戸当りの腐蝕の恐れのある材料には防錆処理を施してあるものとする。 戸当り 腐蝕の恐れのある材料には防錆処理を施してあるものとする。
		(4) 外観は、JIS A 6512「可動間仕切」の5.b)による。 (5) パネル表面材の耐薬品性・耐汚染性・耐ひびき性・閉鎖耐久性 項目 品質・性能 耐薬品性及び耐汚染性 耐引っかけ性 メラミン樹脂系化粧板及びメラミン樹脂系単一材 JIS K 6903(2008)「熱硬化性樹脂高圧化粧板」の表8品質による耐汚染性(B法)の規定を満足していること。 低圧メラミン樹脂系化粧板 ポリエステル樹脂系加工化粧板、ポリエステル樹脂系化粧板MDF、ポリエステル樹脂系化粧板パネルボードのいずれかの品質に適合していること。 ポリエステル樹脂系加工化粧板 JAS「合板の日本農林規格」第9条特殊加工化粧板に示された耐汚染性日試験において、試験片の表面に色が残らないこと。特殊加工化粧板に示された耐引っかけ性日試験において、きずの深さの平均値が10μm以内であること。 ポリエステル樹脂系化粧板MDF JIS A 5905「繊維板」の表18の規定に適合していること。 ポリエステル樹脂系化粧板パネルボード JIS A 5908「パーティクルボード」の表11の規定に適合していること。
		(試験方法) (1) ヒンジは、JIS A 1510-2「建築用ドア金物の試験方法-第2部: ドア用金物」に規定する試験による。 (2) 戸当りの衝撃試験は、JIS A 1510-2に規定する試験による。 パネル材料のホルムアルデヒド放数量 ※ JIS A 6512によりF☆☆☆☆以上

名称	A 表面劣化部処理		B ひび割れ部処理		C 錆鉄筋部処理	
記号・仕様	A-1 打放し面表面劣化部処理 [サンダー工法]		A-2 モルタル面表面劣化部処理 [サンダー工法]		B-1 打放し面樹脂注入工法 [標仕4.3.4] ひび割れ幅 0.2~1.0mm	
改修前						
改修後						
工程	①既存仕上げ材及び脆弱層サンダーケレン (*全面・部分) ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ③セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度) 参考数量:		①既存仕上げ材及び脆弱層サンダーケレン (*全面・部分) ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ③セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度) アスベスト含有部の施工は下記3点の工法同等とする。 ①泡噴出・集じん装置付き湿式ディスクグラインダーケレン工法 ②剥離剤併用手工具ケレン工法 ③負圧隔離養生+集塵装置付きディスクグラインダーケレン工法 参考数量: ひび割れ幅 0.2~0.5mm () ひび割れ幅 0.5~1.0mm () ()内は挙動ひび割れ数量を示す		①ひび割れ部Uカット ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ③シーリング材打設 ④Uカット部埋戻し (ポリマーセメントモルタル) ⑤セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度) ※A-1工法を行う場合は、②⑤の工程はA-1工法に含む。 参考数量:	
名称	B ひび割れ部処理		C 錆鉄筋部処理		D 浮き部処理	
記号・仕様	B-4 モルタル面樹脂注入工法 [共仕4.4.5] ひび割れ幅 0.2~1.0mm		B-5 モルタル面樹脂注入工法 [標仕4.4.5] ひび割れ幅 0.2~1.0mm		B-6 モルタル面Uカット樹脂注入工法 ひび割れ幅 1.0mmを超える	
改修前						
改修後						
工程	①サンダーケレン ②ひび割れ部シール ③エポキシ樹脂注入 ④セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度) ※A-2工法を行う場合は、①④の工程はA-2工法に含む。 参考数量: ひび割れ幅 0.2~0.5mm () ひび割れ幅 0.5~1.0mm () ()内は挙動ひび割れ数量を示す		①ひび割れ周囲モルタルカッター切り ②モルタル除去 ③ひび割れ部シール ④エポキシ樹脂注入 ⑤埋戻し ⑥セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度) ※A-2工法を行う場合は、⑥の工程はA-2工法に含む。 参考数量:		①ひび割れ部Uカット ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ③シーリング材打設 ④Uカット部埋戻し (ポリマーセメントモルタル) ⑤セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度) ※A-2工法を行う場合は、②⑤の工程はA-2工法に含む。 参考数量:	
名称	C 錆鉄筋部処理		D 浮き部処理		E アンカーピン部処理	
記号・仕様	C-2 モルタル面錆鉄筋部処理		D-1 モルタル面はつり		D-2 モルタル面アンカーピン部エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.4.10] D-2' タイル面アンカーピン部エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.5.9]	
改修前						
改修後						
工程	①カッター縁切り ②浮き部はつり ③錆落とし ④高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ⑤防錆処理 ⑥はつり部埋戻し整形 ⑦セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度) ※A-2工法を行う場合は、④⑦の工程はA-2工法に含む。 参考数量:		①カッター縁切り ②浮き部はつり ③高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ④はつり部埋戻し整形 ⑤セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度) ※A-2工法を行う場合は、③⑤の工程はA-2工法に含む。 参考数量:		①穿孔 ②穿孔内エアークリーニング ③エポキシ樹脂注入 ④ステンレスピン挿入 ⑤穿孔跡埋戻し [パテ状エポキシ樹脂] ⑥サンダーケレン ⑦高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ⑧セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度) ※A-2工法を行う場合は、⑥⑦⑧の工程はA-2工法に含む。 参考数量: ①一般部分: 16ヶ所 ②指定部分: 25ヶ所 ③狭幅部:	

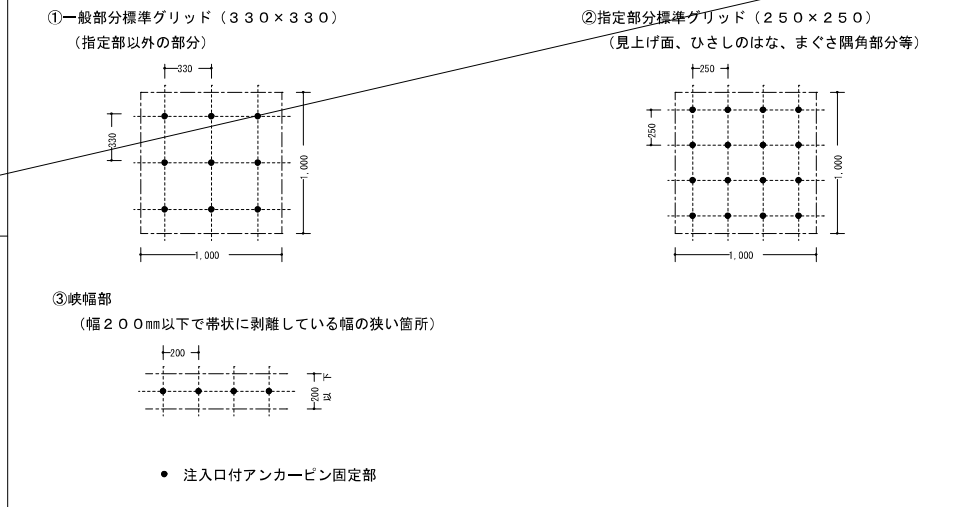
名称	D 浮き部処理																																																								
記号・仕様	D-3 モルタル面アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.4.11] D-3' タイル面アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.5.10]																																																								
改修前																																																									
改修後																																																									
工程	<table border="0"> <tr> <td>①ピン固定部穿孔</td> <td>一般部 13ヶ所</td> <td>⑥注入口穿孔</td> <td>一般部 12ヶ所</td> <td>⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)</td> </tr> <tr> <td>指定部 20ヶ所</td> <td></td> <td>指定部 20ヶ所</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>②孔内エアークリーニング</td> <td>一般部 13ヶ所</td> <td>⑦孔内エアークリーニング</td> <td>一般部 12ヶ所</td> <td></td> </tr> <tr> <td>指定部 20ヶ所</td> <td></td> <td>指定部 20ヶ所</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③エポキシ樹脂注入</td> <td>一般部 13ヶ所</td> <td>⑧エポキシ樹脂注入</td> <td>一般部 12ヶ所</td> <td></td> </tr> <tr> <td>指定部 20ヶ所</td> <td></td> <td>指定部 20ヶ所</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>④ステンレスピン挿入</td> <td>一般部 13ヶ所</td> <td>⑨穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]</td> <td>一般部 12ヶ所</td> <td></td> </tr> <tr> <td>指定部 20ヶ所</td> <td></td> <td>指定部 20ヶ所</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]</td> <td>一般部 13ヶ所</td> <td>⑩サンダーケレン</td> <td>一般部 12ヶ所</td> <td></td> </tr> <tr> <td>指定部 20ヶ所</td> <td></td> <td>指定部 20ヶ所</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm²)</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>※A-2工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む。 参考数量：①一般部分： ②指定部分： ③狭幅部：</p>		①ピン固定部穿孔	一般部 13ヶ所	⑥注入口穿孔	一般部 12ヶ所	⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)	指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所			②孔内エアークリーニング	一般部 13ヶ所	⑦孔内エアークリーニング	一般部 12ヶ所		指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所			③エポキシ樹脂注入	一般部 13ヶ所	⑧エポキシ樹脂注入	一般部 12ヶ所		指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所			④ステンレスピン挿入	一般部 13ヶ所	⑨穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部 12ヶ所		指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所			⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部 13ヶ所	⑩サンダーケレン	一般部 12ヶ所		指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所					⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²)		
①ピン固定部穿孔	一般部 13ヶ所	⑥注入口穿孔	一般部 12ヶ所	⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)																																																					
指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所																																																							
②孔内エアークリーニング	一般部 13ヶ所	⑦孔内エアークリーニング	一般部 12ヶ所																																																						
指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所																																																							
③エポキシ樹脂注入	一般部 13ヶ所	⑧エポキシ樹脂注入	一般部 12ヶ所																																																						
指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所																																																							
④ステンレスピン挿入	一般部 13ヶ所	⑨穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部 12ヶ所																																																						
指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所																																																							
⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部 13ヶ所	⑩サンダーケレン	一般部 12ヶ所																																																						
指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所																																																							
		⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²)																																																							
名称	D 浮き部処理																																																								



名称	D 浮き部処理																																																								
記号・仕様	D-4 モルタル面アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4.4.12] D-4' タイル面アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4.5.11]																																																								
改修前																																																									
改修後																																																									
工程	<table border="0"> <tr> <td>①ピン固定部穿孔</td> <td>一般部 13ヶ所</td> <td>⑥注入口穿孔</td> <td>一般部 12ヶ所</td> <td>⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)</td> </tr> <tr> <td>指定部 20ヶ所</td> <td></td> <td>指定部 20ヶ所</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>②孔内エアークリーニング</td> <td>一般部 13ヶ所</td> <td>⑦孔内エアークリーニング</td> <td>一般部 12ヶ所</td> <td></td> </tr> <tr> <td>指定部 20ヶ所</td> <td></td> <td>指定部 20ヶ所</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③ポリマーセメントスラリー注入</td> <td>一般部 13ヶ所</td> <td>⑧ポリマーセメントスラリー注入</td> <td>一般部 12ヶ所</td> <td></td> </tr> <tr> <td>指定部 20ヶ所</td> <td></td> <td>指定部 20ヶ所</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>④ステンレスピン挿入</td> <td>一般部 13ヶ所</td> <td>⑨穿孔跡埋戻し [ポリマーセメントスラリー]</td> <td>一般部 12ヶ所</td> <td></td> </tr> <tr> <td>指定部 20ヶ所</td> <td></td> <td>指定部 20ヶ所</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑤穿孔跡埋戻し [ポリマーセメントスラリー]</td> <td>一般部 13ヶ所</td> <td>⑩サンダーケレン</td> <td>一般部 12ヶ所</td> <td></td> </tr> <tr> <td>指定部 20ヶ所</td> <td></td> <td>指定部 20ヶ所</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm²)</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>※A-2工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む。 参考数量：①一般部分： ②指定部分： ③狭幅部：</p>		①ピン固定部穿孔	一般部 13ヶ所	⑥注入口穿孔	一般部 12ヶ所	⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)	指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所			②孔内エアークリーニング	一般部 13ヶ所	⑦孔内エアークリーニング	一般部 12ヶ所		指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所			③ポリマーセメントスラリー注入	一般部 13ヶ所	⑧ポリマーセメントスラリー注入	一般部 12ヶ所		指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所			④ステンレスピン挿入	一般部 13ヶ所	⑨穿孔跡埋戻し [ポリマーセメントスラリー]	一般部 12ヶ所		指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所			⑤穿孔跡埋戻し [ポリマーセメントスラリー]	一般部 13ヶ所	⑩サンダーケレン	一般部 12ヶ所		指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所					⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²)		
①ピン固定部穿孔	一般部 13ヶ所	⑥注入口穿孔	一般部 12ヶ所	⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)																																																					
指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所																																																							
②孔内エアークリーニング	一般部 13ヶ所	⑦孔内エアークリーニング	一般部 12ヶ所																																																						
指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所																																																							
③ポリマーセメントスラリー注入	一般部 13ヶ所	⑧ポリマーセメントスラリー注入	一般部 12ヶ所																																																						
指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所																																																							
④ステンレスピン挿入	一般部 13ヶ所	⑨穿孔跡埋戻し [ポリマーセメントスラリー]	一般部 12ヶ所																																																						
指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所																																																							
⑤穿孔跡埋戻し [ポリマーセメントスラリー]	一般部 13ヶ所	⑩サンダーケレン	一般部 12ヶ所																																																						
指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所																																																							
		⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²)																																																							
名称	D 浮き部処理																																																								



名称	D 浮き部処理																																	
記号・仕様	D-5 モルタル面注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.4.13] D-5' タイル面注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.5.12]																																	
改修前																																		
改修後																																		
工程	<table border="0"> <tr> <td>①穿孔</td> <td>一般部 9ヶ所</td> <td>⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]</td> <td>一般部 9ヶ所</td> </tr> <tr> <td>指定部 16ヶ所</td> <td></td> <td>指定部 16ヶ所</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②孔内エアークリーニング</td> <td>一般部 9ヶ所</td> <td>⑥サンダーケレン</td> <td></td> </tr> <tr> <td>指定部 16ヶ所</td> <td></td> <td>⑦高圧水洗浄 (150~200kg/cm²)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③ステンレスピン (注入口付) 挿入</td> <td>一般部 9ヶ所</td> <td>⑧セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>指定部 16ヶ所</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>④エポキシ樹脂注入</td> <td>一般部 9ヶ所</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>指定部 16ヶ所</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>※A-2工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程はA-2工法に含む。 参考数量：①一般部分： ②指定部分： ③狭幅部：</p>		①穿孔	一般部 9ヶ所	⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部 9ヶ所	指定部 16ヶ所		指定部 16ヶ所		②孔内エアークリーニング	一般部 9ヶ所	⑥サンダーケレン		指定部 16ヶ所		⑦高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²)		③ステンレスピン (注入口付) 挿入	一般部 9ヶ所	⑧セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)		指定部 16ヶ所				④エポキシ樹脂注入	一般部 9ヶ所			指定部 16ヶ所			
①穿孔	一般部 9ヶ所	⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部 9ヶ所																															
指定部 16ヶ所		指定部 16ヶ所																																
②孔内エアークリーニング	一般部 9ヶ所	⑥サンダーケレン																																
指定部 16ヶ所		⑦高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²)																																
③ステンレスピン (注入口付) 挿入	一般部 9ヶ所	⑧セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)																																
指定部 16ヶ所																																		
④エポキシ樹脂注入	一般部 9ヶ所																																	
指定部 16ヶ所																																		
名称	D 浮き部処理																																	



名称	D 浮き部処理																																																	
記号・仕様	D-6' モルタル面注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.4.14] D-6' タイル面注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.5.13]																																																	
改修前																																																		
改修後																																																		
工程	<table border="0"> <tr> <td>①ピン固定部穿孔</td> <td>一般部 9ヶ所</td> <td>⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]</td> <td>一般部 9ヶ所</td> <td>⑨穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]</td> <td>一般部 9ヶ所</td> </tr> <tr> <td></td> <td>指定部 16ヶ所</td> <td></td> <td>指定部 16ヶ所</td> <td></td> <td>指定部 16ヶ所</td> </tr> <tr> <td>②孔内エアークリーニング</td> <td>一般部 9ヶ所</td> <td>⑥注入口穿孔</td> <td>一般部 9ヶ所</td> <td>⑩サンダーケレン</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>指定部 16ヶ所</td> <td></td> <td>指定部 16ヶ所</td> <td>⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm²)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③ステンレスピン (注入口付) 挿入</td> <td>一般部 9ヶ所</td> <td>⑦孔内エアークリーニング</td> <td>一般部 9ヶ所</td> <td>⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>指定部 16ヶ所</td> <td></td> <td>指定部 16ヶ所</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>④エポキシ樹脂注入</td> <td>一般部 9ヶ所</td> <td>⑧エポキシ樹脂注入</td> <td>一般部 9ヶ所</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>指定部 16ヶ所</td> <td></td> <td>指定部 16ヶ所</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>※A-2工法を行う場合、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む</p> <p>参考数量：①一般部分： ②指定部分： ③狭幅部：</p>		①ピン固定部穿孔	一般部 9ヶ所	⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部 9ヶ所	⑨穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部 9ヶ所		指定部 16ヶ所		指定部 16ヶ所		指定部 16ヶ所	②孔内エアークリーニング	一般部 9ヶ所	⑥注入口穿孔	一般部 9ヶ所	⑩サンダーケレン			指定部 16ヶ所		指定部 16ヶ所	⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²)		③ステンレスピン (注入口付) 挿入	一般部 9ヶ所	⑦孔内エアークリーニング	一般部 9ヶ所	⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)			指定部 16ヶ所		指定部 16ヶ所			④エポキシ樹脂注入	一般部 9ヶ所	⑧エポキシ樹脂注入	一般部 9ヶ所				指定部 16ヶ所		指定部 16ヶ所		
①ピン固定部穿孔	一般部 9ヶ所	⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部 9ヶ所	⑨穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部 9ヶ所																																													
	指定部 16ヶ所		指定部 16ヶ所		指定部 16ヶ所																																													
②孔内エアークリーニング	一般部 9ヶ所	⑥注入口穿孔	一般部 9ヶ所	⑩サンダーケレン																																														
	指定部 16ヶ所		指定部 16ヶ所	⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²)																																														
③ステンレスピン (注入口付) 挿入	一般部 9ヶ所	⑦孔内エアークリーニング	一般部 9ヶ所	⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)																																														
	指定部 16ヶ所		指定部 16ヶ所																																															
④エポキシ樹脂注入	一般部 9ヶ所	⑧エポキシ樹脂注入	一般部 9ヶ所																																															
	指定部 16ヶ所		指定部 16ヶ所																																															

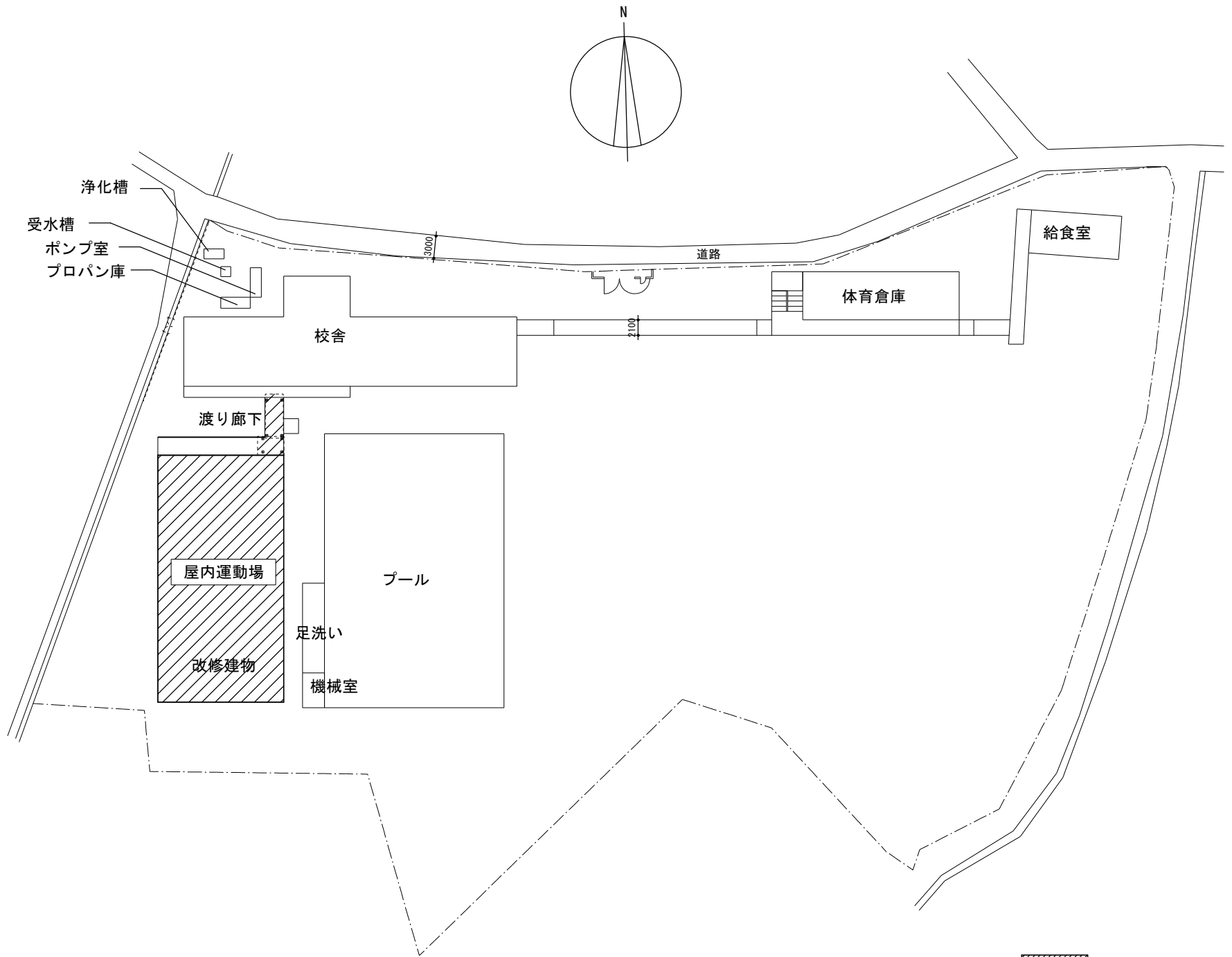
名称	D 浮き部処理																																																													
記号・仕様	D-7' モルタル面注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4.4.15] D-7' タイル面注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4.5.14] ※標準グリッド等は、D-6、D-6' と同じ																																																													
改修前																																																														
改修後																																																														
工程	<table border="0"> <tr> <td>①ピン固定部穿孔</td> <td>一般部 9ヶ所</td> <td>⑥注入口穿孔</td> <td>一般部 9ヶ所</td> <td>⑩セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>指定部 16ヶ所</td> <td></td> <td>指定部 16ヶ所</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>②孔内エアークリーニング</td> <td>一般部 9ヶ所</td> <td>⑦孔内エアークリーニング</td> <td>一般部 9ヶ所</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>指定部 16ヶ所</td> <td></td> <td>指定部 16ヶ所</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③ステンレスピン (注入口付) 挿入</td> <td>一般部 9ヶ所</td> <td>⑧ポリマーセメントスラリー注入</td> <td>一般部 9ヶ所</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>指定部 16ヶ所</td> <td></td> <td>指定部 16ヶ所</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>④ポリマーセメントスラリー注入</td> <td>一般部 9ヶ所</td> <td>⑨穿孔跡埋戻し [※'リマセメントパテ]</td> <td>一般部 9ヶ所</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>指定部 16ヶ所</td> <td></td> <td>指定部 16ヶ所</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑤穿孔跡埋戻し [※'リマセメントパテ]</td> <td>一般部 9ヶ所</td> <td>⑪サンダーケレン</td> <td>一般部 9ヶ所</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>指定部 16ヶ所</td> <td>⑫高圧水洗浄 (150~200kg/cm²)</td> <td>指定部 16ヶ所</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>※A-2工法を行う場合、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む</p> <p>参考数量：①一般部分： ②指定部分： ③狭幅部：</p>		①ピン固定部穿孔	一般部 9ヶ所	⑥注入口穿孔	一般部 9ヶ所	⑩セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)			指定部 16ヶ所		指定部 16ヶ所			②孔内エアークリーニング	一般部 9ヶ所	⑦孔内エアークリーニング	一般部 9ヶ所				指定部 16ヶ所		指定部 16ヶ所			③ステンレスピン (注入口付) 挿入	一般部 9ヶ所	⑧ポリマーセメントスラリー注入	一般部 9ヶ所				指定部 16ヶ所		指定部 16ヶ所			④ポリマーセメントスラリー注入	一般部 9ヶ所	⑨穿孔跡埋戻し [※'リマセメントパテ]	一般部 9ヶ所				指定部 16ヶ所		指定部 16ヶ所			⑤穿孔跡埋戻し [※'リマセメントパテ]	一般部 9ヶ所	⑪サンダーケレン	一般部 9ヶ所				指定部 16ヶ所	⑫高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²)	指定部 16ヶ所		
①ピン固定部穿孔	一般部 9ヶ所	⑥注入口穿孔	一般部 9ヶ所	⑩セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)																																																										
	指定部 16ヶ所		指定部 16ヶ所																																																											
②孔内エアークリーニング	一般部 9ヶ所	⑦孔内エアークリーニング	一般部 9ヶ所																																																											
	指定部 16ヶ所		指定部 16ヶ所																																																											
③ステンレスピン (注入口付) 挿入	一般部 9ヶ所	⑧ポリマーセメントスラリー注入	一般部 9ヶ所																																																											
	指定部 16ヶ所		指定部 16ヶ所																																																											
④ポリマーセメントスラリー注入	一般部 9ヶ所	⑨穿孔跡埋戻し [※'リマセメントパテ]	一般部 9ヶ所																																																											
	指定部 16ヶ所		指定部 16ヶ所																																																											
⑤穿孔跡埋戻し [※'リマセメントパテ]	一般部 9ヶ所	⑪サンダーケレン	一般部 9ヶ所																																																											
	指定部 16ヶ所	⑫高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²)	指定部 16ヶ所																																																											
	<p>D-8' タイル面注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法 (小口タイル以上) [標仕4.5.15]</p>																																																													
	<p>①穿孔 ②孔内エアークリーニング ③ステンレスピン (注入口付) 挿入 ④エポキシ樹脂注入 ⑤穿孔跡埋戻し [化粧キャップもしくは調色樹脂パテ]</p> <p>参考数量：</p>																																																													

名称	E 欠損部処理			F 外壁複合改修工法						
記号・仕様	E-1 打放し面充填工法 [標仕4.3.7]	E-2 打放し面欠損部処理 [標仕4.3.3]	E-3 モルタル面欠損部処理 [標仕4.4.3]	F 外壁複合改修工法						
改修前										
改修後										
工程	<table border="0"> <tr> <td>①欠損部はつり等での整形</td> <td>②高圧水洗浄 (150~200kg/cm²)</td> <td>③欠損はつり部埋戻し [※'リマセメントパテ』・エポキシ樹脂モルタル]</td> <td>④セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)</td> </tr> </table> <p>※A-1工法を行う場合、②、④の工程はA-1工法に含む</p> <p>参考数量：</p>			①欠損部はつり等での整形	②高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²)	③欠損はつり部埋戻し [※'リマセメントパテ』・エポキシ樹脂モルタル]	④セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)	<p>下地補修後</p> <p>① プライマー下塗り ② ポリマーペースト中塗り ③ 三輪ネット張り ④ フッシャー付アンカーピン打ち込み ⑤ ポリマーペースト中塗り ⑥ アルミ水切り取付け (L-30×15×2.0 ステンレスビス止@450) ⑦ シーリング打設 (MS-2)</p>		
①欠損部はつり等での整形	②高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²)	③欠損はつり部埋戻し [※'リマセメントパテ』・エポキシ樹脂モルタル]	④セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)							
	<p>①欠損部・錆鉄筋周辺はつり等での整形 ②錆落とし ③高圧水洗浄 (150~200kg/cm²) ④防錆処理 ⑤欠損はつり部埋戻し [※'リマセメントパテ』・エポキシ樹脂モルタル] ⑥セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)</p> <p>※A-1工法を行う場合、③、⑥の工程はA-1工法に含む</p> <p>参考数量：</p>			<p>①カッター線切り ②欠損部はつり等での整形 ③高圧水洗浄 (150~200kg/cm²) ④欠損はつり部埋戻し [※'リマセメントパテ』・エポキシ樹脂モルタル] ⑤セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度) (鉄筋の露出部がある場合はE-2による)</p> <p>※A-2工法を行う場合、③、⑤の工程はA-2工法に含む</p> <p>参考数量：</p>						
	<p>①穿孔 ②孔内エアークリーニング ③ステンレスピン (注入口付) 挿入 ④エポキシ樹脂注入 ⑤穿孔跡埋戻し [化粧キャップもしくは調色樹脂パテ]</p> <p>参考数量：</p>			<p>① 打放し面充填 ② 打放し面欠損部処理 ③ モルタル面欠損部処理</p> <p>※印寸法は80程度とする</p>						
	<table border="1"> <tr> <td>参考数量</td> <td>ネット張り</td> <td>m²</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水切</td> <td>m</td> </tr> </table>			参考数量	ネット張り	m ²		水切	m	
参考数量	ネット張り	m ²								
	水切	m								

建物所在地：三原市鷺浦町須波2189番地



付近見取図 1/15000



配置図 1/500

改修工事部分を示す。

工事概要

長寿命化改修工事

【屋内運動場】	
・屋根改修工事	・内装改修工事
・外壁改修工事	(体操場床、控室壁、地下倉庫)
・建具改修工事	
【渡り廊下】	
・屋根改修工事	
・外壁改修工事	

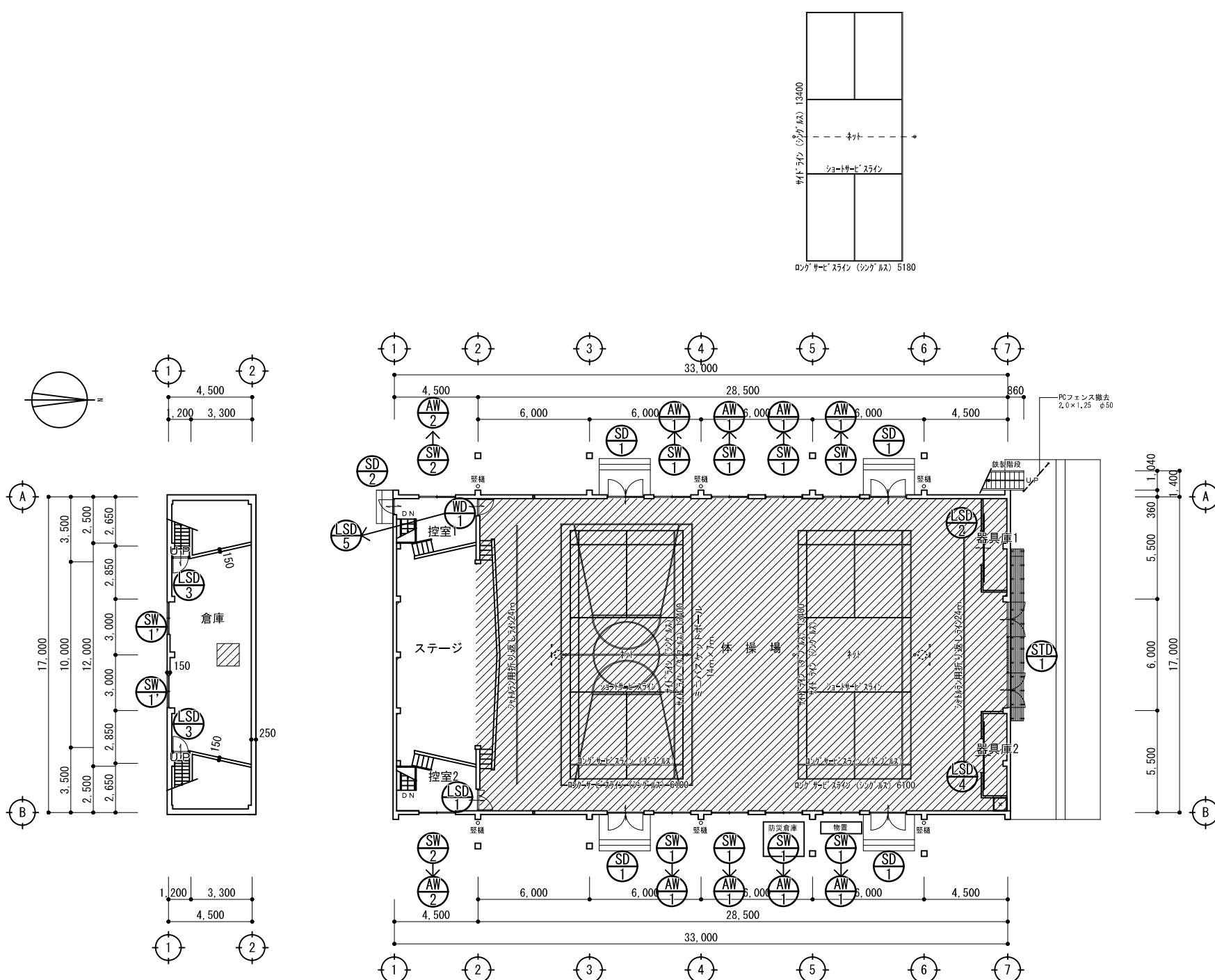
外部仕上表

部 位	部 分	改修前仕上	改修工法	改修内容	改修後仕上	備 考	部 位	部 分	改修前仕上	改修工法	改修内容	改修後仕上	備 考	
屋根	屋根	ガルバ鋼板瓦棒葺	塗装改修	下地調整のうえ新設	遮熱塗装		渡り廊下	床	防水モルタル塗金コテ押え	高圧水洗	高圧水洗	既存のまま		
	庇裏	LGS下地、ケイカル板(t=5)底目地、 アクリルリシン吹付		既存仕上ケレン 下地調整のうえ新設	外装薄塗材E			柱・梁	鉄骨造 SOP塗り	塗装改修	塗替、タイトフレーム共 下地調整のうえ新設	DP		
	鼻先	リブ下地モルタル刷毛引、アクリルリシン吹付 (アスベスト含有)	A-2	劣化部処理、下地調整のうえ新設	防水形複層塗材E			屋根	ルーフデッキ、カラー鋼板山高85	塗装改修	塗替、取合い水切り共 下地調整のうえ新設	DP		
	東側軒庇	リブ下地モルタル下地、カラー鋼板葺き	塗装改修	下地調整のうえ新設	DP塗									
	東側2階庇	コンクリート下地、防水モルタルリブ塗布防水	A-2	劣化部処理、下地調整のうえ新設	塗膜防水 X-2			階段	土間コンクリート下地、防水モルタル塗金コテ押え	洗浄	高圧水洗	既存のまま		
樋	軒樋	塩ビ製箱樋	撤去	支持金物共新設	大型箱樋 芯材スチール165W×150H		鉄骨階段	鉄骨造 SOP塗り	塗装改修	下地調整のうえ新設	DP			
	壁樋	塩ビ製	撤去	支持金物共新設	カラー塩ビφ75		建具	鋼製建具SOP塗り 格子SOP塗り	カバー工法	既存鋼製建具躯体枠以外撤去 既存鋼製格子撤去	アルミ製建具新設			
	保護管	鋼製φ114 SOP塗り	撤去	支持金物共新設	鋼製φ114 SOP塗		床下換気孔	鋼製格子SOP塗り	塗装改修	下地調整のうえ新設	DP	コンクリート打放し仕上げ		
							ブレース	鉄骨SOP塗り	塗装改修	下地調整のうえ新設	DP			
外壁	根廻 (南西・北東側)	モルタル塗刷毛引 コンクリート打放し(耐震改修部)	洗浄	高圧水洗浄	既存のまま 既存のまま		外フレーム	耐震フレーム、鉄骨SOP塗り	塗装改修	下地調整のうえ新設	DP			
	外壁 (北側)	リブ下地モルタル刷毛引、アクリルリシン吹付 (アスベスト含有)	A-2	劣化部処理、下地調整のうえ新設	防水形複層塗材E									
	外壁 (南側)	リブ下地モルタル刷毛引、アクリルリシン吹付 (アスベスト含有)	A-2	劣化部処理、下地調整のうえ新設	防水形複層塗材E									
	外壁 (西側)	リブ下地モルタル刷毛引、アクリルリシン吹付 (アスベスト含有) 耐震フレーム鉄骨SOP塗り	A-2 塗装改修	劣化部処理、下地調整のうえ新設 下地調整のうえ新設	防水形複層塗材E DP塗									
	外壁 (東側)	リブ下地モルタル刷毛引、アクリルリシン吹付 (アスベスト含有) 耐震フレーム鉄骨SOP塗り	A-2 塗装改修	劣化部処理、下地調整のうえ新設 下地調整のうえ新設	防水形複層塗材E DP塗									
	柱型	リブ下地モルタル刷毛引、アクリルリシン吹付 (アスベスト含有)	A-2	劣化部処理、下地調整のうえ新設	防水形複層塗材E									
	梁型	リブ下地モルタル刷毛引、アクリルリシン吹付 (アスベスト含有)	A-2	劣化部処理、下地調整のうえ新設	防水形複層塗材E									
玄関	庇	木毛板(18)細目下地、カラー鋼板瓦棒葺	カバー工法	清掃+金属板葺き新設	カラーガルバ鋼板(t=0.5)瓦棒葺@418									
	庇鼻先	モルタル塗金コテ磨VP	A-2	劣化部処理、下地調整のうえ新設	防水形複層塗材E	軒樋新設 芯材スチール100W×80H								
	庇裏	防火下見板下地、アクリルリシン吹付	A-2	ケレン 下地調整のうえ新設	外装薄塗材E									
	外壁	北側に同じ	北側に同じ	北側に同じ	北側に同じ									
	床	防水モルタル塗金コテ押え	洗浄	高圧水洗浄のみ	既存のまま		略号凡例				特記事項			
								塗 装	その 他					
							SOP	合成樹脂調合ペイント塗り	SUS	ステンレス				
							EP-G	つや有り合成樹脂エマルジョンペイント塗り	≡	シーリング				
							EP	合成樹脂エマルジョンペイント塗り	RD	ルーフドレン				
							DP	耐侯性塗料塗り	FD	フロアドレン				
							AE	アクリル樹脂エナメル塗り	G.P	配管用炭素鋼鋼管				

内部仕上表

階	室名	床		巾木		腰壁		壁		天井		梁型		廻縁	天井高	カーボックス カーン取付板	環境 測定 (特記1-14)	備考	
		下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上						
地階	倉庫	改修前	C	モルタル金コテ押え [一部土間撤去]	C	モルタル金コテ磨き	-	-	C	モルタル金コテ磨き	LGS	合板 厚4.0 [撤去]	-	-	-	1,900	-	-	土間1㎡程度 [撤去] 残置物(木製棚等) [撤去]
		改修後	C	雨水槽設置周囲モルタル 金コテ押え復旧 [新設]	C	既存のまま	-	-	C	[既存のまま]		鉄部: SOP [新設]	-	-	-	1,900	-	-	浸水対策: 雨水槽600角設置 [新設] 鋼製柱、ブレースSOP [塗替]
1	控室1・2	改修前	W	ラワンフローリング	M	ラワン 30×105 OP [塗替]	-	-	LGS	リプラスモルタル金コテ磨き プラスター塗り [仕上撤去] 控室1の壁(体操場側、電気設備設置面)を除く	S	プラスターボード目透しVP	-	-	-	6,000	-	-	
		改修後	W	[既存のまま]	M	ラワン 30×105 SOP [新設] 既存	-	-	LGS	ラワン合板 t=9+GB-R t=12.5の上、EP-G [新設] 既存 控室1の壁(体操場側、電気設備設置面) 下地調整 のうえビニルクロス貼り(表面強化、汚れ防止) [新設]	S	[既存のまま]	-	-	-		-	-	
	ステージ	改修前	W	ブナフローリング(t=15)(捨板 t=20) ポリエステル樹脂塗装	M	ラワン 30×105 OP [塗替]	-	-	LGS	リプラスモルタル金コテ磨き プラスター塗り [仕上撤去]	S	耐火野地板素地	-	-	-	6,000	-	-	
		改修後	S	[既存のまま]	M	ラワン 30×105 SOP [新設] 既存	-	-	LGS	ラワン合板 t=9+GB-R t=12.5の上、EP-G [新設] 既存	S	[既存のまま]	-	-	-		-	-	
	体操場	改修前	W	ナラフローリング(t=15)(捨板 t=20) ポリエステル樹脂塗装 [下地共撤去]	M	ラワン 30×105 OP [塗替]	M	防火下見板	LGS	リプラスモルタル金コテ磨き プラスター塗り	S	耐火野地板素地	-	-	-	8,000	-	-	
		改修後	S	複合フローリング(t=18)(表層加 ⁿ t=6) 捨板、構造用合板(t=12) ウレタン塗装、コートライシ引 ^き 周囲ネオプレノン18×20 [下地共新設]	M	SOP [新設]	M	[既存のまま]	LGS	[既存のまま]	S	[既存のまま]	-	-	-		-	-	フロア換気口: ステンレス製 200×900 防虫網付 20か所 床下点検口: アルミ 600×600 2か所 樹脂製防球ネット新設(ステージ側以外)
	体操場ステージ側	改修前	-	-	M	ラワン 30×105 OP [塗替]	-	-	LGS	上部: 有孔プラスターボード t=9.0目透し張VP 下部: 合板 t=5.5下地プリント合板 t=5.0糊貼り (H=6750)	☆	耐火野地板素地	-	-	-	8,000	-	-	スピーカー取外し2か所(設備工事) 絵画取外し1か所
		改修後	-	-	M	SOP [新設]	-	-	LGS	上部、下部共下地調整のうえ、ビニルクロス貼り 既存 (表面強化、汚れ防止)	-	-	-	-	-		-	-	スピーカー再取付け2か所 絵画再取付け1か所
	器具庫1	改修前	W	ナラフローリング t=15 (捨板 t=20) ポリエステル樹脂塗装 [下地共撤去]	LGS	体操場側: 米桐18×150 SOP 器具庫側: 米桐20×150 SOP [間仕切り下地共撤去]	-	-	LGS	体操場側: ラワン合板(t=12)下地 シナ合板(t=5.5)目透し貼 OSCCL 器具庫側: ラワン合板張り(t=12) [間仕切り下地共撤去]	LGS	下見板貼	-	-	-	2,567	-	-	建具4150×2200 [取外し] 木製棚(D=700) [撤去]
		改修後	S	複合フローリング t=18 (表層加 ⁿ t=6) 捨板、構造用合板 t=12 ウレタン塗装 [下地共新設]	LGS	体操場側: 米桐18×150 SOP 器具庫側: 米桐20×150 SOP [間仕切り下地共新設]	-	-	LGS	体操場側: ラワン合板(t=12)下地 シナ合板(t=5.5)目透し貼 OSCCL (新設) 器具庫側: ラワン合板張り(t=12) [間仕切り下地共新設]	LGS	[既存のまま]	-	-	-		-	-	建具4150×2200 [再取付け] 木製棚(D=700) [新設]
	器具庫2	改修前	W	ナラフローリング t=15 (捨板 t=20) ポリエステル樹脂塗装 [下地共撤去]	LGS	体操場側: 米桐18×150 SOP 器具庫側: 米桐20×150 SOP [間仕切り下地共撤去]	-	-	LGS	体操場側: ラワン合板(t=12)下地 シナ合板(t=5.5)目透し貼 OSCCL 器具庫側: ラワン合板張り(t=12) [間仕切り下地共撤去]	LGS	下見板貼	-	-	-	2,567	-	-	建具4330×2200 [取外し] 木製棚(D=700) [撤去]
		改修後	S	複合フローリング t=18 (表層加 ⁿ t=6) 捨板、構造用合板 t=12 ウレタン塗装 [下地共新設]	LGS	体操場側: 米桐18×150 SOP 器具庫側: 米桐20×150 SOP [間仕切り下地共新設]	-	-	LGS	体操場側: ラワン合板(t=12)下地 シナ合板(t=5.5)目透し貼 OSCCL (新設) 器具庫側: ラワン合板張り(t=12) [間仕切り下地共新設]	LGS	[既存のまま]	-	-	-		-	-	建具4330×2200 [再取付け] 木製棚(D=700) [新設]
2	ギャラリー	改修前	C	モルタル金コテ押へ	M	モルタル金コテ磨き(H=100)	-	-	LGS	リプラスモルタル金コテ磨き プラスター塗り	-	-	-	-	-	-	-	-	換気扇4ヶ所 [撤去] スピーカー取外し3か所(設備工事) 暗幕取外し
		改修後	C	クラック、アンカーピンニング+ビニ床シート 新設	M	[既存のまま]	-	-	LGS	クラック補修、下地調整の上、EP-G [新設]	-	-	-	-	-	-	-	-	換気扇撤去部4ヶ所、ケイ板450角 t 6.0 EP塗 閉塞(内側) [新設] スピーカー再取付け3か所、暗幕再取付け 鋼製手摺: 塗装改修

略号凡例										防火材料認定番号			特記事項			
下地	塗装															
C	コンクリート	GB-R	石こうボード	SOP	合成樹脂調合ペイント	UC	ウレタン樹脂ワニス	石こうボード (9.5)	準不燃	QM-9828	※既存の仕上(シート類、塗装、壁紙等)のみを撤去した後、新たに仕上を新設する場合、					
CB	コンクリートブロック	GB-D	化粧石こうボード	CL	クリヤラッカー	LE	ラッカーエナメル	化粧石こうボード (9.5)	準不燃	QM-9824	既存の下地(モルタル面、ボード面等)の凹凸や接着剤等は、スクレーパー及びディスクサンダー等を用い、					
M	モルタル金コテ押え	GB-S	シーリング石こうボード	NAD	アクリル樹脂系非水分散系塗料	OS	オイルステイン	ロックウール化粧吸音板 (12)	不燃	NM-8599	※表中の【一部〇〇】の範囲は、図示による					
M'	モルタル刷毛引き	GB-F	強化石こうボード	DP	耐候性塗料	WP	木材保護塗料				※図中(〇〇)は下地を示す					
W	木造	DR	ロックウール化粧吸音板	EP-G	つや有り合成樹脂エマルジョンペイント	その他						※内装材・塗装材については、F☆☆☆☆を使用のこと				
LGS	軽量鉄骨下地	AB	吸音板	EP	合成樹脂エマルジョンペイント	シーリング(種別は特記仕様書による)						※体操場のウレタン塗装は、1液湿気型ウレタン塗料3回塗りとする。				
S	鋼製下地	FK	けい酸カルシウム板	EP-T	合成樹脂エマルジョン模様塗料	GW	グラスウール				※化学物質の濃度測定は体操場とする。					

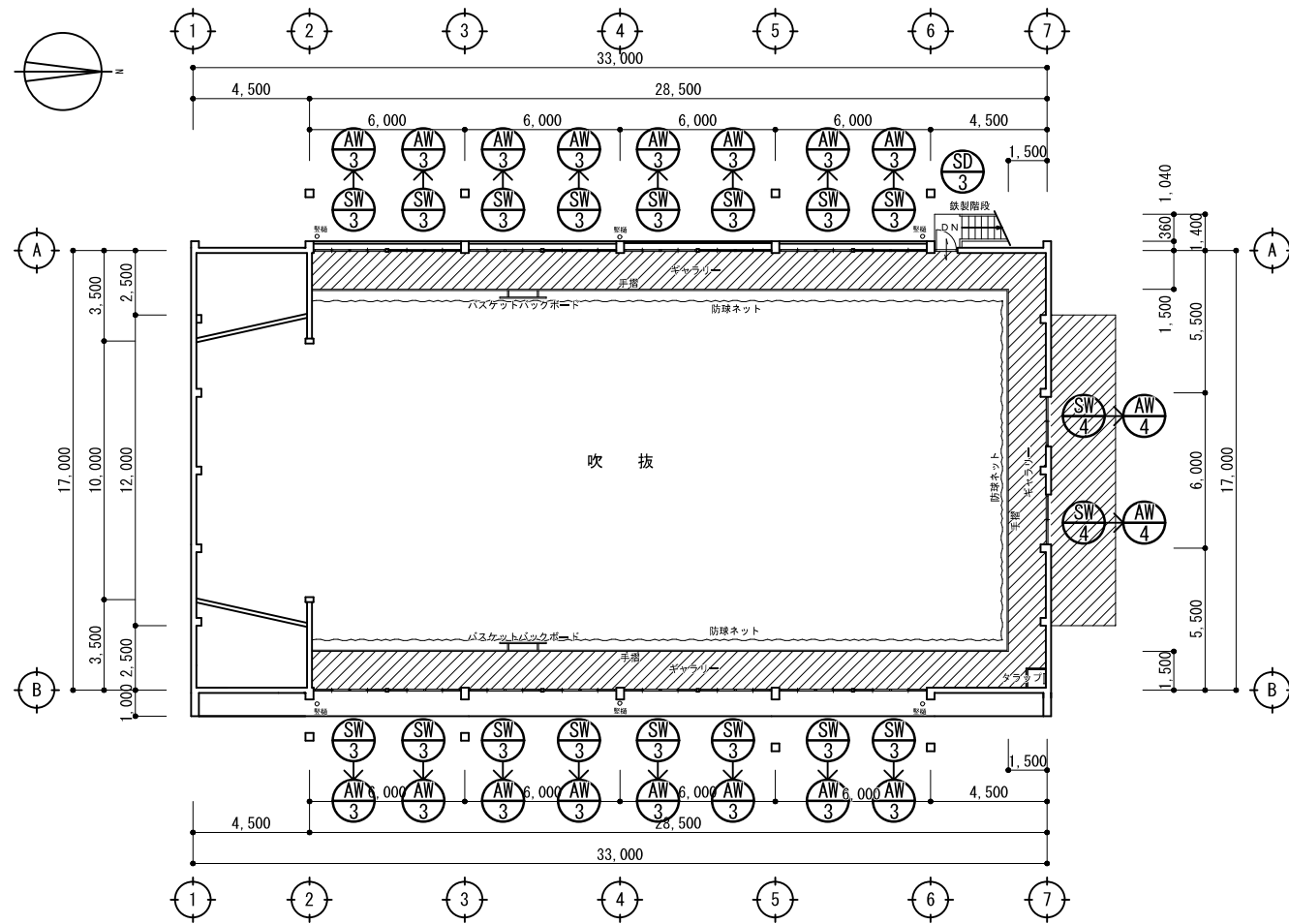


地階平面図 (改修前・後) 1/200

1階平面図 (改修前・後) 1/200

記号	部位：仕上げ材 (下地) (改修前)	部位：仕上げ材 (下地) (改修後)
【防水改修工事】		
A	屋根 ガルバリウムカラー鋼板瓦葺 [塗装改修]	屋根 遮熱塗装 [下地調整のうえ新設]
B	庇裏 LGS下地、ケイカル板 (t=5) 底目地、 リシン吹付 [既存仕上ケレン]	庇裏 外装薄塗材E新設 [下地調整のうえ新設]
C	鼻先 リプラス下地モルタル刷毛引、リシン吹付 [既存仕上撤去+高圧水洗]	鼻先 防水形複層塗材E新設 [下地調整のうえ新設]
D	東側軒庇 リプラス下地モルタル、カラー鋼板葺き [塗装改修]	東側軒庇 DP塗装 [下地処理のうえ新設]
E	東側2階庇 コンクリート下地、防水モルタル+ウレタン塗布防水 [既存仕上撤去+高圧水洗]	東側2階庇 塗膜防水 [下地処理のうえ新設]
G	玄関庇 木毛版 (t=18) 細目下地、カラー鋼板瓦葺 [既存清掃]	玄関庇 既存屋根+カラー鋼板瓦葺 [下地処理のうえ新設]
H	玄関庇裏 防火下見板下地、リシン吹付 [既存仕上ケレン]	玄関庇裏 外装薄塗材E [下地調整のうえ新設]
I	軒樋 塩ビ製箱樋 [撤去 (支持金物共)]	軒樋 硬質塩化ビニル樹脂、芯材φ165W×150H [新設 (掴み金物共)]
J	堅樋 塩ビ製φ75 [撤去 (支持金物共)]	堅樋 カラー塩ビφ75新設 [新設 (掴み金物共)]
K	保護管 鋼製φ114 SOP [撤去 (支持金物共)]	保護管 鋼製φ114 SOP新設 [新設 (掴み金物共)]
【外壁改修工事】		
①	根回り モルタル塗刷毛引、耐震改修部コンクリート打放し [高圧洗浄のみ]	根回り 高圧水洗
②	壁 リプラス下地モルタル刷毛引、リシン吹付 [既存仕上撤去+高圧水洗]	壁 防水形複層塗材E吹付 [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
③	柱型 リプラス下地モルタル刷毛引、リシン吹付 [既存仕上撤去+高圧水洗]	柱型 防水形複層塗材E吹付 [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
④	梁型 リプラス下地モルタル刷毛引、リシン吹付 [既存仕上撤去+高圧水洗]	梁型 防水形複層塗材E吹付 [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
⑤	鉄骨階段 SOP [塗装改修]	鉄骨階段 DP [下地調整のうえ新設]
⑥	建具 鋼製建具躯体枠以外撤去 [鋼製格子共撤去]	建具 アルミ製建具新設 [カバー工法新設]
⑦	外フレーム 耐震フレーム、鉄骨SOP [塗装改修]	外フレーム DP [下地処理のうえ新設]
⑧	ブレース 鉄骨SOP [塗装改修]	ブレース DP [下地処理のうえ新設]
⑨	床下換気口 鋼製格子SOP [塗装改修]	床下換気口 DP [下地調整のうえ新設]
【内装改修工事】		
①	地下倉庫床 モルタル金コテ押へ、一部土間 撤去	地下倉庫床 雨水樹設置周囲モルタル金コテ押え復旧
②	地下倉庫天井 合板 (t=4.0) 撤去	地下倉庫鉄部 SOP 塗装改修
③	床 ナラフローリング (t=15) (捨板 t=20) ポリエステル樹脂塗装、下地共撤去	床 複合フローリング t=18 (表層が t=6) 捨板、構造用合板 t=12 ウレタン塗装、コートライン引き、下地共新設 周囲ネオブレングム18×20
④	壁 リプラスモルタル金コテ磨きプaster塗り 仕上撤去	壁 ラワン合板 t=9+GB-R t=12.5の上、EP-G
⑤	巾木 OP [塗装改修]	巾木 SOP [下地処理のうえ新設]
⑥	器具庫 体操場側間仕切仕上、下地共撤去	器具庫 体操場側間仕切仕上、下地共復旧
⑦	床 モルタル金コテ押へ	床 クラック、アンカーピンニング+ビニル床シート 新設
⑧	壁 リプラスモルタル金コテ磨きプaster塗り	壁 クラック補修、下地調整の上、EP-G
⑨	防球ネット 樹脂製既存のまま (ステージ側)	防球ネット 樹脂製新設 (ステージ側以外)
⑩	ギャラリ手摺 OP [塗装改修]	ギャラリ手摺 SOP [下地調整のうえ新設]

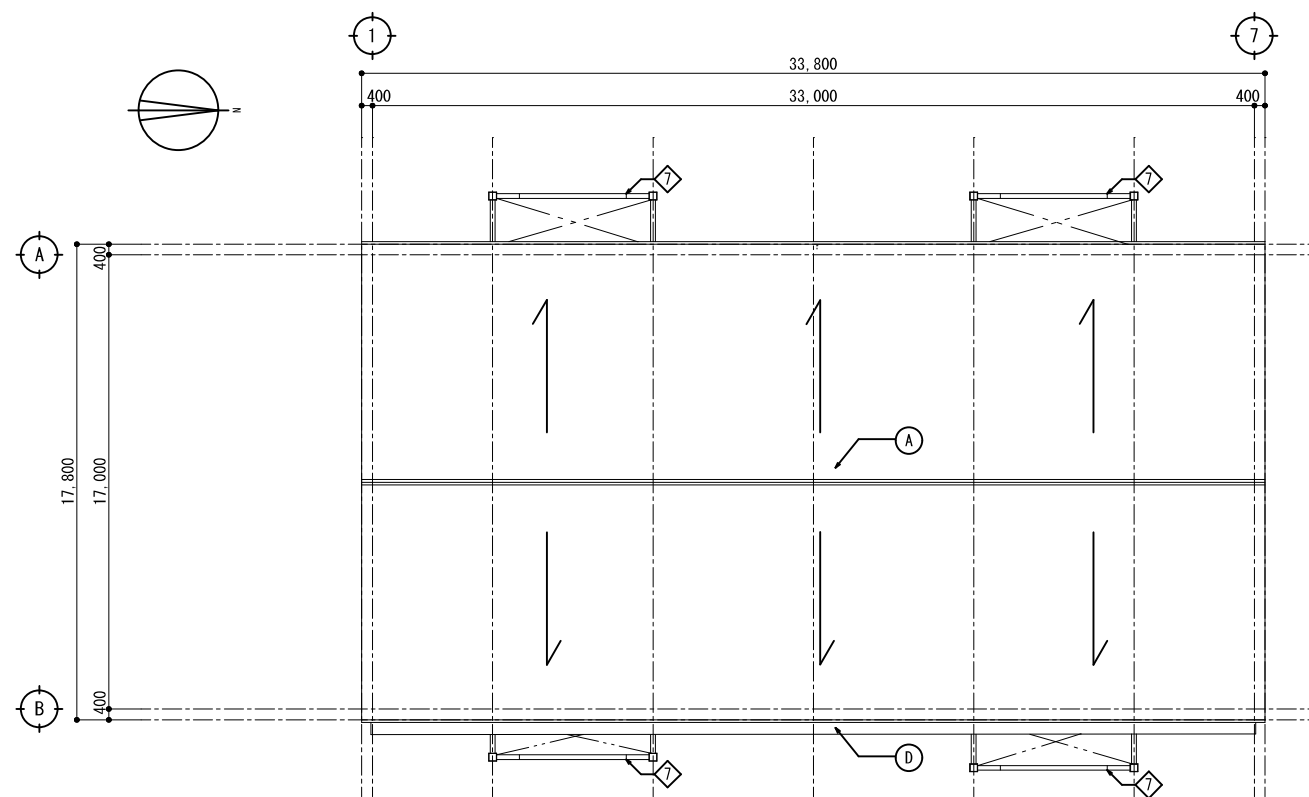
- 凡例**
- 改修範囲を示す。(ステージを除く)
 - 建具周囲シーリング打替え 変成シリコン系 (MS-2、10×10)
 - 物置 一時撤去、復旧部分を示す。(プレハブ型 2200W×630D×2100H)
 - 防災倉庫 一時撤去、復旧部分を示す。(プレハブ型 2200W×1850D×2100H)



2階平面図 (改修前・後) 1/200

記号	部位：仕上げ材 (下地) (改修前)	部位：仕上げ材 (下地) (改修後)
【防水改修工事】		
A	屋根 ガルバリウムカラー鋼板瓦葺 [塗装改修]	屋根 遮熱塗装 [下地調整のうえ新設]
B	庇裏 LGS下地、ケイカル板(t=5)底目地、リシン吹付 [既存仕上ケレン]	庇裏 外装薄塗材E [下地調整のうえ新設]
C	鼻先 リプラス下地モルタル刷毛引、リシン吹付 [既存仕上撤去+高圧水洗]	鼻先 防水形複層塗材E新設 [下地調整のうえ新設]
D	東側軒庇 リプラス下地モルタル、カラー鋼板葺き [塗装改修]	東側軒庇 DP塗装 [下地処理のうえ新設]
E	東側2階庇 コンクリート下地、防水モルタル+ウレタン塗布防水 [既存仕上撤去+高圧水洗]	東側2階庇 塗膜防水 [下地処理のうえ新設]
【外壁改修工事】		
G	玄関庇 木毛版(t=18)細目下地、カラー鋼板瓦葺 [既存清掃]	玄関庇 既存屋根+カラー鋼板瓦葺 [下地処理のうえ新設]
H	玄関庇裏 防火下見板下地、リシン吹付 [既存仕上ケレン]	玄関庇裏 外装薄塗材E [下地調整のうえ新設]
I	軒樋 塩ビ製箱樋 [撤去(支持金物共)]	軒樋 硬質塩化ビニル樹脂、芯材φ165W×150H [新設(掴み金物共)]
J	壁 塩ビ製φ75 [撤去(支持金物共)]	壁 カラー塩ビφ75新設 [新設(掴み金物共)]
K	保護管 鋼製φ114 SOP [撤去(支持金物共)]	保護管 鋼製φ114 SOP新設 [新設(掴み金物共)]
【外壁改修工事】		
L	根回り モルタル塗刷毛引、耐震改修部コンクリート打放し [高圧洗浄のみ]	根回り 高圧水洗
M	壁 リプラス下地モルタル刷毛引、リシン吹付 [既存仕上撤去+高圧水洗]	壁 防水形複層塗材E吹付 [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
N	柱型 リプラス下地モルタル刷毛引、リシン吹付 [既存仕上撤去+高圧水洗]	柱型 防水形複層塗材E吹付 [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
O	梁型 リプラス下地モルタル刷毛引、リシン吹付 [既存仕上撤去+高圧水洗]	梁型 防水形複層塗材E吹付 [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
P	鉄骨階段 SOP [塗装改修]	鉄骨階段 DP [下地調整のうえ新設]
Q	建具 鋼製建具躯体枠以外撤去 [鋼製格子共撤去]	建具 アルミ製建具新設 [カバー工法新設]
R	外フレーム 耐震フレーム、鉄骨SOP [塗装改修]	外フレーム DP [下地処理のうえ新設]
S	フレース 鉄骨SOP [塗装改修]	フレース DP [下地処理のうえ新設]
T	床下換気口 鋼製格子SOP [塗装改修]	床下換気口 DP [下地調整のうえ新設]
【内装改修工事】		
U	地下倉庫床 モルタル金コテ押へ、一部土間 撤去	地下倉庫床 雨水樹設置周囲モルタル金コテ押え復旧
V	地下倉庫天井 合板(t=4.0) 撤去	地下倉庫鉄部 SOP 塗装改修
W	床 ナラフローリング(t=15) (捨板 t=20) ポリエステル樹脂塗装、下地共撤去	床 複合フローリング t=18 (表層が t=6) 捨板、構造用合板 t=12 ウレタン塗装、コートライン引き、下地共新設 周囲ネオブレングム18×20
X	壁 リプラスモルタル金コテ磨きプラスター塗り 仕上撤去	壁 ラワン合板 t=9+GB-R t=12.5の上、EP-G
Y	巾木 OP [塗装改修]	巾木 SOP [下地処理のうえ新設]
Z	器具庫 体操場側間仕切仕上、下地共撤去	器具庫 体操場側間仕切仕上、下地共復旧
AA	床 モルタル金コテ押へ	床 クラック、アンカーピンニング+ビニル床シート 新設
AB	壁 リプラスモルタル金コテ磨きプラスター塗り	壁 クラック補修、下地調整の上、EP-G
AC	防球ネット 樹脂製既存のまま(ステージ側)	防球ネット 樹脂製新設(ステージ側以外)
AD	ギャラリー手摺 OP [塗装改修]	ギャラリー手摺 SOP [下地調整のうえ新設]

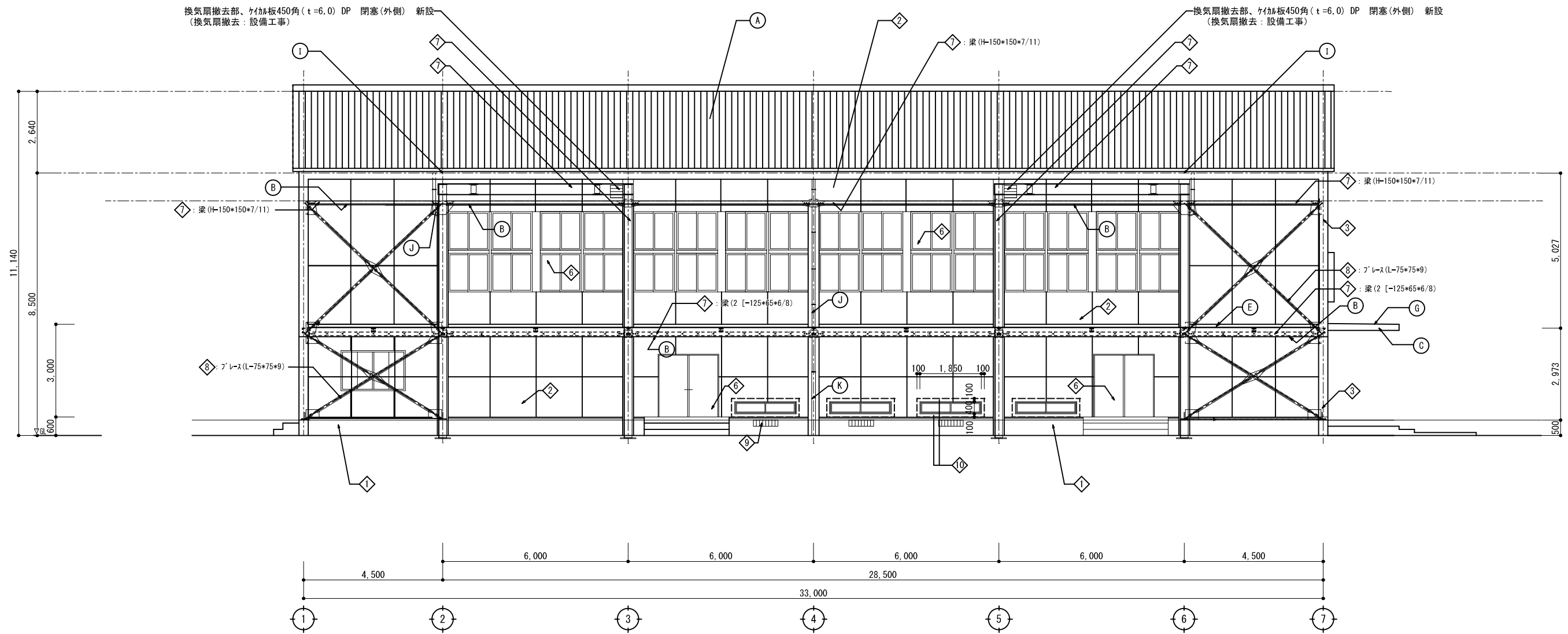
- 凡例
- 改修範囲を示す。
 - 建具周囲シーリング打替え 変成シリコン系(MS-2、10×10)



屋根伏図 (改修前・後) 1/200

記号	部位：仕上げ材 (下地) (改修前)	部位：仕上げ材 (下地) (改修後)
【防水改修工事】		
A	屋根 : ガルバリウムカラー鋼板瓦葺 [塗装改修]	屋根 : 遮熱塗装 [下地調整のうえ新設]
B	庇裏 : LGS下地、ケイカル板 (t=5) 底目地、リシン吹付 [既存仕上ケレン]	庇裏 : 外装薄塗材 E [下地調整のうえ新設]
C	鼻先 : リプラス下地モルタル刷毛引、リシン吹付 [既存仕上撤去+高圧水洗]	鼻先 : 防水形複層塗材 E 新設 [下地調整のうえ新設]
D	東側軒庇 : リプラスモルタル下地、カラー鋼板葺き [塗装改修]	東側軒庇 : DP 塗装 [下地処理のうえ新設]
E	東側2階庇 : コンクリート下地、防水モルタル+ウレタン塗布防水 [既存仕上撤去+高圧水洗]	東側2階庇 : 塗膜防水 [下地処理のうえ新設]
【外壁改修工事】		
G	玄関庇 : 木毛版 (t=18) 細目下地、カラー鋼板瓦葺 [既存清掃]	玄関庇 : 既存屋根+カラー鋼板瓦葺 [下地処理のうえ新設]
H	玄関庇裏 : 防火下見板下地、リシン吹付 [既存仕上ケレン]	玄関庇裏 : 外装薄塗材 E [下地調整のうえ新設]
I	軒樋 : 塩ビ製箱樋 [撤去 (支持金物共)]	軒樋 : 硬質塩化ビニル樹脂、芯材 SFR-M165W×150H [新設 (掴み金物共)]
J	堅樋 : 塩ビ製 φ75 [撤去 (支持金物共)]	堅樋 : カラー塩ビ φ75 新設 [新設 (掴み金物共)]
K	保護管 : 鋼製 φ114 SOP [撤去 (支持金物共)]	保護管 : 鋼製 φ114 SOP 新設 [新設 (掴み金物共)]
【外壁改修工事】		
1	根回り : モルタル塗刷毛引、耐震改修部コンクリート打放し [高圧洗浄のみ]	根回り : 高圧水洗
2	壁 : リプラス下地モルタル刷毛引、リシン吹付 [既存仕上撤去+高圧水洗]	壁 : 防水形複層塗材 E 吹付 [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
3	柱型 : リプラス下地モルタル刷毛引、リシン吹付 [既存仕上撤去+高圧水洗]	柱型 : 防水形複層塗材 E 吹付 [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
4	梁型 : リプラス下地モルタル刷毛引、リシン吹付 [既存仕上撤去+高圧水洗]	梁型 : 防水形複層塗材 E 吹付 [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
5	鉄骨階段 : SOP [塗装改修]	鉄骨階段 : DP [下地調整のうえ新設]
6	建具 : 鋼製建具躯体枠以外撤去 [鋼製格子共撤去]	建具 : アルミ製建具新設 [カバー工法新設]
7	外フレーム : 耐震フレーム、鉄骨 SOP [塗装改修]	外フレーム : DP [下地処理のうえ新設]
8	ブレース : 鉄骨 SOP [塗装改修]	ブレース : DP [下地処理のうえ新設]
9	床下換気口 : 鋼製格子 SOP [塗装改修]	床下換気口 : DP [下地調整のうえ新設]
【内装改修工事】		
1	地下倉庫床 : モルタル金コテ押へ、一部土間 撤去	地下倉庫床 : 雨水樹設置周囲モルタル金コテ押え復旧
2	地下倉庫天井 : 合板 (t=4.0) 撤去	地下倉庫鉄部 : SOP 塗装改修
3	床 : ナラフローリング (t=15) (捨板 t=20) ポリエステル樹脂塗装、下地共撤去	床 : 複合フローリング t=18 (表層加 t=6) 捨板、構造用合板 t=12 ウレタン塗装、コートライン引き、下地共新設 周囲ネオブレングム 18×20
4	壁 : リプラスモルタル金コテ磨きプラスター塗り 仕上撤去	壁 : ラワン合板 t=9+GB-R t=12.5の上、EP-G
5	巾木 : OP [塗装改修]	巾木 : SOP [下地処理のうえ新設]
6	器具庫 : 体操場側間仕切仕上、下地共撤去	器具庫 : 体操場側間仕切仕上、下地共復旧
7	床 : モルタル金コテ押へ	床 : クラック、アンカーピンニング+ビニル床シート 新設
8	壁 : リプラスモルタル金コテ磨きプラスター塗り	壁 : クラック補修、下地調整の上、EP-G
9	防球ネット : 樹脂製既存のまま (ステージ側)	防球ネット : 樹脂製新設 (ステージ側以外)
10	ギャラリー手摺 : OP [塗装改修]	ギャラリー手摺 : SOP [下地調整のうえ新設]

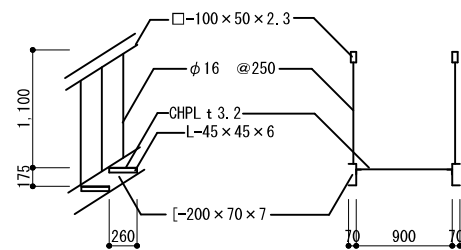
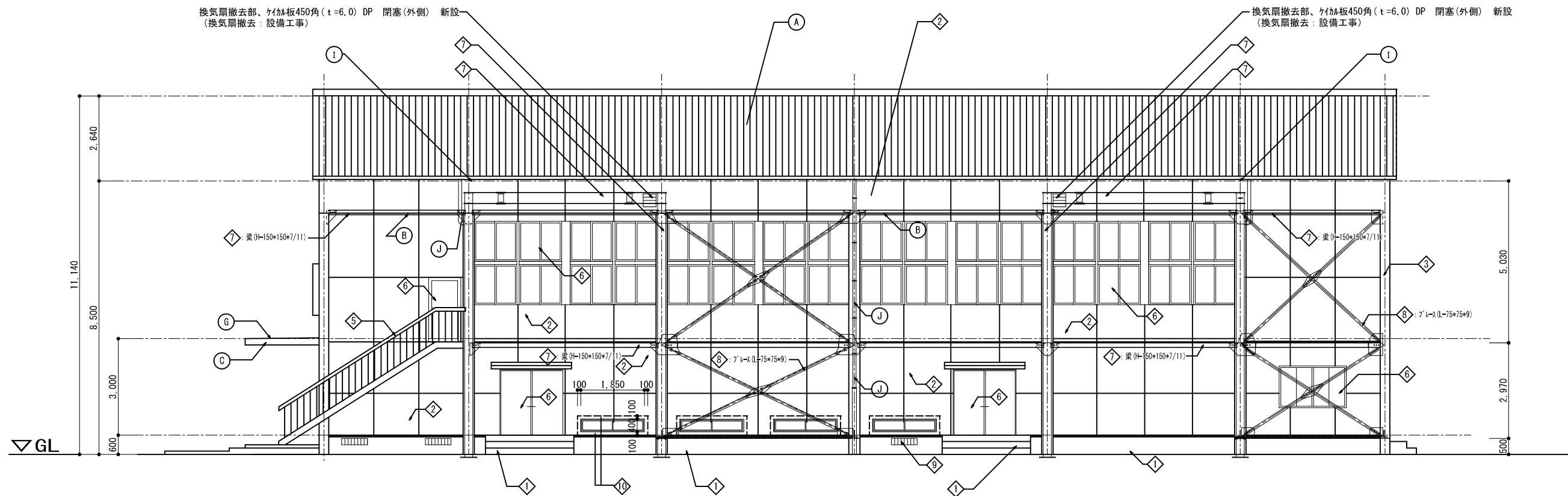
記号	部位：仕上げ材（下地）（改修前）	部位：仕上げ材（下地）（改修後）	記号	部位：仕上げ材（下地）（改修前）	部位：仕上げ材（下地）（改修後）
	【防水改修工事】	【防水改修工事】		【外壁改修工事】	【外壁改修工事】
A	屋根：ガルバリウムカラー鋼板瓦葺 [塗装改修]	屋根：遮熱塗装 [下地調整のうえ新設]	◇	根回り：モルタル塗刷毛引、耐震改修部コンクリート打放し [高圧洗浄のみ]	根回り：高圧水洗
B	庇裏：LGS下地、ケイカル板(t=5)底目地、リシン吹付 [既存仕上ケレン]	庇裏：外装薄塗材E [下地調整のうえ新設]	◇	壁：リブ下地モルタル刷毛引、リシン吹付 [既存仕上撤去+高圧水洗]	壁：防水形複層塗材E吹付 [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
C	鼻先：リブ下地モルタル刷毛引、リシン吹付 [既存仕上撤去+高圧水洗]	鼻先：防水形複層塗材E新設 [下地調整のうえ新設]	◇	柱型：リブ下地モルタル刷毛引、リシン吹付 [既存仕上撤去+高圧水洗]	柱型：防水形複層塗材E吹付 [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
D	東側軒庇：リブ下地モルタル、かー鋼板葺き [塗装改修]	東側軒庇：DP塗装 [下地処理のうえ新設]	◇	梁型：リブ下地モルタル刷毛引、リシン吹付 [既存仕上撤去+高圧水洗]	梁型：防水形複層塗材E吹付 [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
E	東側2階庇：コンクリート下地、防水モルタル+ウレタン塗布防水 [既存仕上撤去+高圧水洗]	東側2階庇：塗膜防水 [下地処理のうえ新設]	◇	鉄骨階段：SOP [塗装改修]	鉄骨階段：DP [下地調整のうえ新設]
G	玄関庇：木毛版(t=18)細目下地、かー鋼板瓦葺 [既存清掃]	玄関庇：既存屋根+かー鋼板瓦葺 [下地処理のうえ新設]	◇	建具：鋼製建具躯体枠以外撤去 [鋼製格子共撤去]	建具：アルミ製建具新設 [カバー工法新設]
H	玄関庇裏：防火下見板下地、リシン吹付 [既存仕上ケレン]	玄関庇裏：外装薄塗材E [下地調整のうえ新設]	◇	外フレーム：耐震フレーム、鉄骨SOP [塗装改修]	外フレーム：DP [下地処理のうえ新設]
I	軒樋：塩ビ製箱樋 [撤去（支持金物共）]	軒樋：硬質塩化ビニル樹脂、芯材スチール165W×150H [新設（摺り金物共）]	◇	ブレース：鉄骨SOP [塗装改修]	ブレース：DP [下地処理のうえ新設]
J	縦樋：塩ビ製φ75 [撤去（支持金物共）]	縦樋：カラー塩ビφ75新設 [新設（摺り金物共）]	◇	床下換気口：鋼製格子SOP [塗装改修]	床下換気口：DP [下地調整のうえ新設]
K	保護管：鋼製φ114 SOP [撤去（支持金物共）]	保護管：鋼製φ114 SOP新設 [新設（摺り金物共）]	◇	壁：リブ下地モルタル刷毛引、リシン吹付 [既存リブ下地、仕上げ共撤去]	壁：リブ下地モルタル+防水形複層塗材E吹付 [新設]
				撤去範囲：サッシ周囲+100	新設範囲：サッシ周囲+100



東側立面図 1/100

※ブレース取り付け部分にリング
 ※換気扇撤去は設備工事とする。

記号	部位：仕上げ材（下地）（改修前）	部位：仕上げ材（下地）（改修後）	記号	部位：仕上げ材（下地）（改修前）	部位：仕上げ材（下地）（改修後）
【防水改修工事】		【防水改修工事】		【外壁改修工事】	
A	屋根：ガルバリウムカラー鋼板瓦棒葺 [塗装改修]	屋根：遮熱塗装 [下地調整のうえ新設]	根回り	：モルタル塗刷毛引、耐震改修部コンクリート打放し [高圧洗浄のみ]	根回り：高圧水洗
B	庇裏：LGS下地、ケイカル板(t=5)底目地、リシン吹付 [既存仕上ケレン]	庇裏：外装薄塗材E [下地調整のうえ新設]	壁	：リブ下地モルタル刷毛引、リシン吹付 [既存仕上撤去+高圧水洗]	壁：防水形複層塗材E吹付 [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
C	鼻先：リブ下地モルタル刷毛引、リシン吹付 [既存仕上撤去+高圧水洗]	鼻先：防水形複層塗材E新設 [下地調整のうえ新設]	柱型	：リブ下地モルタル刷毛引、リシン吹付 [既存仕上撤去+高圧水洗]	柱型：防水形複層塗材E吹付 [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
D	東側軒庇：リブ下地モルタル、か-鋼板葺き [塗装改修]	東側軒庇：DP塗装 [下地処理のうえ新設]	梁型	：リブ下地モルタル刷毛引、リシン吹付 [既存仕上撤去+高圧水洗]	梁型：防水形複層塗材E吹付 [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
E	東側2階庇：コンクリート下地、防水モルタル+ウレタン塗布防水 [既存仕上撤去+高圧水洗]	東側2階庇：塗膜防水 [下地処理のうえ新設]	鉄骨階段	：SOP [塗装改修]	鉄骨階段：DP [下地調整のうえ新設]
G	玄関庇：木毛版(t=18)細目下地、か-鋼板瓦棒葺 [既存清掃]	玄関庇：既存屋根+か-鋼板瓦棒葺 [下地処理のうえ新設]	建具	：鋼製建具躯体枠以外撤去 [鋼製格子共撤去]	建具：アルミ製建具新設 [カバー工法新設]
H	玄関庇裏：防火下見板下地、リシン吹付 [既存仕上ケレン]	玄関庇裏：外装薄塗材E [下地調整のうえ新設]	外フレーム	：耐震フレーム、鉄骨SOP [塗装改修]	外フレーム：DP [下地処理のうえ新設]
I	軒樋：塩ビ製箱樋 [撤去（支持金物共）]	軒樋：硬質塩化ビニル樹脂、芯材スチール165W×150H [新設（摺り金物共）]	ブレース	：鉄骨SOP [塗装改修]	ブレース：DP [下地処理のうえ新設]
J	縦樋：塩ビ製φ75 [撤去（支持金物共）]	縦樋：カラー塩ビφ75新設 [新設（摺り金物共）]	床下換気口	：鋼製格子SOP [塗装改修]	床下換気口：DP [下地調整のうえ新設]
K	保護管：鋼製φ114 SOP [撤去（支持金物共）]	保護管：鋼製φ114 SOP新設 [新設（摺り金物共）]	壁	：リブ下地モルタル刷毛引、リシン吹付 [既存リブ下地、仕上げ共撤去] 撤去範囲：サッシ周囲+100	壁：リブ下地モルタル+防水形複層塗材E吹付 [新設] 新設範囲：サッシ周囲+100

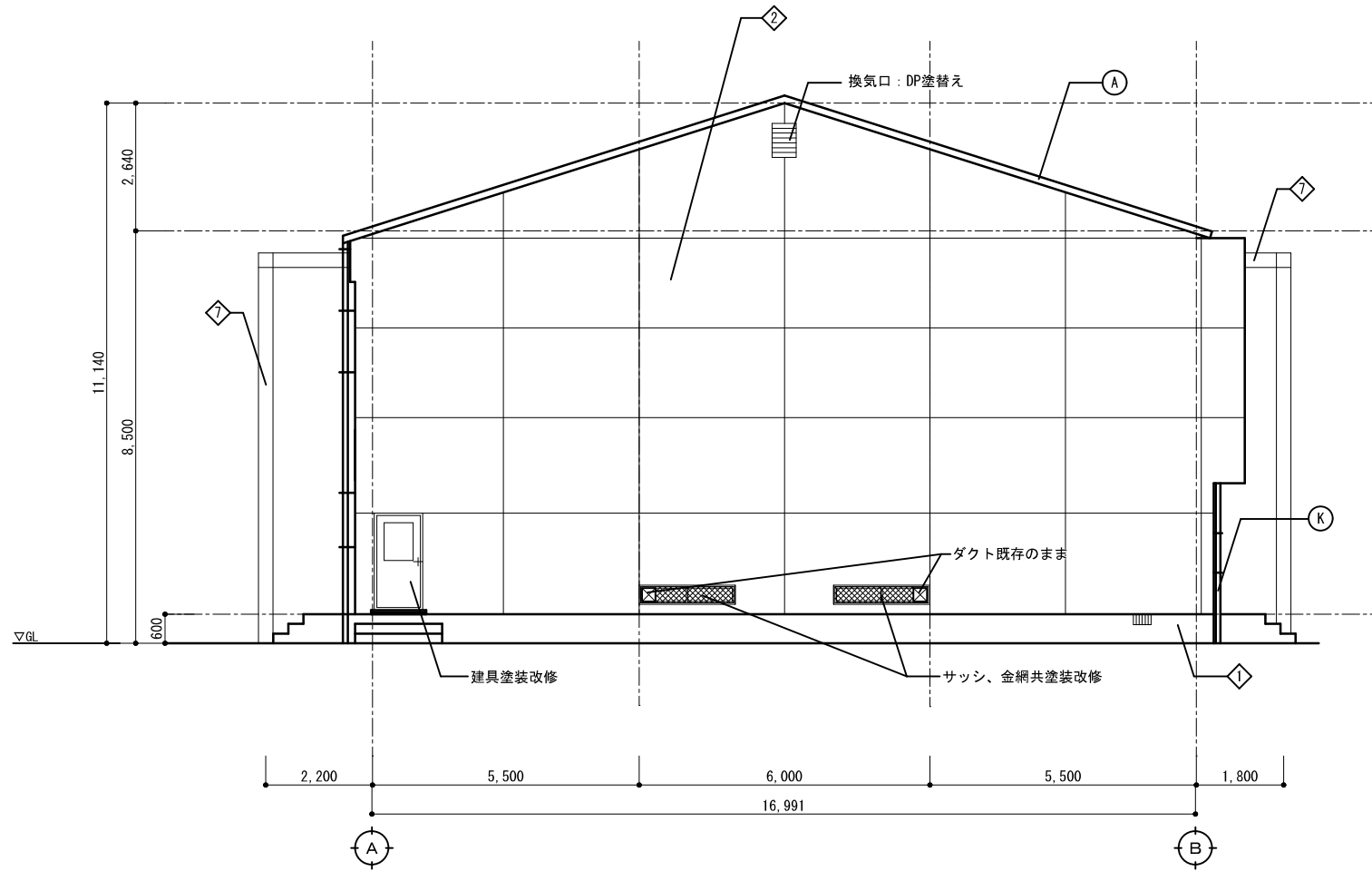


屋外階段詳細図 1/50

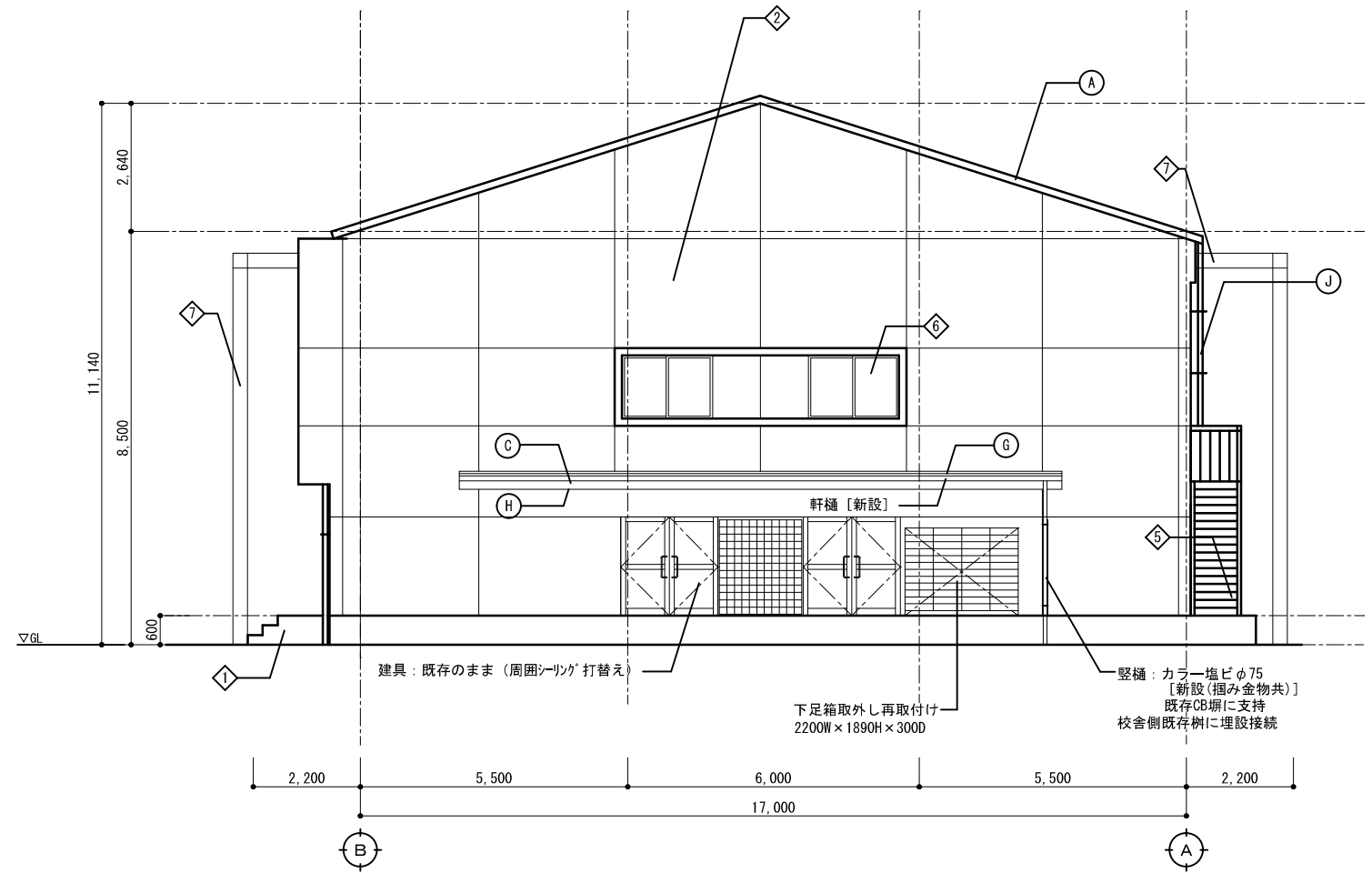
西側立面図 1/100

※ブレース取り合い部分「リブ」
※換気扇撤去は設備工事とする。

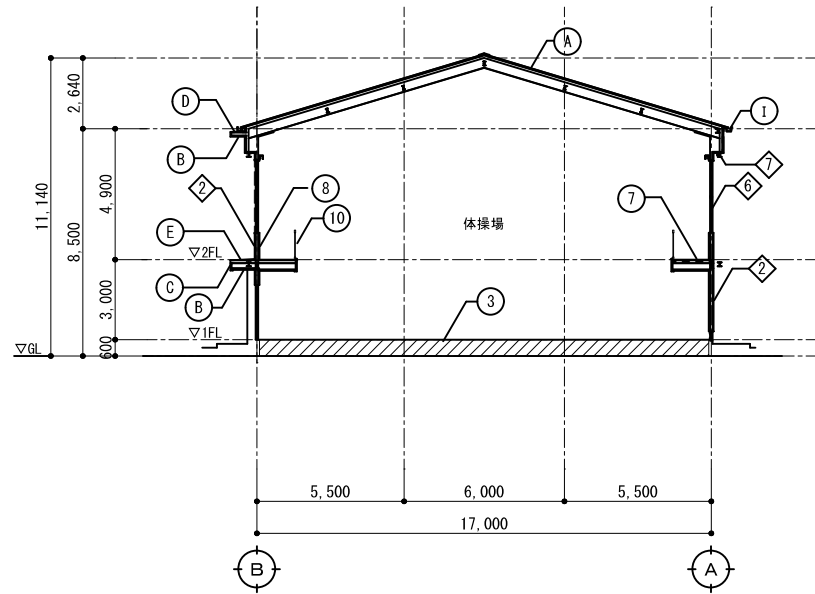
記号	部位：仕上げ材（下地）（改修前）	部位：仕上げ材（下地）（改修後）	記号	部位：仕上げ材（下地）（改修前）	部位：仕上げ材（下地）（改修後）
【防水改修工事】		【防水改修工事】		【外壁改修工事】	
A	屋根：ガルバリウムカラー鋼板瓦葺 [塗装改修]	屋根：遮熱塗装 [下地調整のうえ新設]	◇	根回り：モルタル塗刷毛引、耐震改修部コンクリート打放し [高圧洗浄のみ]	根回り：高圧水洗
B	庇裏：LGS下地、ケイカル板(t=5)底目地、リシン吹付 [既存仕上ケレン]	庇裏：外装薄塗材E [下地調整のうえ新設]	◇	壁：リッス下地モルタル刷毛引、リシン吹付 [既存仕上撤去+高圧水洗]	壁：防水形複層塗材E吹付 [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
C	鼻先：リッス下地モルタル刷毛引、リシン吹付 [既存仕上撤去+高圧水洗]	鼻先：防水形複層塗材E新設 [下地調整のうえ新設]	◇	柱型：リッス下地モルタル刷毛引、リシン吹付 [既存仕上撤去+高圧水洗]	柱型：防水形複層塗材E吹付 [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
D	東側軒庇：リッス下地、か-鋼板葺き [塗装改修]	東側軒庇：DP塗装 [下地処理のうえ新設]	◇	梁型：リッス下地モルタル刷毛引、リシン吹付 [既存仕上撤去+高圧水洗]	梁型：防水形複層塗材E吹付 [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
E	東側2階庇：コンクリート下地、防水モルタル塗布防水 [既存仕上撤去+高圧水洗]	東側2階庇：塗膜防水 [下地処理のうえ新設]	◇	鉄骨階段：SOP [塗装改修]	鉄骨階段：DP [下地調整のうえ新設]
G	玄関庇：木毛版(t=18)細目下地、か-鋼板瓦葺 [既存清掃]	玄関庇：既存屋根+か-鋼板瓦葺 [下地処理のうえ新設]	◇	建具：鋼製建具躯体枠以外撤去 [鋼製格子共撤去]	建具：アルミ製建具新設 [カバー工法新設]
H	玄関庇裏：防火下見板下地、リシン吹付 [既存仕上ケレン]	玄関庇裏：外装薄塗材E [下地調整のうえ新設]	◇	外フレーム：耐震フレーム、鉄骨SOP [塗装改修]	外フレーム：DP [下地処理のうえ新設]
I	軒樋：塩ビ製箱樋 [撤去（支持金物共）]	軒樋：硬質塩化ビニル樹脂、芯材スチール165W×150H [新設（摺り金物共）]	◇	プレース：鉄骨SOP [塗装改修]	プレース：DP [下地処理のうえ新設]
J	縦樋：塩ビ製φ75 [撤去（支持金物共）]	縦樋：カラー塩ビφ75新設 [新設（摺り金物共）]	◇	床下換気口：鋼製格子SOP [塗装改修]	床下換気口：DP [下地調整のうえ新設]
K	保護管：鋼製φ114 SOP [撤去（支持金物共）]	保護管：鋼製φ114 SOP新設 [新設（摺り金物共）]			



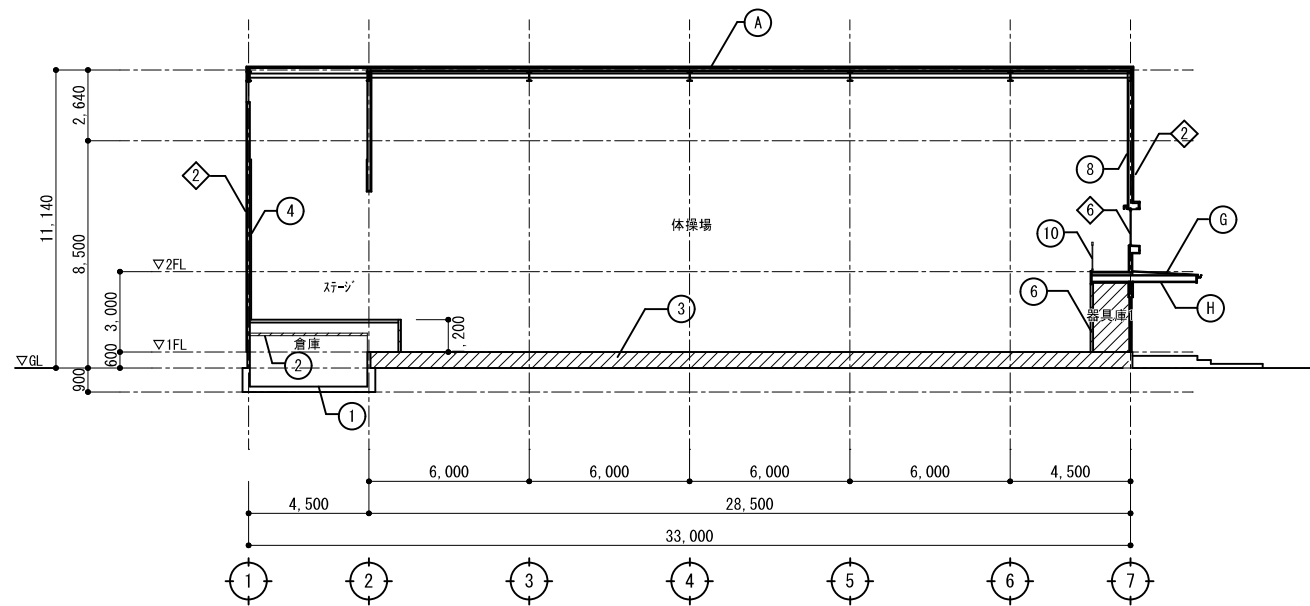
南側立面図 1/100



北側立面図 1/100



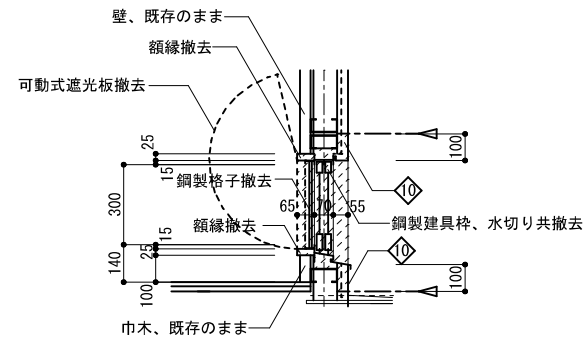
断面図（改修後） 1/200



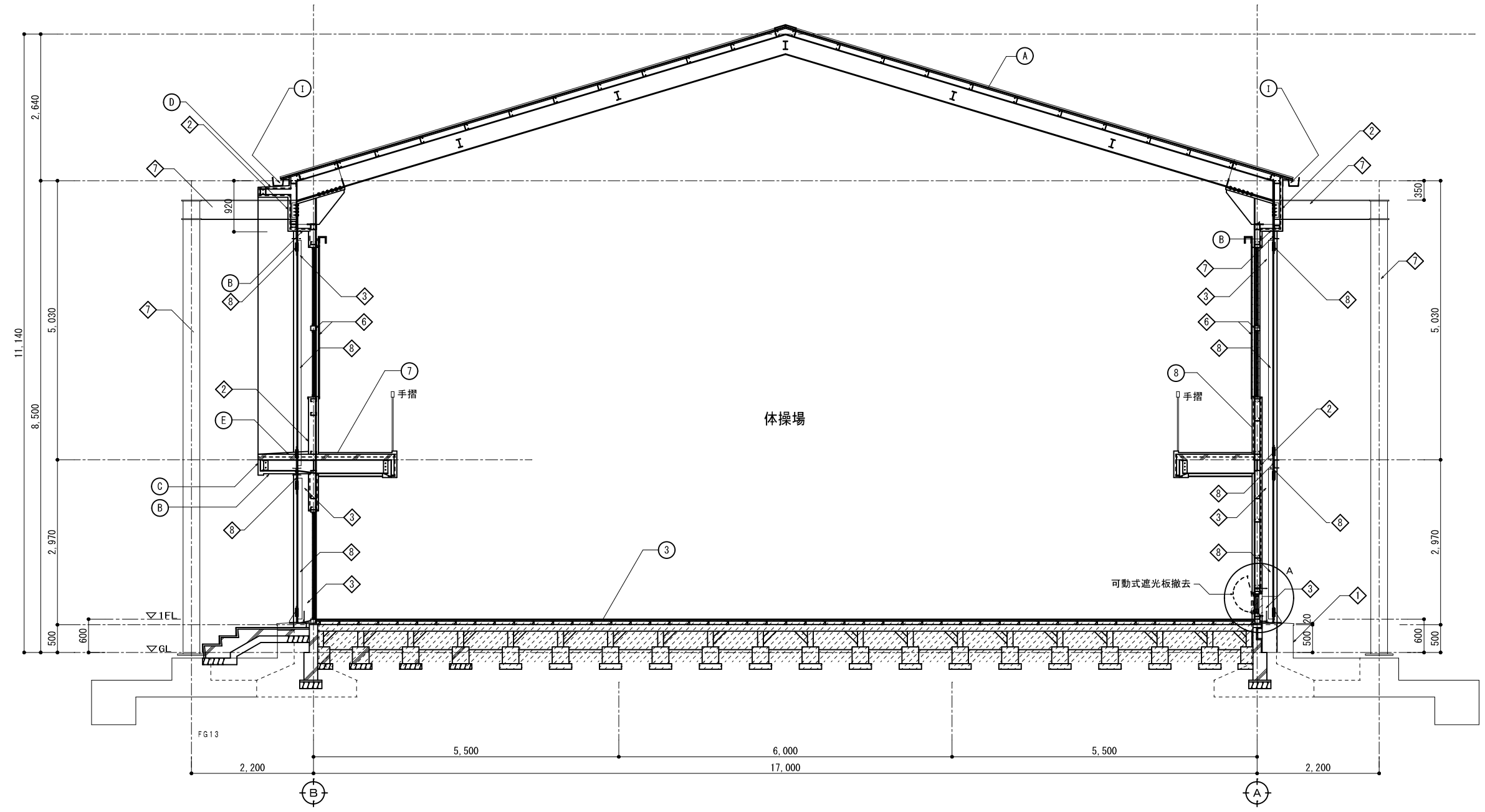
断面図（改修後） 1/200

記号	部位：仕上げ材（下地）（改修前）	部位：仕上げ材（下地）（改修後）
【防水改修工事】		
A	屋根：ガルバリウムカラー鋼板瓦葺き [塗装改修]	屋根：遮熱塗装 [下地調整のうえ新設]
B	庇裏：LGS下地、ケイカル板(t=5)底目地、リシン吹付 [既存仕上ケレン]	庇裏：外装薄塗材E [下地調整のうえ新設]
C	鼻先：リプラス下地モルタル刷毛引、リシン吹付 [既存仕上撤去+高圧水洗]	鼻先：防水形複層塗材E新設 [下地調整のうえ新設]
D	東側軒庇：リプラスモルタル下地、カラー鋼板葺き [塗装改修]	東側軒庇：DP塗装 [下地処理のうえ新設]
E	東側2階庇：コンクリート下地、防水モルタル+ウレタン塗布防水 [既存仕上撤去+高圧水洗]	東側2階庇：塗膜防水 [下地処理のうえ新設]
【外壁改修工事】		
G	玄関庇：木毛版(t=18)細目下地、カラー鋼板瓦葺き [既存清掃]	玄関庇：既存屋根+カラー鋼板瓦葺き [下地処理のうえ新設]
H	玄関庇裏：防火下見板下地、リシン吹付 [既存仕上ケレン]	玄関庇裏：外装薄塗材E [下地調整のうえ新設]
I	軒樋：塩ビ製箱樋 [撤去（支持金物共）]	軒樋：硬質塩化ビニル樹脂、芯材ｽﾀｰ-165W×150H [新設（掴み金物共）]
J	堅樋：塩ビ製φ75 [撤去（支持金物共）]	堅樋：カラー塩ビφ75新設 [新設（掴み金物共）]
K	保護管：鋼製φ114 SOP [撤去（支持金物共）]	保護管：鋼製φ114 SOP新設 [新設（掴み金物共）]
【外壁改修工事】		
1	根回り：モルタル塗刷毛引、耐震改修部コンクリート打放し [高圧洗浄のみ]	根回り：高圧水洗
2	壁：リプラス下地モルタル刷毛引、リシン吹付 [既存仕上撤去+高圧水洗]	壁：防水形複層塗材E吹付 [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
3	柱型：リプラス下地モルタル刷毛引、リシン吹付 [既存仕上撤去+高圧水洗]	柱型：防水形複層塗材E吹付 [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
4	梁型：リプラス下地モルタル刷毛引、リシン吹付 [既存仕上撤去+高圧水洗]	梁型：防水形複層塗材E吹付 [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
5	鉄骨階段：SOP [塗装改修]	鉄骨階段：DP [下地調整のうえ新設]
6	建具：鋼製建具躯体以外撤去 [鋼製格子共撤去]	建具：アルミ製建具新設 [カバー工法新設]
7	外フレーム：耐震フレーム、鉄骨SOP [塗装改修]	外フレーム：DP [下地処理のうえ新設]
8	フレース：鉄骨SOP [塗装改修]	フレース：DP [下地処理のうえ新設]
9	床下換気口：鋼製格子SOP [塗装改修]	床下換気口：DP [下地調整のうえ新設]
【内装改修工事】		
1	地下倉庫床：モルタル金コテ押へ、一部土間 撤去	地下倉庫床：雨水樹設置周囲モルタル金コテ押え復旧
2	地下倉庫天井：合板(t=4.0) 撤去	地下倉庫鉄部：SOP 塗装改修
3	床：ナラフローリング(t=15)（捨板 t=20）ポリエステル樹脂塗装、下地共撤去	床：複合フローリング t=18（表層加 t=6）捨板、構造用合板 t=12 ウレタン塗装、コートライン引き、下地共新設
4	壁：リプラスモルタル金コテ磨きプaster塗り 仕上撤去	壁：ラワン合板 t=9+GP-R t=12.5の上、EP-G
5	巾木：ラワン 30×105 OP 撤去 [塗装改修]	巾木：ラワン 30×105 OP 新設
6	器具庫：体操場側間仕切仕上、下地共撤去	器具庫：体操場側間仕切仕上、下地共復旧
7	床：モルタル金コテ押へ	床：クラック、アンカーピンニング+ビニル床シート 新設
8	壁：リプラスモルタル金コテ磨きプaster塗り	壁：クラック補修、下地調整の上、EP-G
9	防球ネット：樹脂製既存のまま（ステージ側）	防球ネット：樹脂製新設（ステージ側以外）
10	ギャラリ手摺：OP [塗装改修]	ギャラリ手摺：SOP [下地調整のうえ新設]

- 凡例
- 改修範囲を示す。
 - 建具周囲シーリング打替え 変成シリコン系 (MS-2、10×10)



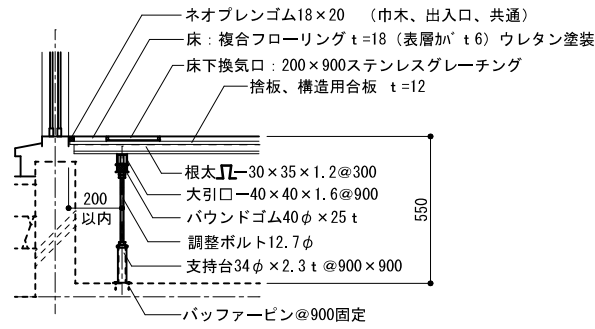
A部分詳細図 S 1:20



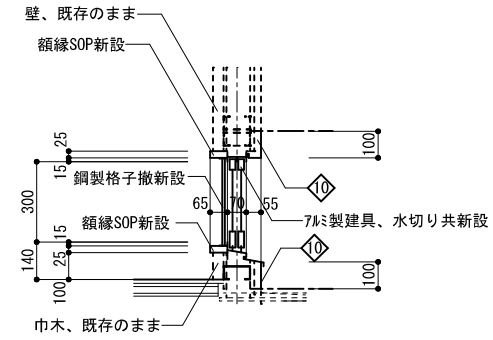
矩計図 (改修前) S 1:60

記号 部位：仕上げ材〈下地〉 (改修前)		
【防水改修工事】		
Ⓐ	屋根	ガルバリウムカラー鋼板瓦葺 [塗装改修]
Ⓑ	庇裏	LGS下地、ケイカル板 (t=5) 底目地、リシン吹付 [既存仕上ケレン]
Ⓒ	鼻先	リブ下地材外刷毛引、リシン吹付 [既存仕上撤去]
Ⓓ	東側軒庇	リブ下地材外、カー鋼板葺き [塗装改修]
Ⓔ	東側2階庇	コンクリート下地、防水材外+ウレタン塗布防水 [既存仕上撤去+高圧水洗]
【外壁改修工事】		
①	根回り	モルタル塗刷毛引、耐震改修部コンクリート打放し [高圧洗浄のみ]
②	壁	リブ下地材外刷毛引、リシン吹付 [既存仕上撤去+高圧水洗]
③	柱型	リブ下地材外刷毛引、リシン吹付 [既存仕上撤去+高圧水洗]
④	梁型	リブ下地材外刷毛引、リシン吹付 [既存仕上撤去+高圧水洗]
⑤	鉄骨階段	SOP [塗装改修]
⑥	建具	鋼製建具躯体枠以外撤去 [鋼製格子共撤去]
⑦	外フレーム	耐震フレーム、鉄骨SOP [塗装改修]
⑧	ブレース	鉄骨SOP [塗装改修]
⑨	床下換気口	鋼製格子SOP [塗装改修]
⑩	壁	リブ下地材外刷毛引、リシン吹付 [既存リブ下地、仕上げ共撤去] 撤去範囲：サッシ周囲+100
【内装改修工事】		
①	地下倉庫床	モルタル金コテ押へ、一部土間 撤去
②	地下倉庫天井	合板 (t=4.0) 撤去
③	床	ナラフローリング (t=15) (捨板 t=20) ポリエステル樹脂塗装、下地共撤去
④	壁	リブ下地材外磨きプラスター塗り 仕上撤去
⑤	巾木	OP [塗装改修]
⑥	器具庫	体操場側間仕切仕上、下地共撤去
⑦	床	モルタル金コテ押へ
⑧	壁	リブ下地材外磨きプラスター塗り
⑨	防球ネット	樹脂製既存のまま (ステージ側)
⑩	ギャラリ手摺	OP [塗装改修]
⑪	体操場ステージ側壁	合板 (t=5.5) 下地プリント合板 (t=5) 糊貼
⑫	体操場ステージ側壁	有孔プラスターボード (t=9) 目透しV.P

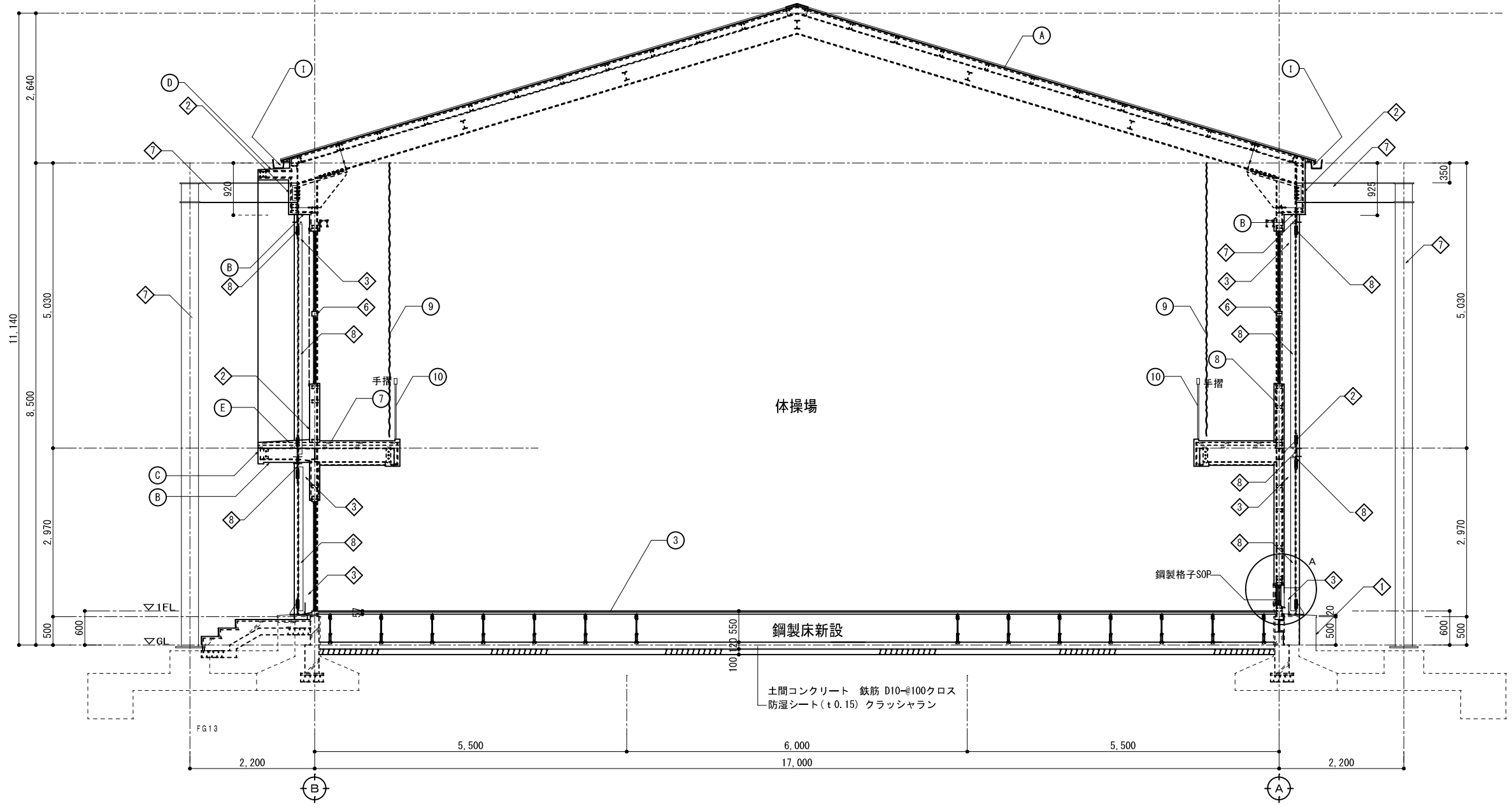
建具周囲シーリング打替え 変成シリコン系 (MS-2、10×10)
 ▲ カッター入れを示す
 ▨ 撤去部分を示す。



部分詳細図 S 1:20



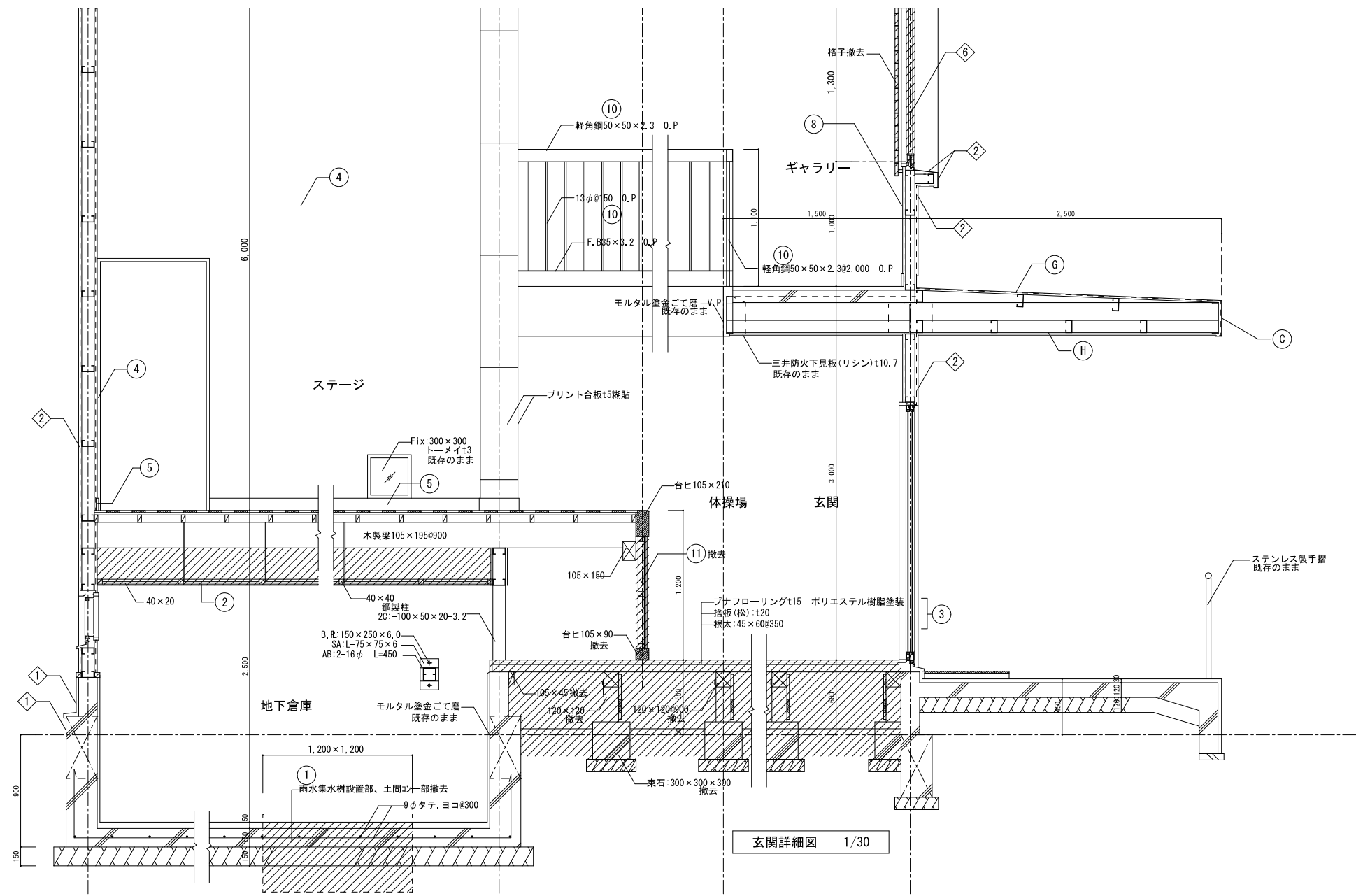
A部分詳細図 S 1:20



矩計図 (改修後) S 1:60

記号	部位	仕様	備考
【防水改修工事】			
A	屋根	遮熱塗装	[下地調整のうえ新設]
B	底裏	外装薄塗材E	[下地調整のうえ新設]
C	鼻先	防水形複層塗材E新設	[下地調整のうえ新設]
D	東側軒庇	DP塗装	[下地処理のうえ新設]
E	東側2階庇	塗膜防水	[下地処理のうえ新設]
G	玄関庇	既存屋根+カーン板瓦葺	[下地処理のうえ新設]
H	玄関底裏	外装薄塗材E	[下地調整のうえ新設]
I	軒樋	硬質塩化ビニル樹脂、芯材スチール165W×150H	[新設(括み金物共)]
J	壁樋	カラー塩ビφ75新設	[新設(括み金物共)]
K	保護管	鋼製φ114 SOP新設	[新設(括み金物共)]
【外壁改修工事】			
1	根回り	高圧水洗	
2	壁	防水形複層塗材E吹付	[劣化部処理、下地調整のうえ新設]
3	柱型	防水形複層塗材E吹付	[劣化部処理、下地調整のうえ新設]
4	梁型	防水形複層塗材E吹付	[劣化部処理、下地調整のうえ新設]
5	鉄骨階段	DP	[下地調整のうえ新設]
6	建具	アルミ製建具新設	[カバー工法新設]
7	外フレーム	DP	[下地処理のうえ新設]
8	ブレース	DP	[下地処理のうえ新設]
9	床下換気口	DP	[下地調整のうえ新設]
10	壁	UVカット剤+防水形複層塗材E吹付 新設範囲: サッシ周囲+100	[新設]
【内装改修工事】			
1	地下倉庫床	雨水樹設置周囲モルタル金コテ押え復旧	
2	地下倉庫天井	合板I類厚4.0 新設	
3	床	複合フローリング t=18 (表層加 t6) 捨板、構造用合板 t=12 ウレタン塗装、コートライン引き、下地共新設 周囲ネオプレンゴム18x20	
4	壁	ラワン合板 t=9+GB-R t=12.5の上、EP-G	
5	巾木	SOP	[下地処理のうえ新設]
6	器具庫	体操場側間仕切仕上、下地共復旧	
7	床	クラック、アンカーピンニング+ビニル床シート 新設	
8	壁	クラック補修、下地調整の上、EP-G	
9	防球ネット	樹脂製新設 (ステージ側以外)	
10	ギャラリー手摺	SOP	[下地調整のうえ新設]
11	体操場ステージ側壁	ビニルクロス貼り (表面強化、汚れ防止)	[下地調整のうえ新設]
12	体操場ステージ側壁	ビニルクロス貼り (表面強化、汚れ防止)	[下地調整のうえ新設]

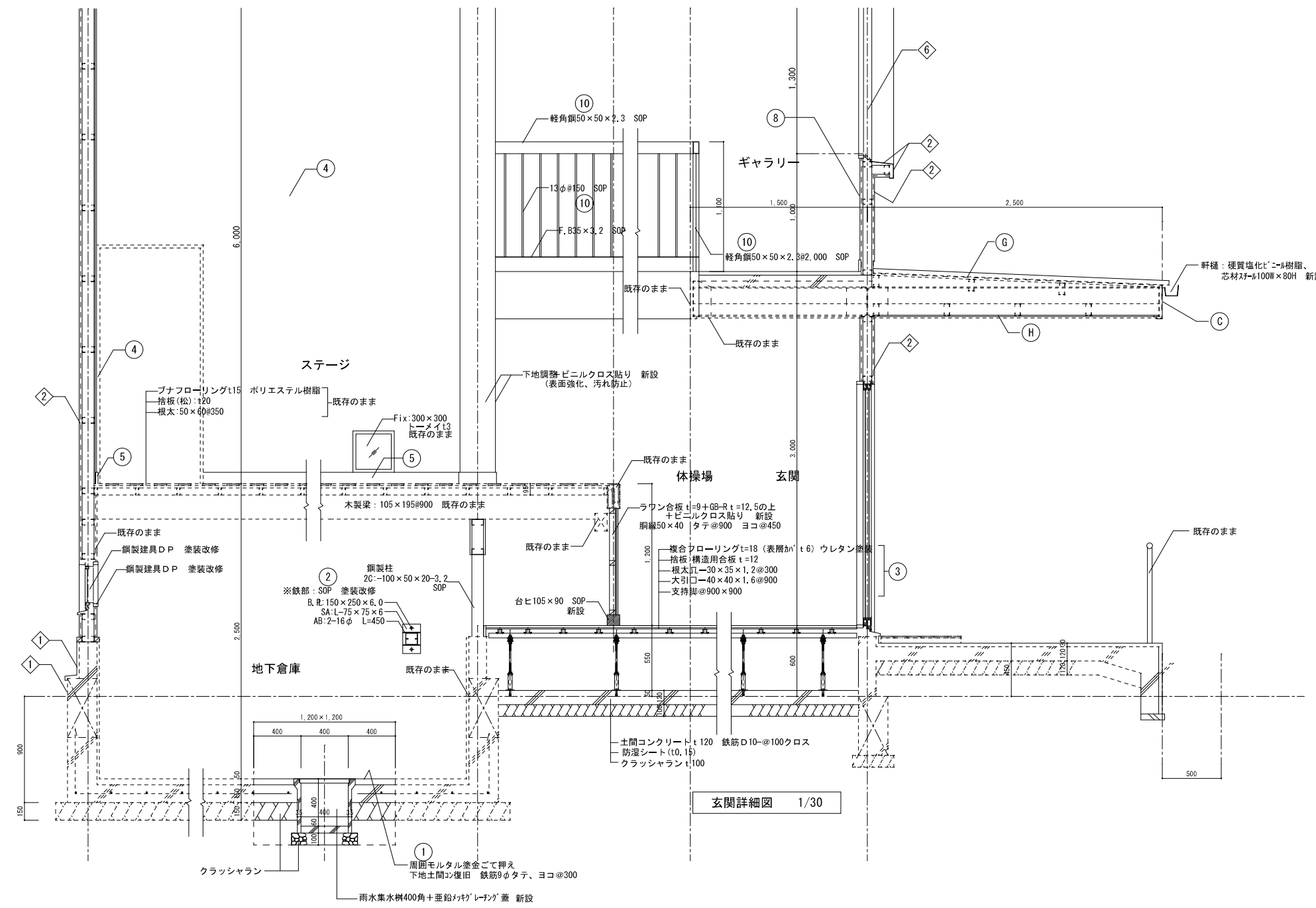
凡例
 × ...仕上げ見切りを示す



記号	部位：仕上げ材(下地) (改修前)
【防水改修工事】	
A	屋根：ガルバリウムカラー鋼板瓦葺き [塗装改修]
B	庇裏：LGS下地、ケイカル板(t=5)底目地、リシン吹付 [既存仕上げケレン]
C	鼻先：リプラス下地モルタル刷毛引、リシン吹付 [既存仕上げ撤去]
D	東側軒庇：リプラスモルタル下地、カラー鋼板葺き [塗装改修]
E	東側2階庇：コンクリート下地、防水モルタル+ケレン塗布防水 [既存仕上げ撤去+高圧水洗]
G	玄関庇：木毛版(t=18)細目下地、カラー鋼板瓦葺き [既存清掃]
H	玄関庇裏：防火下見板下地、リシン吹付 [既存仕上げケレン]
I	軒樋：塩ビ製箱樋 [撤去(支持金物共)]
J	壁樋：塩ビ製φ75 [撤去(支持金物共)]
K	保護管：鋼製φ114 SOP [撤去(支持金物共)]
【外壁改修工事】	
①	根回り：モルタル塗刷毛引、耐震改修部コンクリート打放し [高圧洗浄のみ]
②	壁：リプラス下地モルタル刷毛引、リシン吹付 [既存仕上げ撤去+高圧水洗]
③	柱型：リプラス下地モルタル刷毛引、リシン吹付 [既存仕上げ撤去+高圧水洗]
④	梁型：リプラス下地モルタル刷毛引、リシン吹付 [既存仕上げ撤去+高圧水洗]
⑤	鉄骨階段：SOP [塗装改修]
⑥	建具：鋼製建具躯体枠以外撤去 [鋼製格子共撤去]
⑦	外フレーム：耐震フレーム、鉄骨SOP [塗装改修]
⑧	ブレース：鉄骨SOP [塗装改修]
⑨	床下換気口：鋼製格子SOP [塗装改修]
【内装改修工事】	
①	地下倉庫床：モルタル金コテ押へ、一部土間 撤去
②	地下倉庫天井：合板(t=4.0) 撤去
③	床：ナラフローリング(t=15)(捨板 t=20)ポリエステル樹脂塗装、下地共撤去
④	壁：リプラスモルタル金コテ磨きプラスター塗り 仕上げ撤去
⑤	巾木：OP [塗装改修]
⑥	器具庫：体操場側間仕切仕上、下地共撤去
⑦	床：モルタル金コテ押へ
⑧	壁：リプラスモルタル金コテ磨きプラスター塗り
⑨	防球ネット：樹脂製既存のまま(ステージ側)
⑩	ギャラリー手摺：OP [塗装改修]
⑪	体操場ステージ側壁：合板(t=5.5)下地プリント合板(t=5)糊貼
⑫	体操場ステージ側壁：有孔プラスターボード(t=9)目透しV.P

凡例
 × …仕上げ見切りを示す
 [斜線] 撤去範囲を示す。

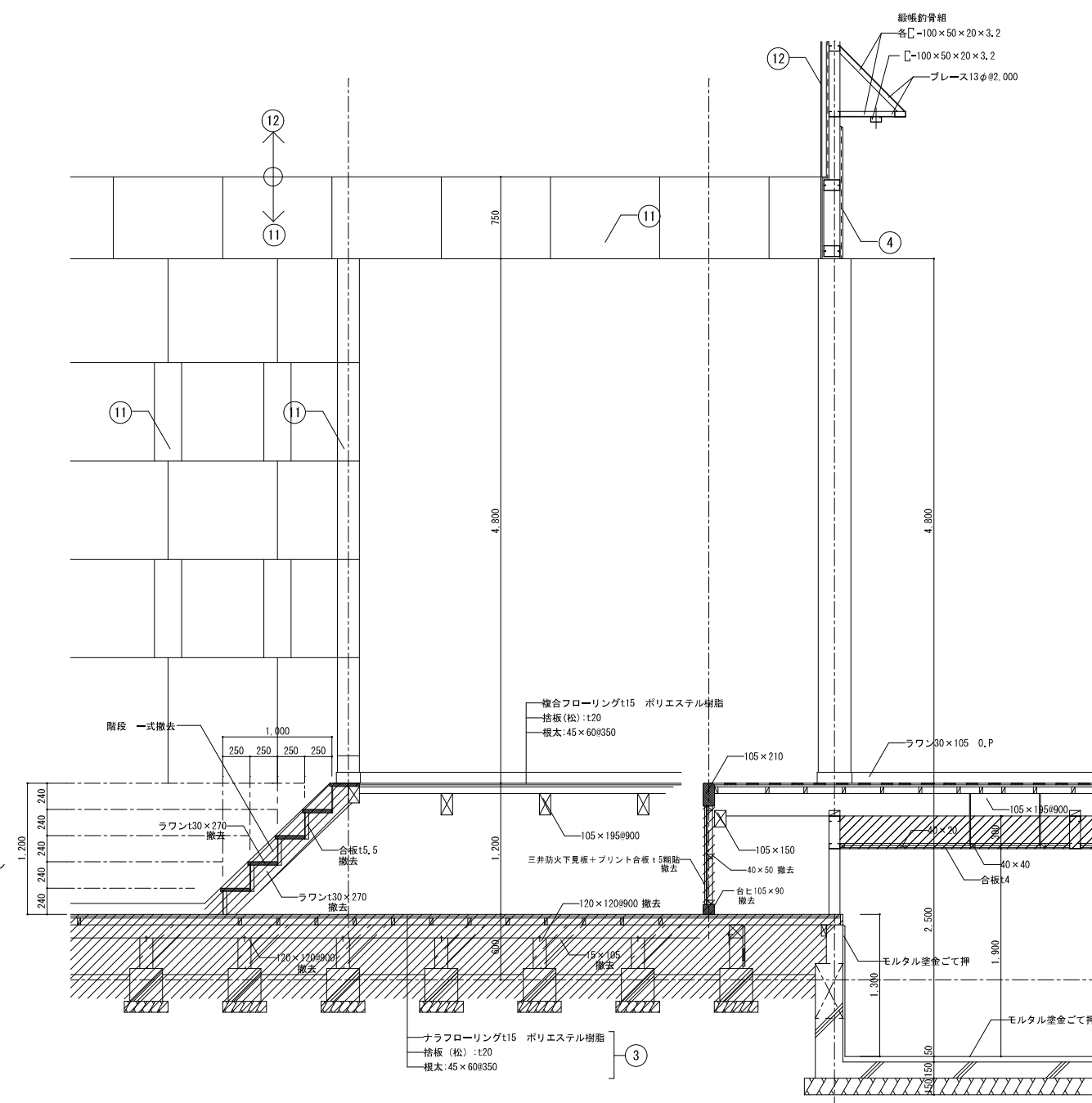
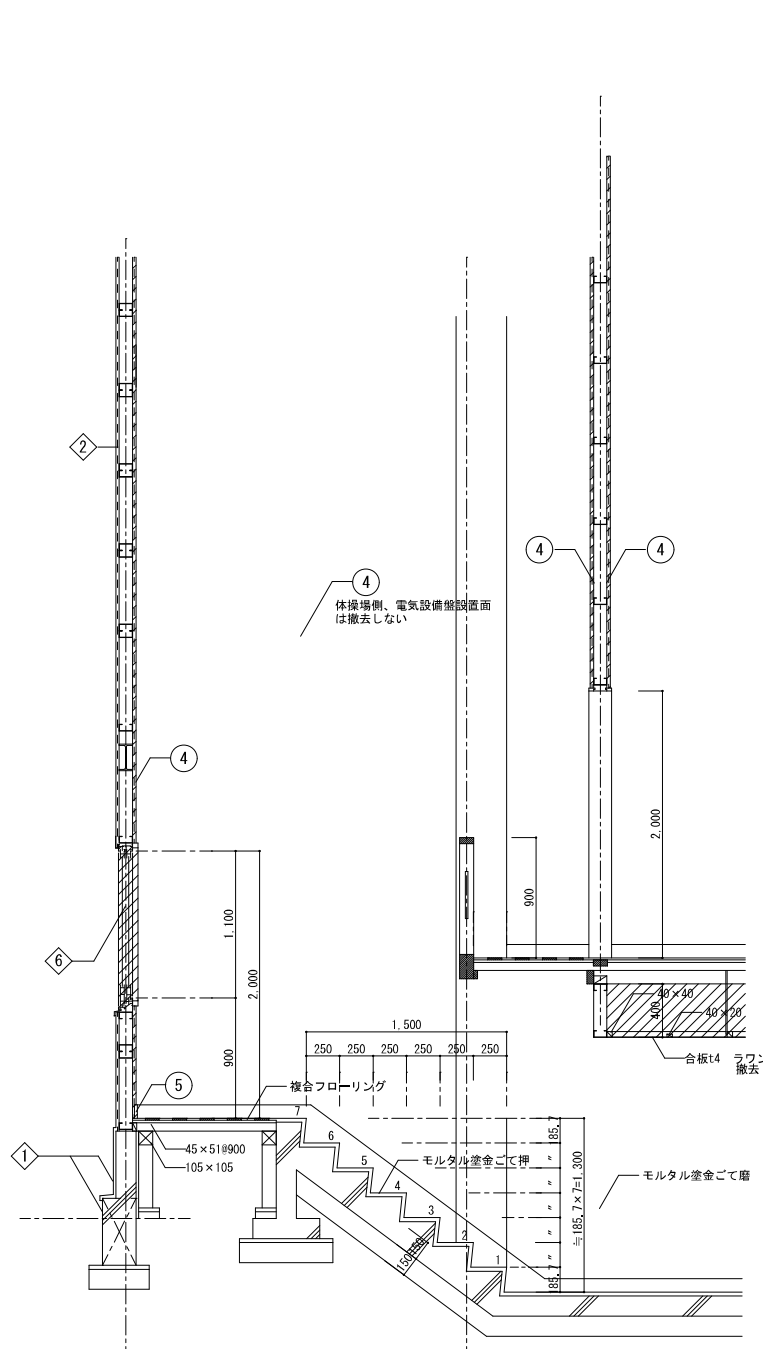
玄関詳細図 1/30



玄関詳細図 1/30

記号	部位：仕上げ材（下地）（改修後）	
【防水改修工事】		
A	屋根：遮熱塗装	[下地調整のうえ新設]
B	庇裏：外装薄塗材E	[下地調整のうえ新設]
C	鼻先：防水形複層塗材E新設	[下地調整のうえ新設]
D	東側軒庇：DP塗装	[下地処理のうえ新設]
E	東側2階庇：塗膜防水	[下地処理のうえ新設]
G	玄関庇：既存屋根+加へ鋼板瓦葺	[下地処理のうえ新設]
H	玄関庇裏：外装薄塗材E	[下地調整のうえ新設]
I	軒樋：硬質塩化ビニル樹脂、芯材SFM165W×150H	[新設（括み金物共）]
J	壁樋：カラー塩ビφ75新設	[新設（括み金物共）]
K	保護管：鋼製φ114 SOP新設	[新設（括み金物共）]
【外壁改修工事】		
①	根回り：高圧水洗	
②	壁：防水形複層塗材E吹付	[劣化部処理、下地調整のうえ新設]
③	柱型：防水形複層塗材E吹付	[劣化部処理、下地調整のうえ新設]
④	梁型：防水形複層塗材E吹付	[劣化部処理、下地調整のうえ新設]
⑤	鉄骨階段：DP	[下地調整のうえ新設]
⑥	建具：アルミ製建具新設	[カバー工法新設]
⑦	外フレーム：DP	[下地処理のうえ新設]
⑧	ブレース：DP	[下地処理のうえ新設]
⑨	床下換気口：DP	[下地調整のうえ新設]
【内装改修工事】		
①	地下倉庫床：雨水樹設置周囲モルタル金コテ押え復旧	
②	地下倉庫鉄部：SOP 塗装改修	
③	床：複合フローリング t=18（表層加 t6）捨板、構造用合板 t=12 ウレタン塗装、コートライン引き、下地共新設 周囲ネオプレンゴム18×20	
④	壁：ラワン合板 t=9+GB-R t=12.5の上 +ビニルクロス貼り 新設	
⑤	巾木：SOP	[下地処理のうえ新設]
⑥	器具庫：体操場側間仕切仕上、下地共復旧	
⑦	床：クラック、アンカーピンニング+ビニル床シート 新設	
⑧	壁：クラック補修、下地調整の上、EP-G	
⑨	防球ネット：樹脂製新設（ステージ側以外）	
⑩	ギャラリー手摺：SOP	[下地調整のうえ新設]
⑪	体操場ステージ側壁：ビニルクロス貼り （表面強化、汚れ防止）	[下地調整のうえ新設]
⑫	体操場ステージ側壁：ビニルクロス貼り （表面強化、汚れ防止）	[下地調整のうえ新設]

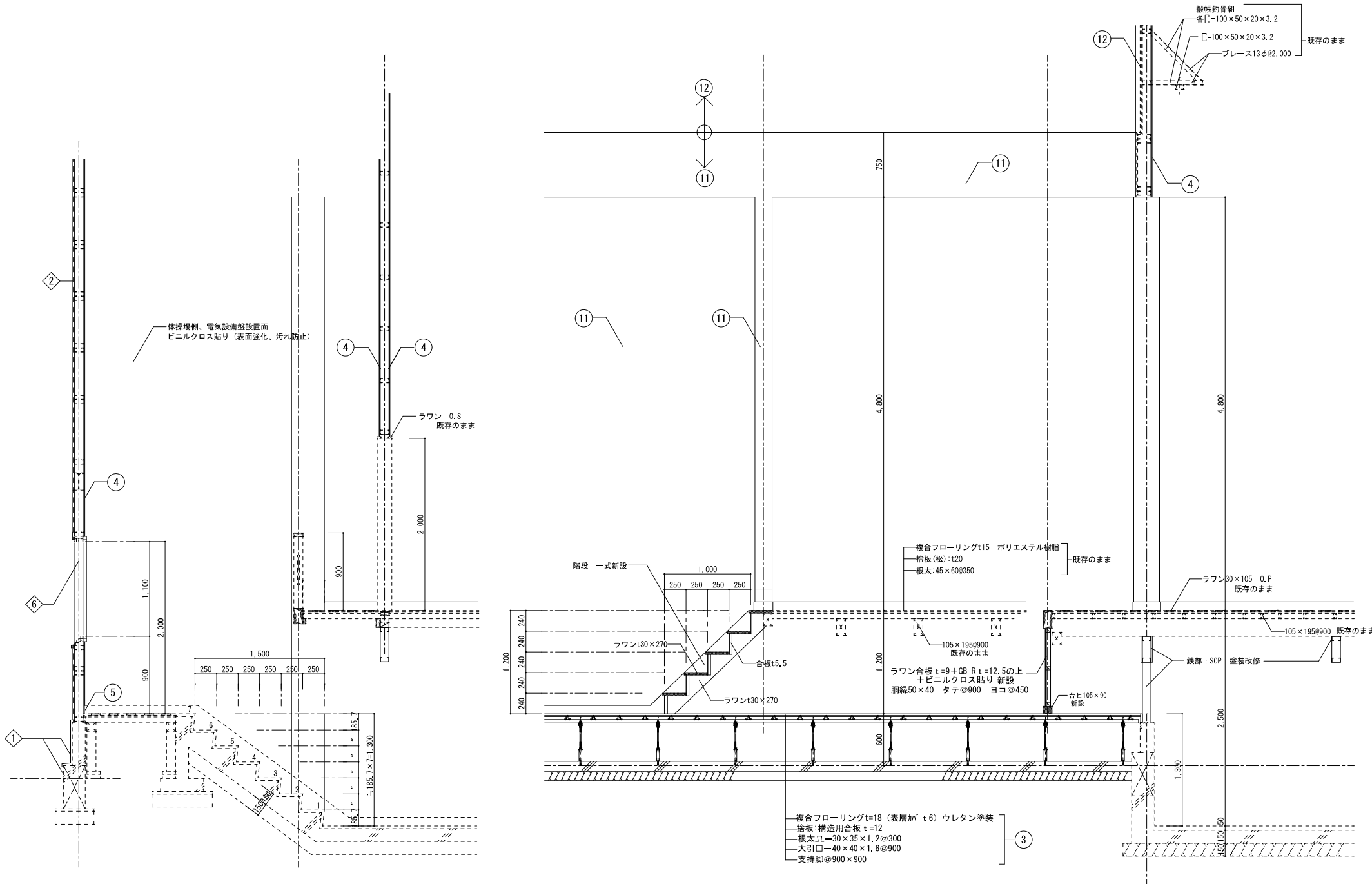
凡例
 × …仕上げ見切りを示す



詳細図 1/40

記号 部位：仕上げ材（下地）（改修前）		
【防水改修工事】		
A	屋根	ガルバリウムカラー鋼板瓦葺 [塗装改修]
B	庇裏	LGS下地、ケイカル板(t=5)底目地、リシン吹付 [既存仕上ケレン]
C	鼻先	リプラス下地モルタル刷毛引、リシン吹付 [既存仕上撤去+高圧水洗]
D	東側軒庇	リプラス下地モルタル下地、カー鋼板葺き [塗装改修]
E	東側2階底	コンクリート下地、防水モルタル+ウレタン塗布防水 [既存仕上撤去+高圧水洗]
【外壁改修工事】		
1	根回り	モルタル塗刷毛引、耐震改修部コンクリート打放し [高圧洗浄のみ]
2	壁	リプラス下地モルタル刷毛引、リシン吹付 [既存仕上撤去+高圧水洗]
3	柱型	リプラス下地モルタル刷毛引、リシン吹付 [既存仕上撤去+高圧水洗]
4	梁型	リプラス下地モルタル刷毛引、リシン吹付 [既存仕上撤去+高圧水洗]
5	鉄骨階段	SOP [塗装改修]
6	建具	鋼製建具躯体枠以外撤去 [鋼製格子共撤去]
7	外フレーム	耐震フレーム、鉄骨SOP [塗装改修]
8	ブレース	鉄骨SOP [塗装改修]
9	床下換気口	鋼製格子SOP [塗装改修]
【内装改修工事】		
1	地下倉庫床	モルタル金コテ押へ、一部土間 撤去
2	地下倉庫天井	合板(t=4.0) 撤去
3	床	ナラフローリング(t=15) (捨板 t=20) ポリエステル樹脂塗装、下地共撤去
4	壁	リプラスモルタル金コテ磨きプaster塗り 仕上撤去
5	巾木	OP [塗装改修]
6	器具庫	体操場側間仕切仕上、下地共撤去
7	床	モルタル金コテ押へ
8	壁	リプラスモルタル金コテ磨きプaster塗り
9	防球ネット	樹脂製既存のまま(ステージ側)
10	ギャラリー手摺	OP [塗装改修]
11	体操場ステージ側壁	合板(t=5.5)下地プリント合板(t=5)糊貼
12	体操場ステージ側壁	有孔プasterボード(t=9)目透しV.P

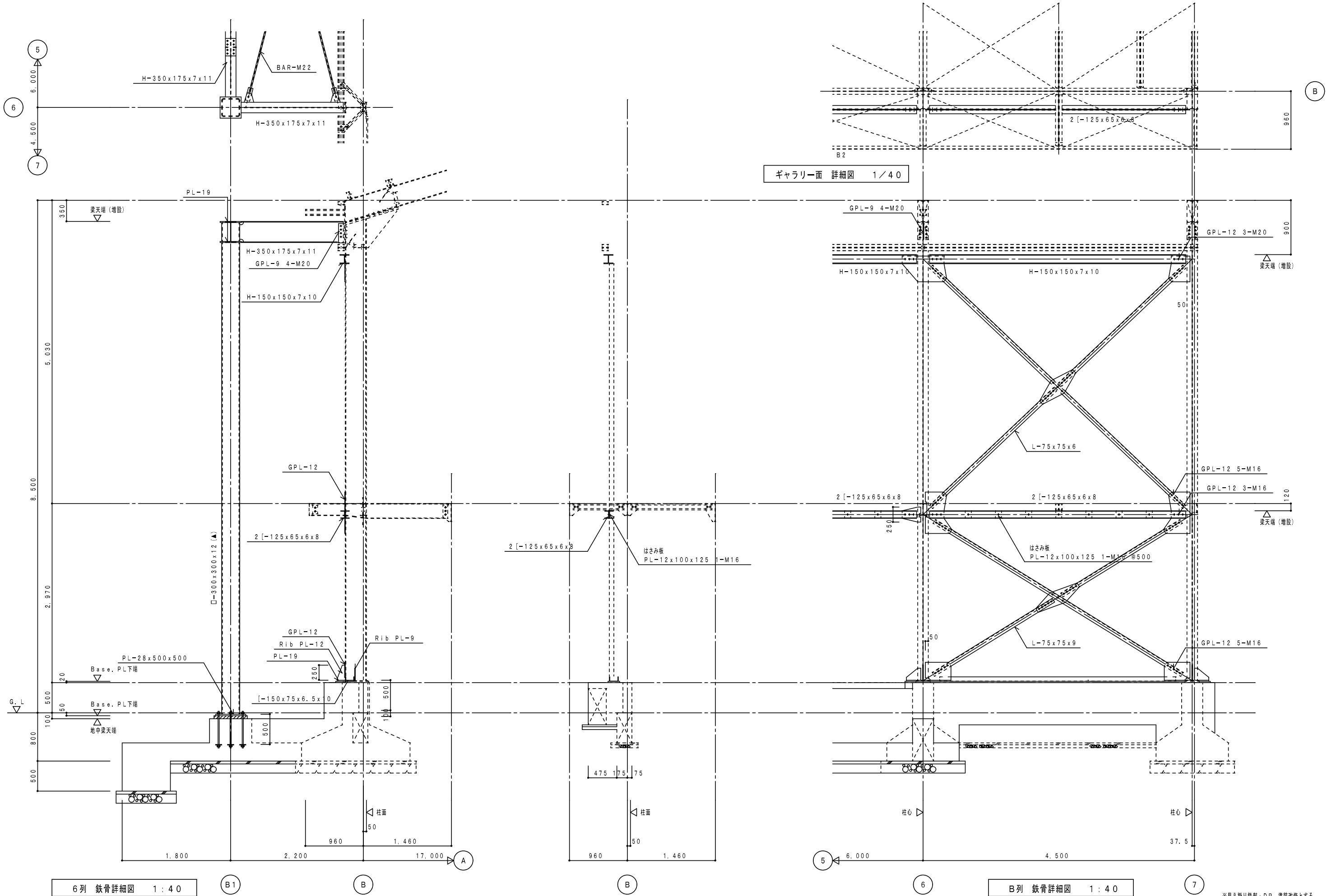
凡例
 X …仕上げ見切りを示す
 [斜線] 撤去部分を示す。



詳細図 1/40

記号	部位	仕上材(下地)	(改修後)
【防水改修工事】			
A	屋根	遮熱塗装	[下地調整のうえ新設]
B	庇裏	外装薄塗材E	[下地調整のうえ新設]
C	鼻先	防水形複層塗材E新設	[下地調整のうえ新設]
D	東側軒庇	DP塗装	[下地処理のうえ新設]
E	東側2階庇	塗膜防水	[下地処理のうえ新設]
G	玄関庇	既存屋根+カーン板瓦葺葺	[下地処理のうえ新設]
H	玄関庇裏	外装薄塗材E	[下地調整のうえ新設]
I	軒樋	硬質塩化ビニル樹脂、芯材スチール165W×150H	[新設(摺り金物共)]
J	壁樋	カラー塩ビφ75新設	[新設(摺り金物共)]
K	保護管	鋼製φ114 SOP新設	[新設(摺り金物共)]
【外壁改修工事】			
①	根回り	高圧水洗	
②	壁	防水形複層塗材E吹付	[劣化部処理、下地調整のうえ新設]
③	柱型	防水形複層塗材E吹付	[劣化部処理、下地調整のうえ新設]
④	梁型	防水形複層塗材E吹付	[劣化部処理、下地調整のうえ新設]
⑤	鉄骨階段	DP	[下地調整のうえ新設]
⑥	建具	アルミ製建具新設	[カバー工法新設]
⑦	外フレーム	DP	[下地処理のうえ新設]
⑧	ブレース	DP	[下地処理のうえ新設]
⑨	床下換気口	DP	[下地調整のうえ新設]
【内装改修工事】			
①	地下倉庫床	雨水樹設置周囲モルタル金コテ押え復旧	
②	地下倉庫床	SOP 塗装改修	
③	床	複合フローリングt=18(表層加' t6) 捨板、構造用合板 t=12 ウレタン塗装、コートライン引き、下地共新設 周囲ネオブレングム18×20	
④	壁	ラワン合板 t=9+GB-R t=12.5の上、EP-G	
⑤	巾木	SOP	[下地処理のうえ新設]
⑥	器具庫	体操場側間仕切仕上、下地共復旧	
⑦	床	クラック、アンカーピンニング+ビニル床シート 新設	
⑧	壁	クラック補修、下地調整の上、EP-G	
⑨	防球ネット	樹脂製新設(ステージ側以外)	
⑩	ギャラリー手摺	SOP	[下地調整のうえ新設]
⑪	体操場ステージ側壁	ビニルクロス貼り (表面強化、汚れ防止)	[下地調整のうえ新設]
⑫	体操場ステージ側壁	ビニルクロス貼り (表面強化、汚れ防止)	[下地調整のうえ新設]

凡例
 X ……仕上げ見切りを示す

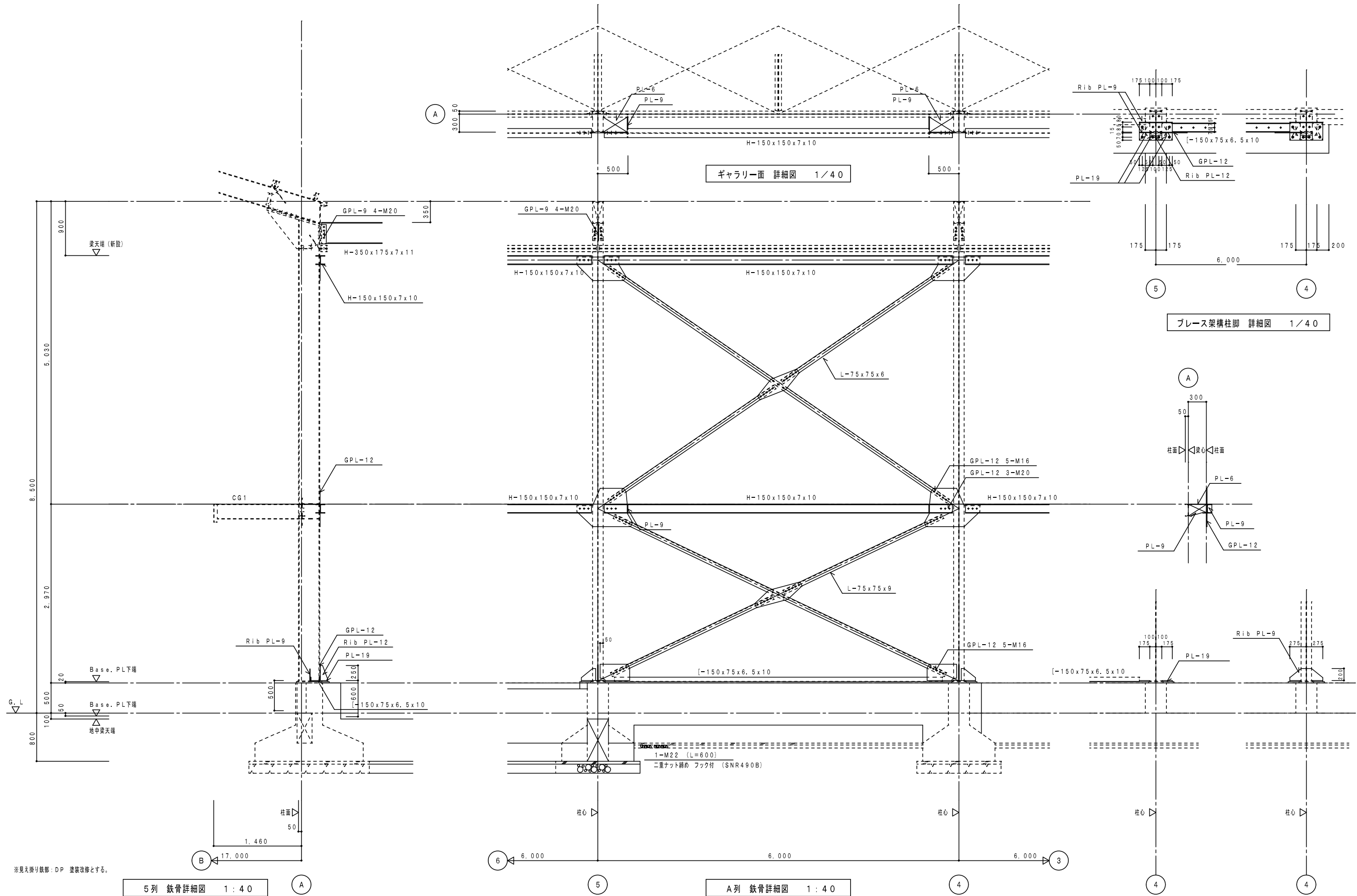


ギャラリー面 詳細図 1/40

6列 鉄骨詳細図 1:40

B列 鉄骨詳細図 1:40

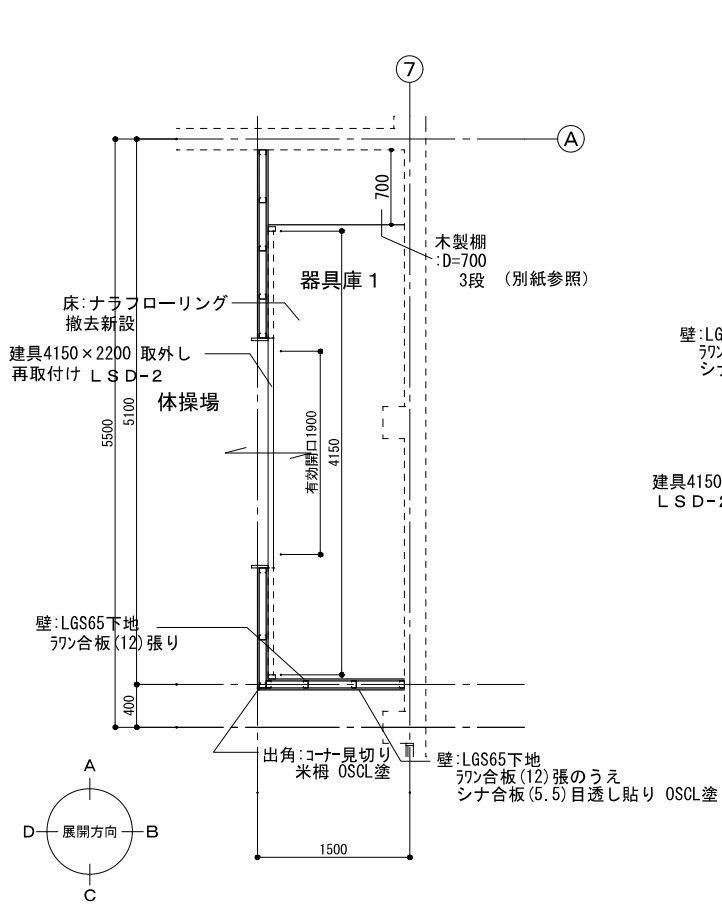
※見え掛り部: DP 塗装改修とする。



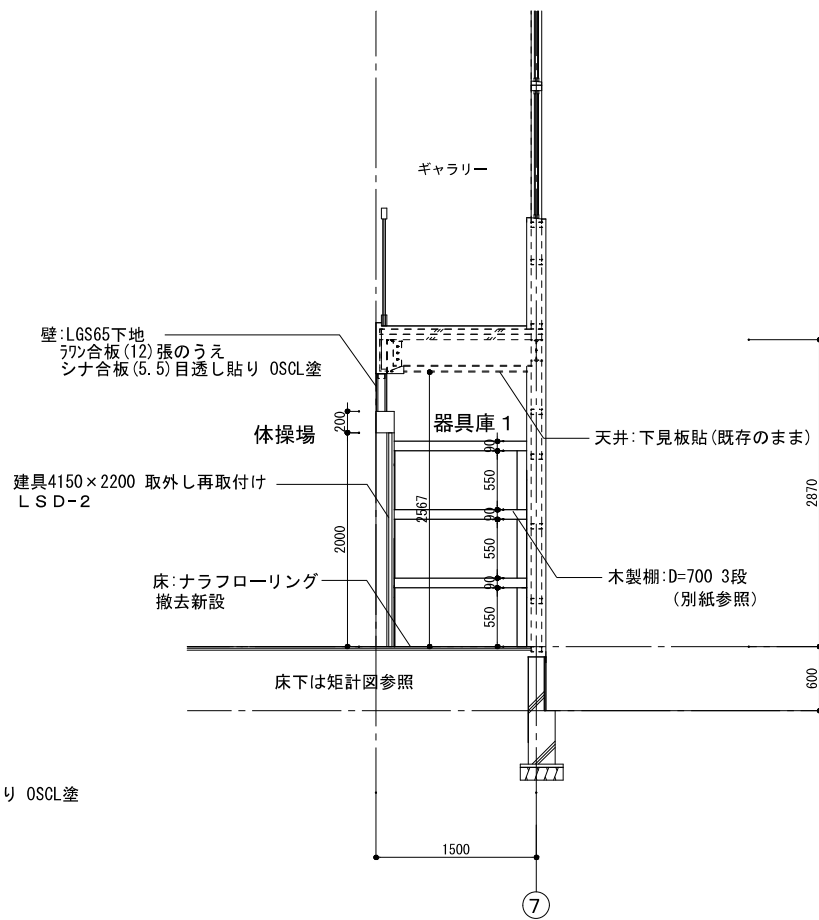
※見え振り数部: DP 塗装改修とする。

5列 鉄骨詳細図 1:40

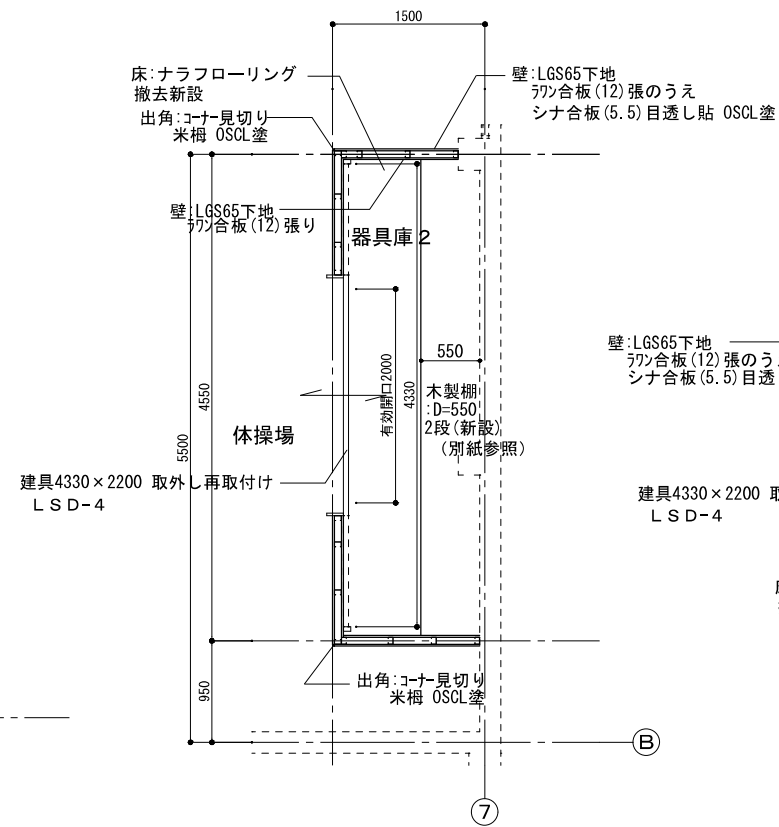
A列 鉄骨詳細図 1:40



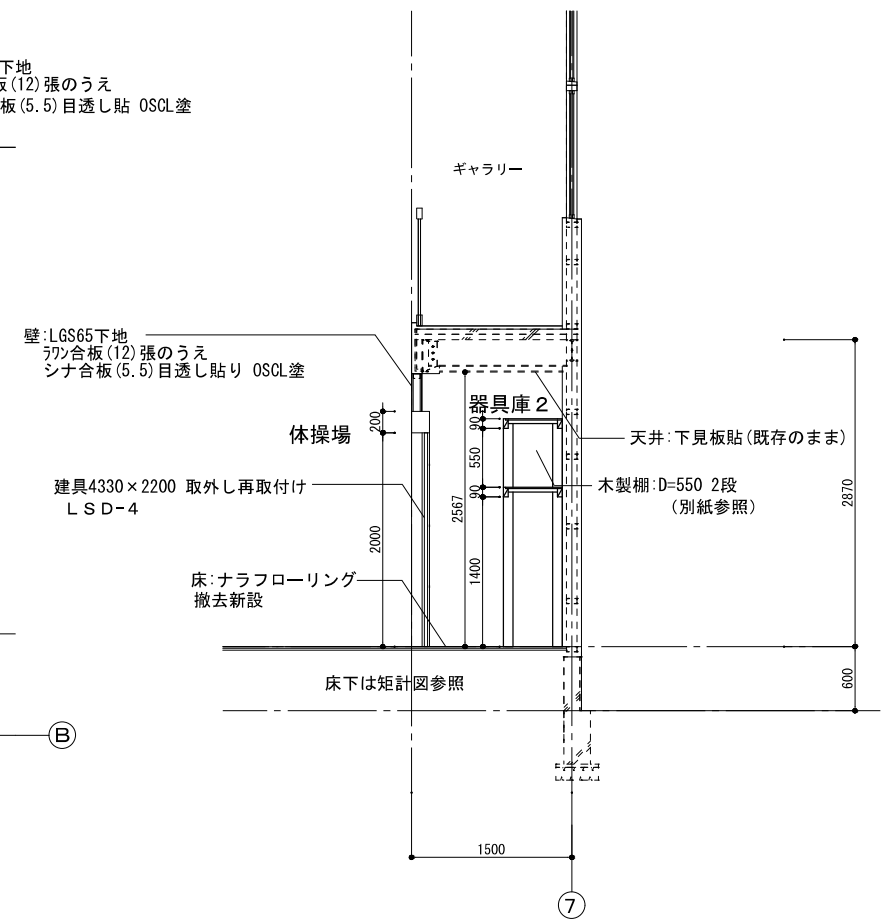
器具庫1平面図(改修前・後) S 1 : 50



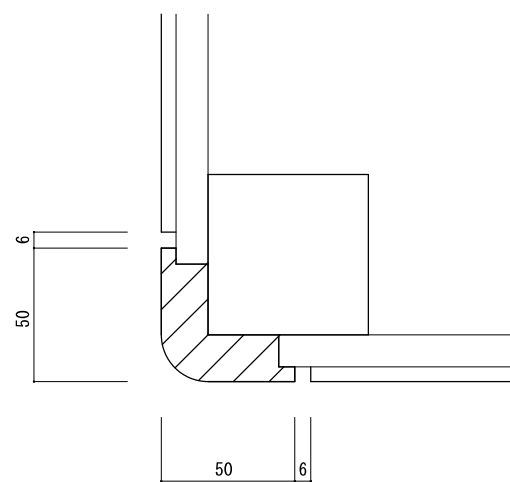
器具庫1矩計図(改修前・後) S 1 : 50



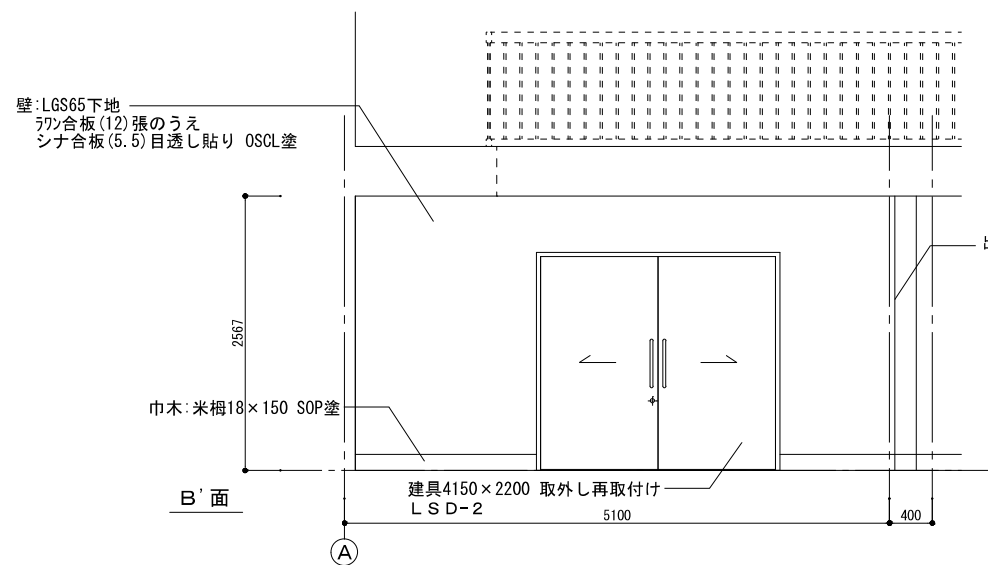
器具庫2平面図(改修前・後) S 1 : 50



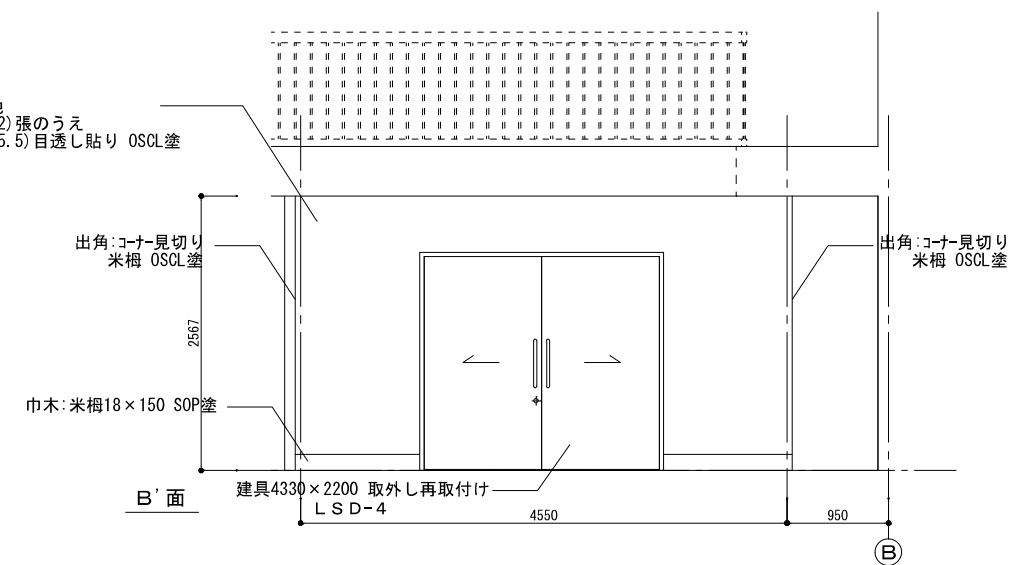
器具庫2矩計図(改修前・後) S 1 : 50



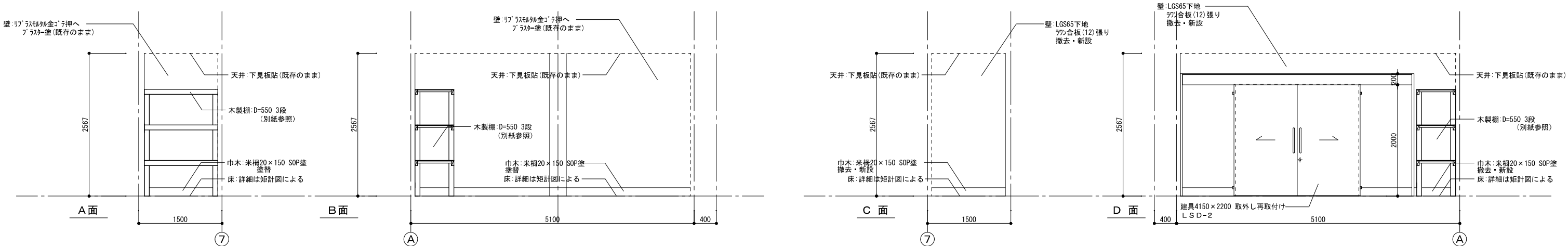
器具庫出角詳細図 S 1 : 2



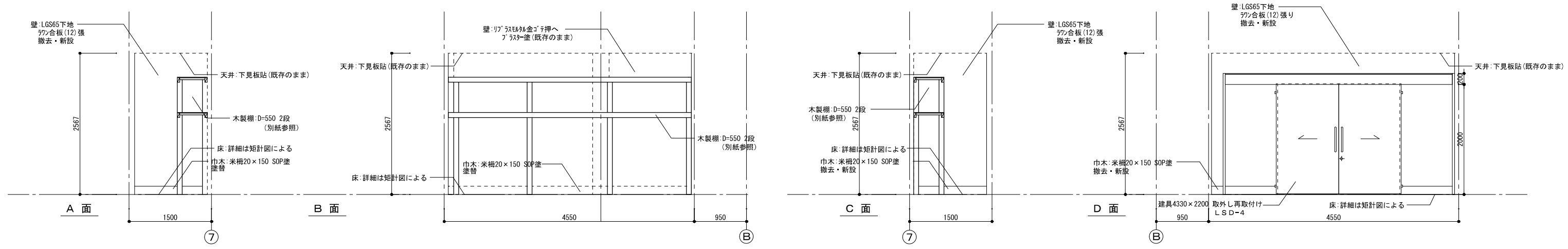
器具庫1展開図(改修前・後) S 1 : 50



器具庫2展開図(改修前・後) S 1 : 50



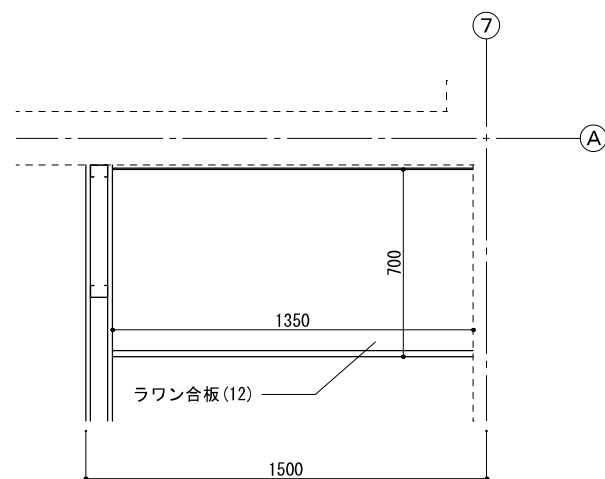
器具庫1展開図(改修前・後) S 1:50



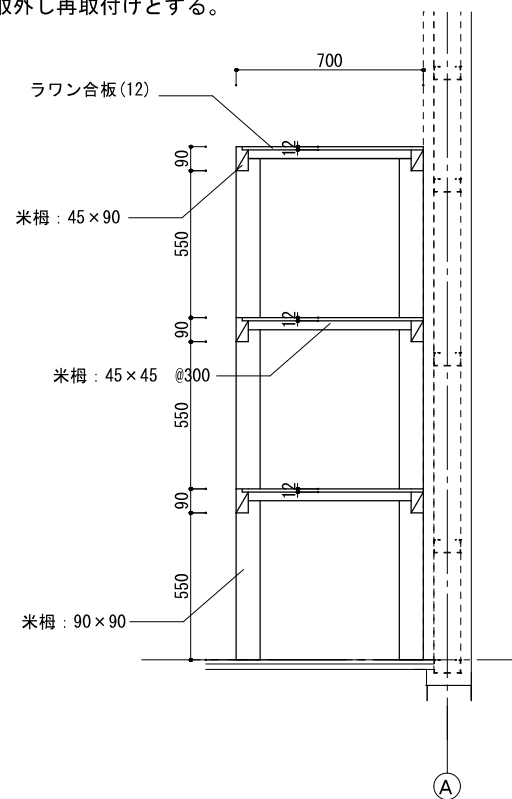
器具庫2展開図(改修前・後) S 1:50

※改修内容：体操場床撤去新設するため、器具庫1・2を棚共撤去、新設する。建具は取外し再取付けとする。

※改修内容：体操場床撤去新設するため、器具庫1・2を棚共撤去、新設する。建具は取外し再取付けとする。

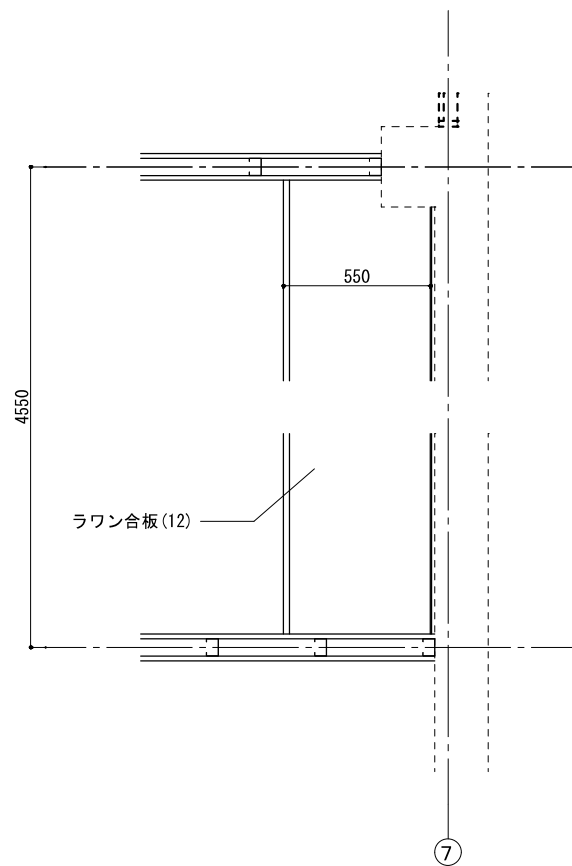


器具庫1棚平面詳細図(改修前・後) S 1:20

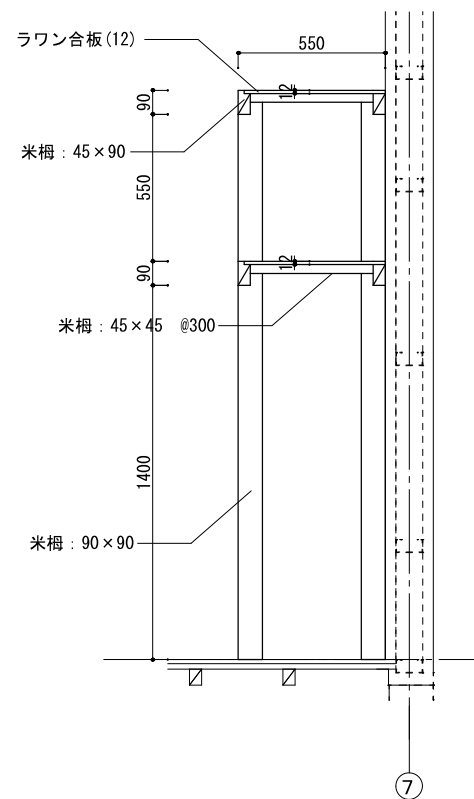


器具庫1棚断面詳細図(改修前・後) S 1:20

地下倉庫撤去リスト		
名称	寸法	数量
木製棚	1900 L × 900 D × 1700 H 柱80角4本	2
木製教壇	1900 L × 1000 D × 200 H	4
木製テーブル	1500 L × 450 D × 700 H	1
木製机	600 × 450 × 600 H	1 2
折りたたみテーブル	1500 L × 450 D × 700 H	4
木製棚	1900 L × 900 D × 1000 H 柱80角4本	2
木製台	1200 L × 450 D × 700 H	2

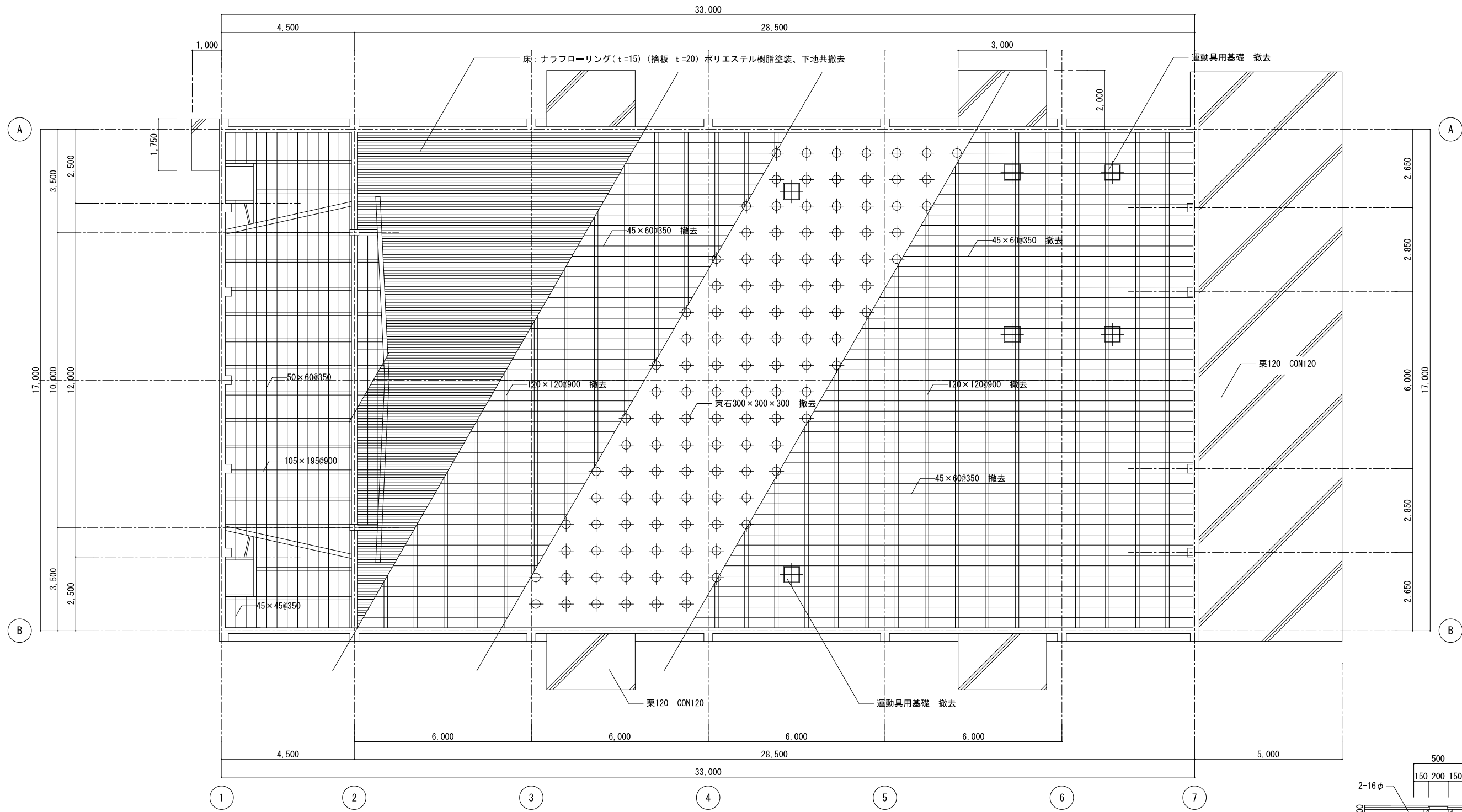


器具庫2棚平面詳細図(改修前・後) S 1:20

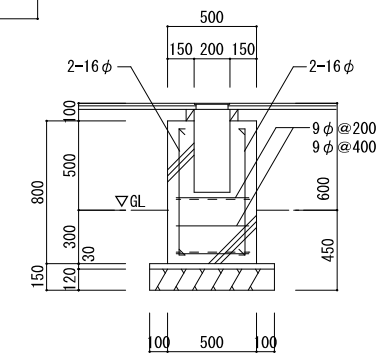


器具庫2棚断面詳細図(改修前・後) S 1:20



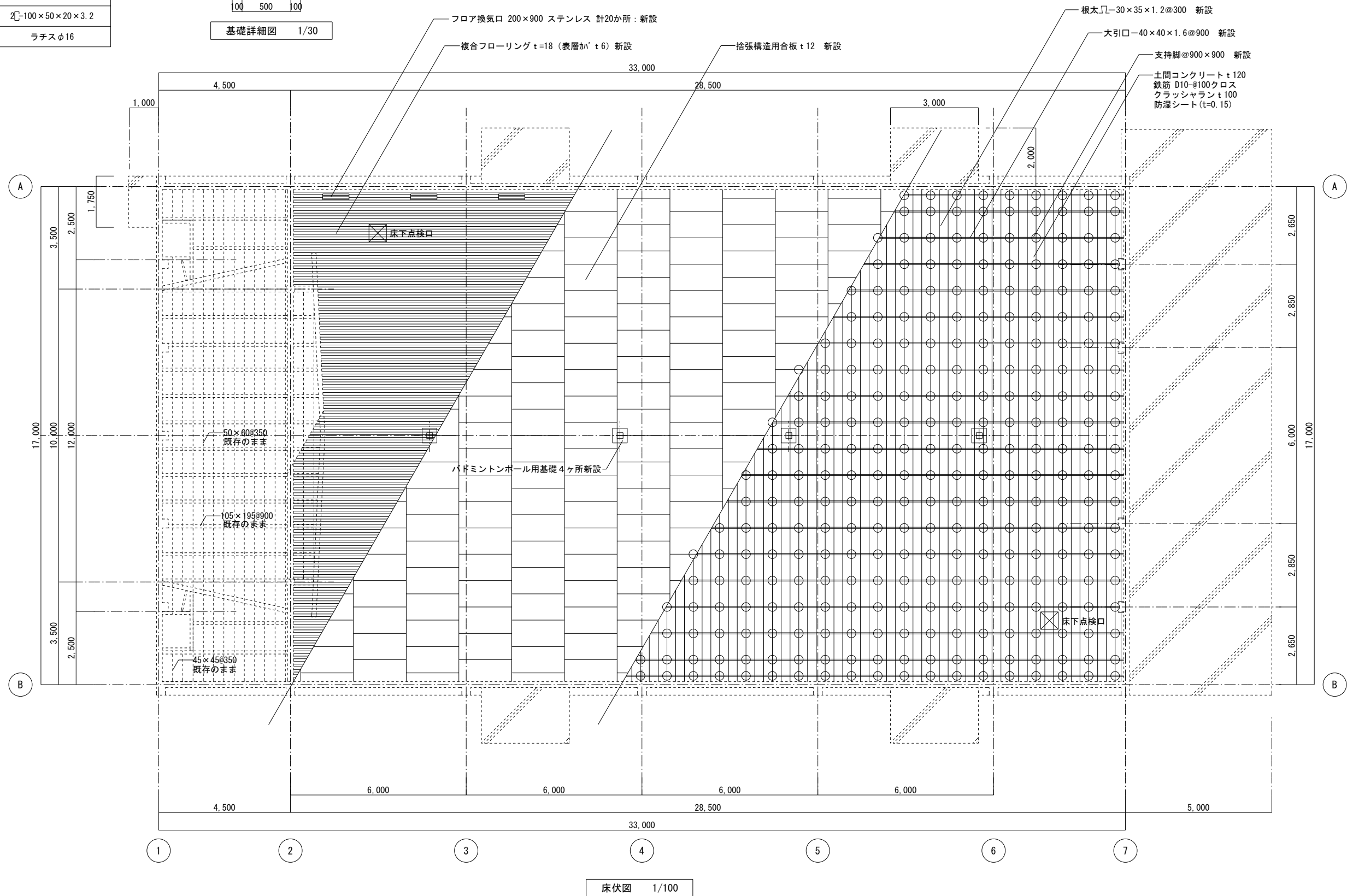
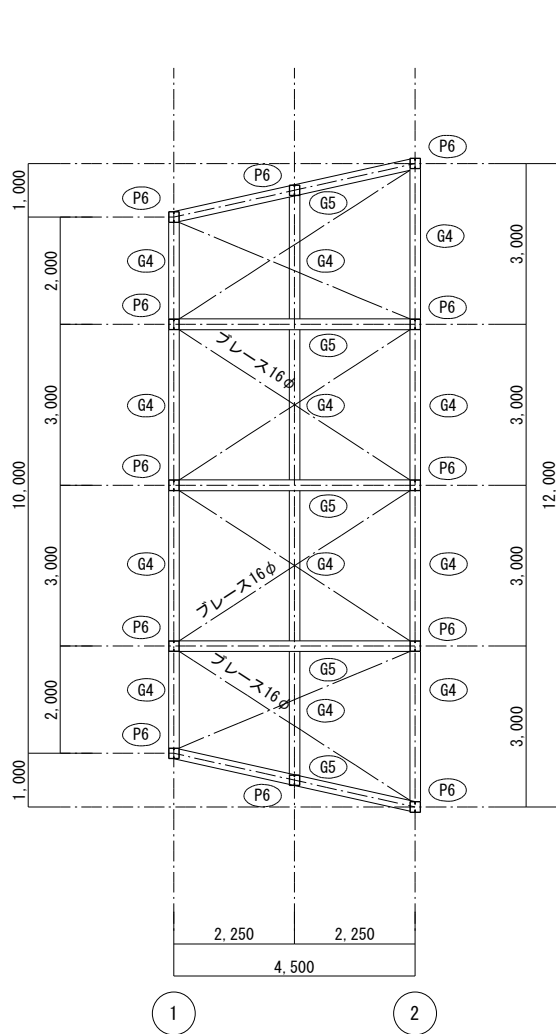
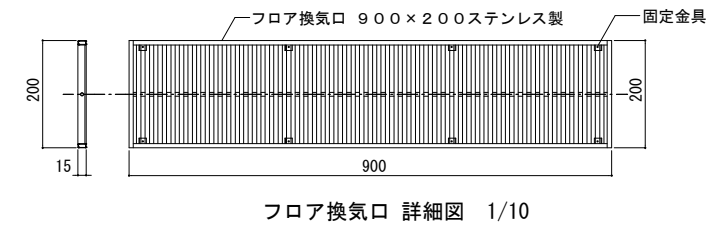
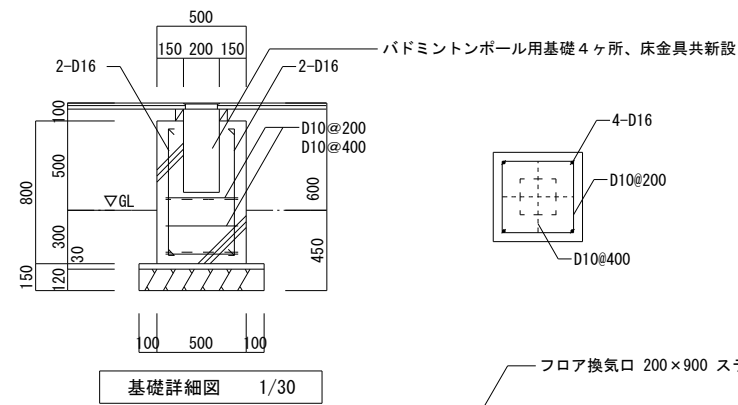


床伏図 1/100

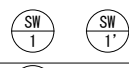
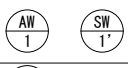


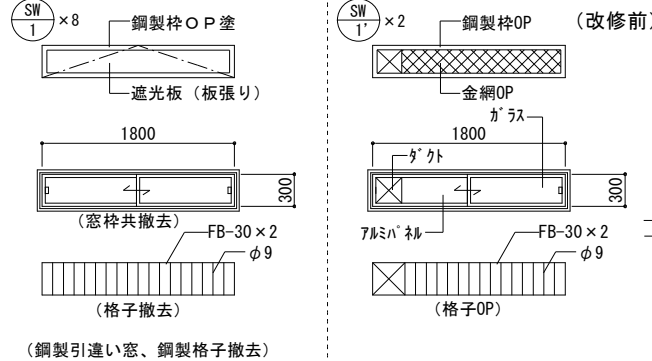
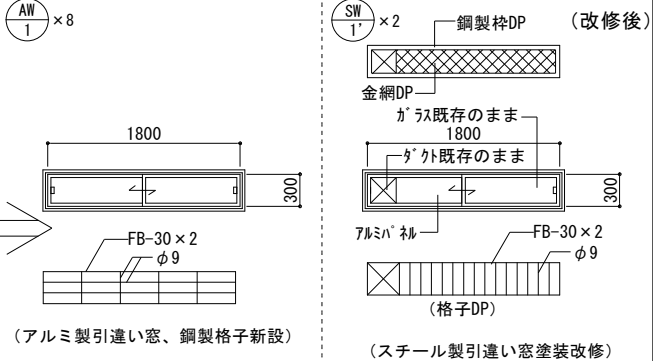
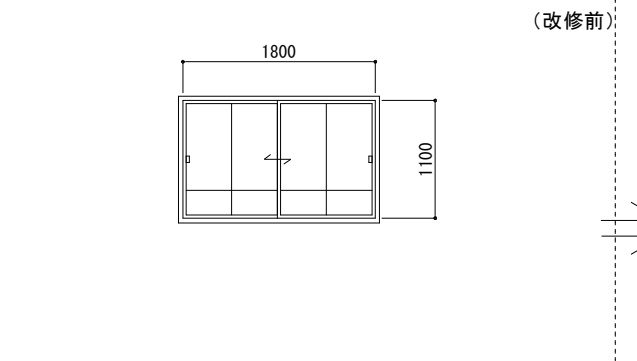
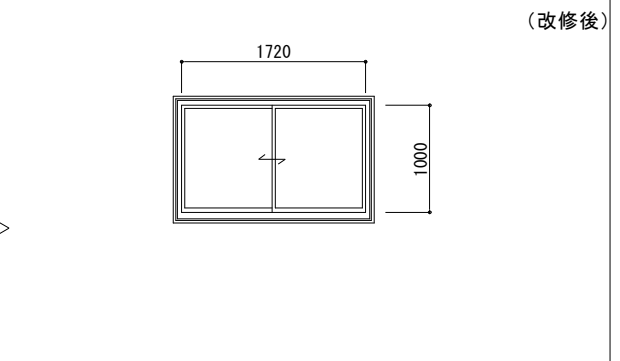
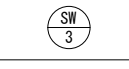



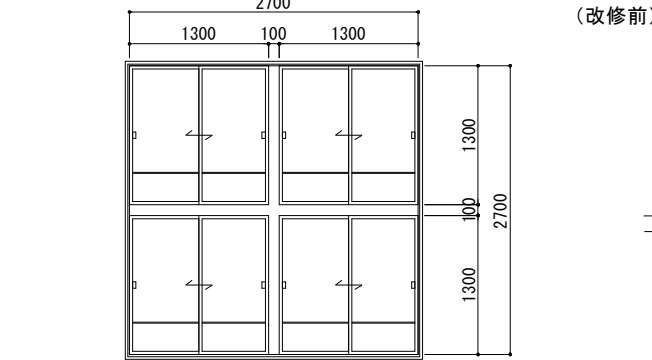
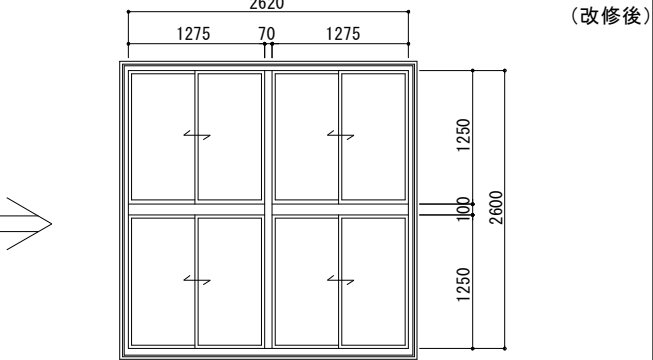
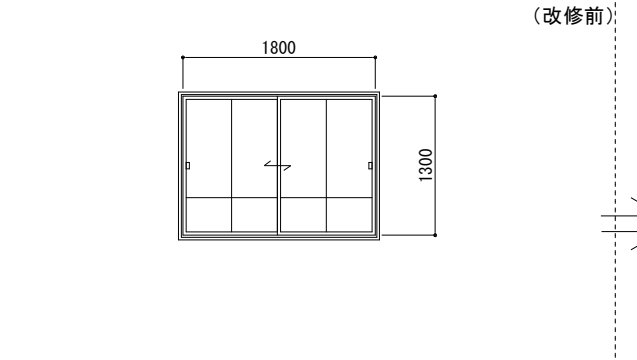
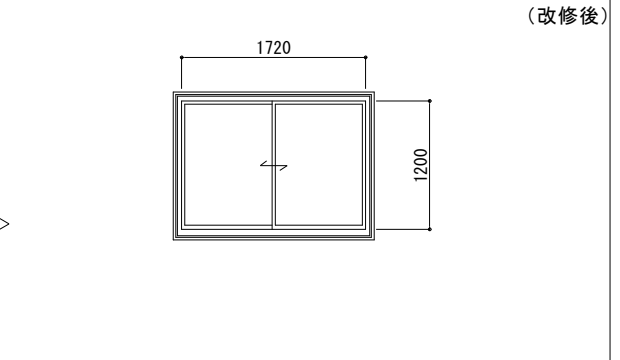


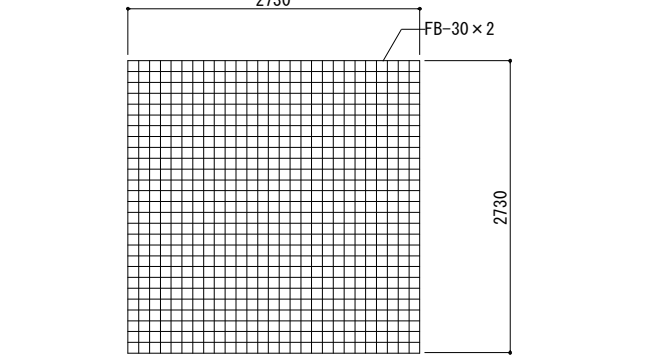
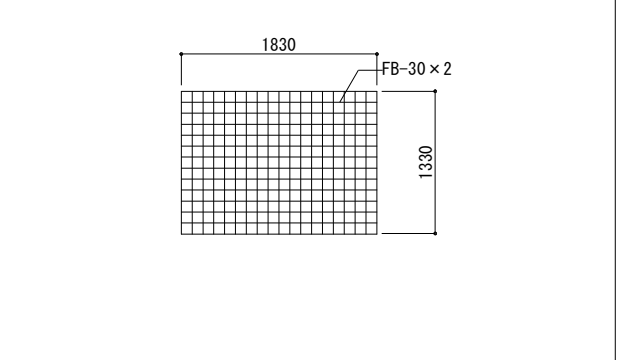




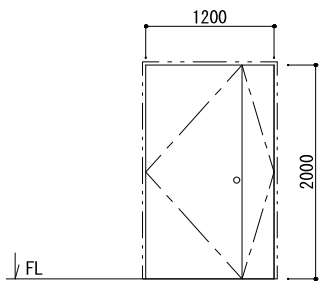
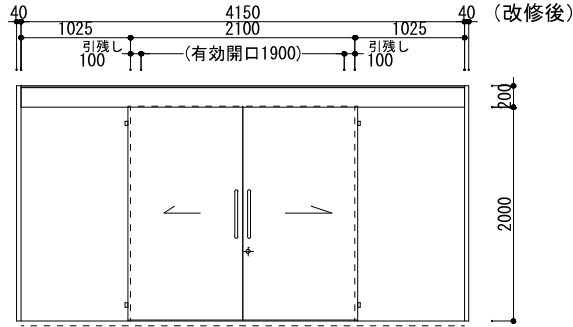


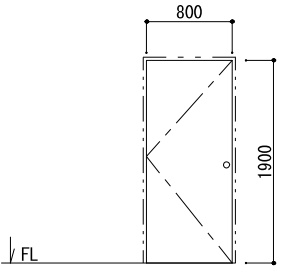
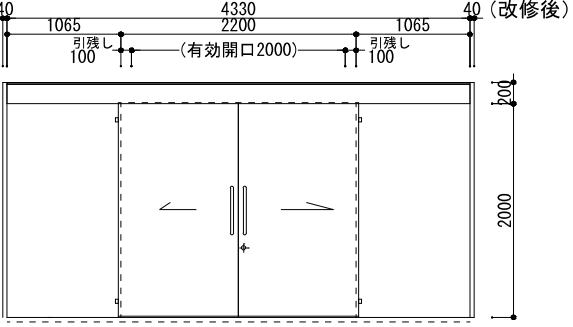
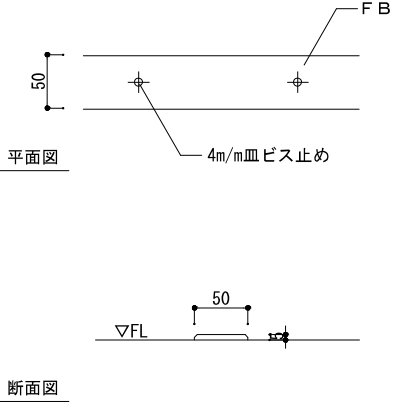


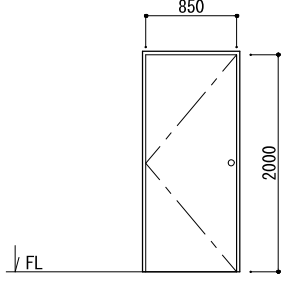
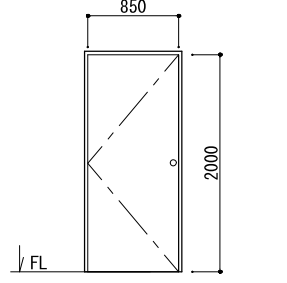
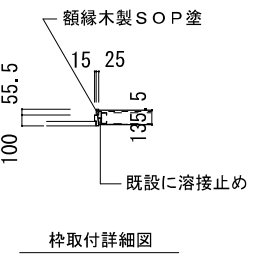
基礎詳細図 1/30

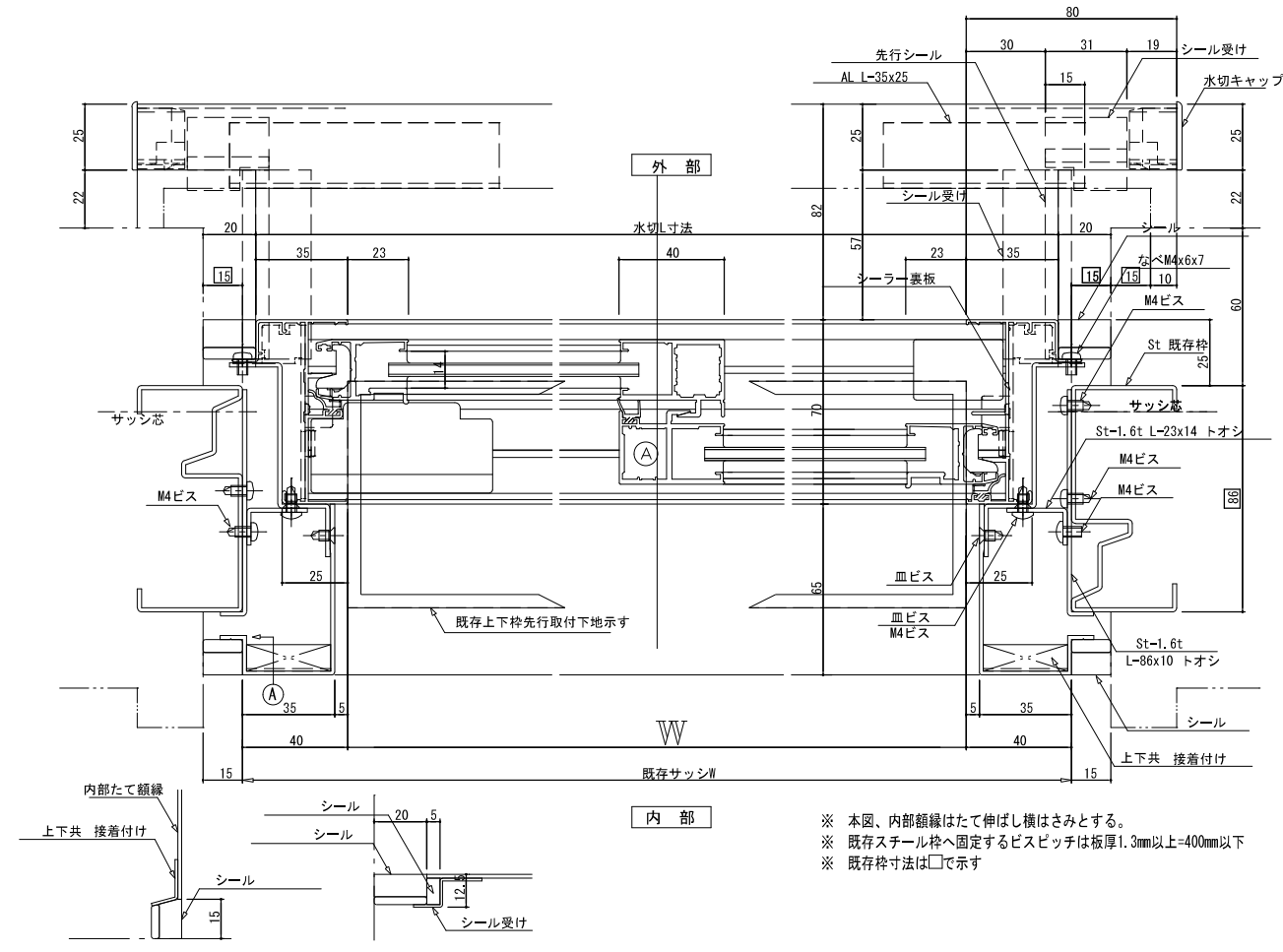
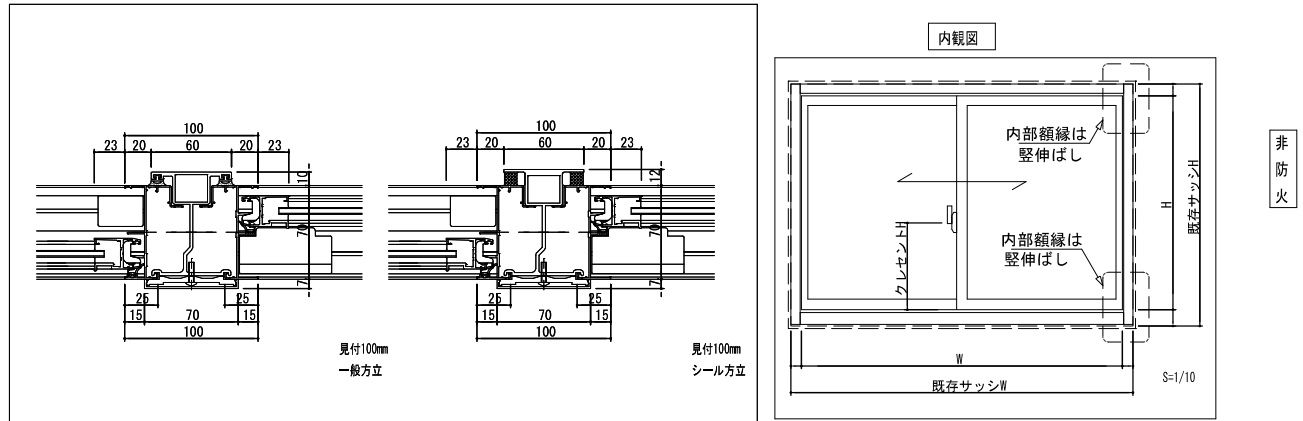
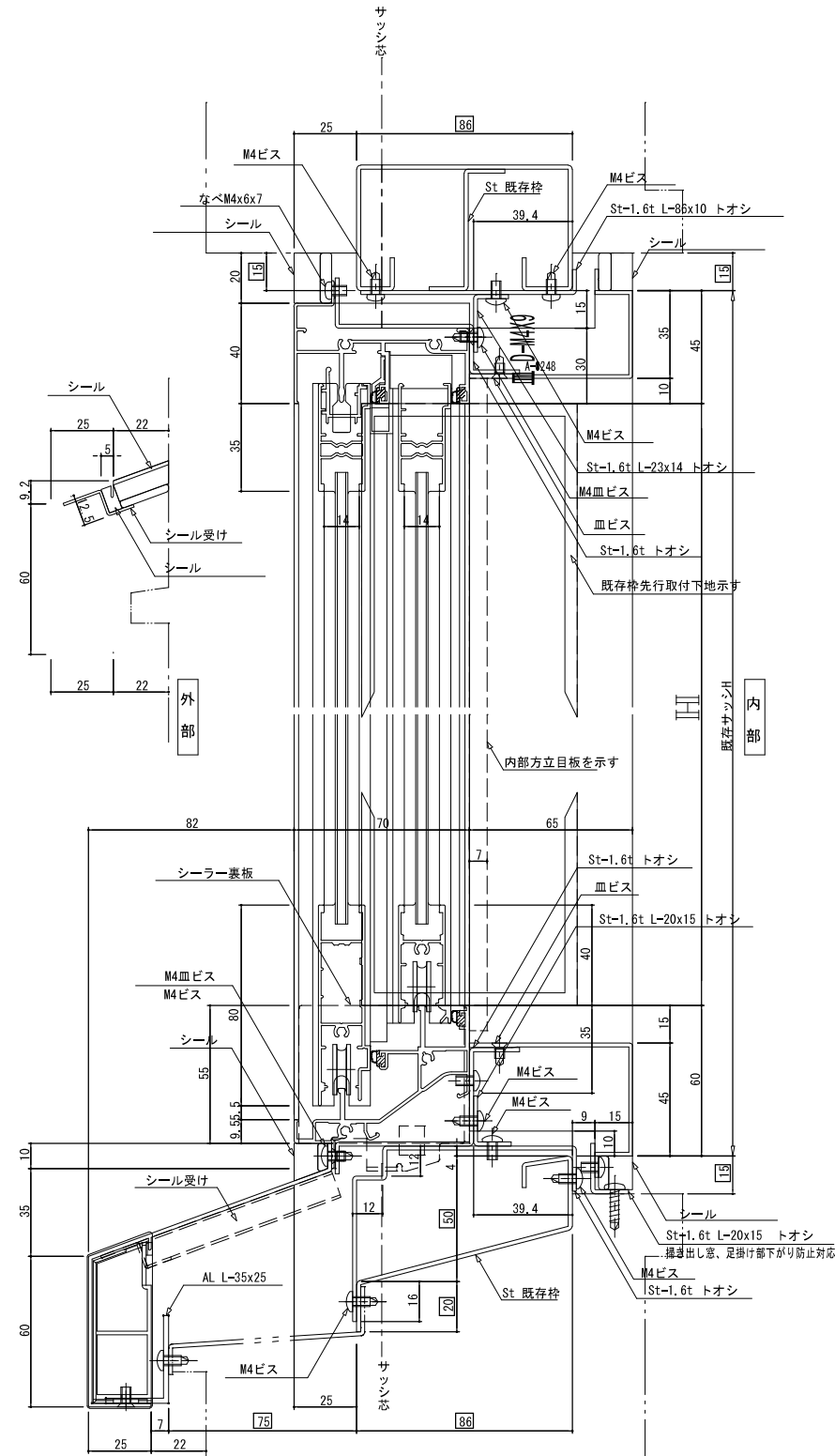
	(P6)	(G4)	(G5)
断面			
主材	2[-100×50×20×3.2	2[-100×50×20×3.2	2[-100×50×20×3.2
		ラチスφ16	ラチスφ16

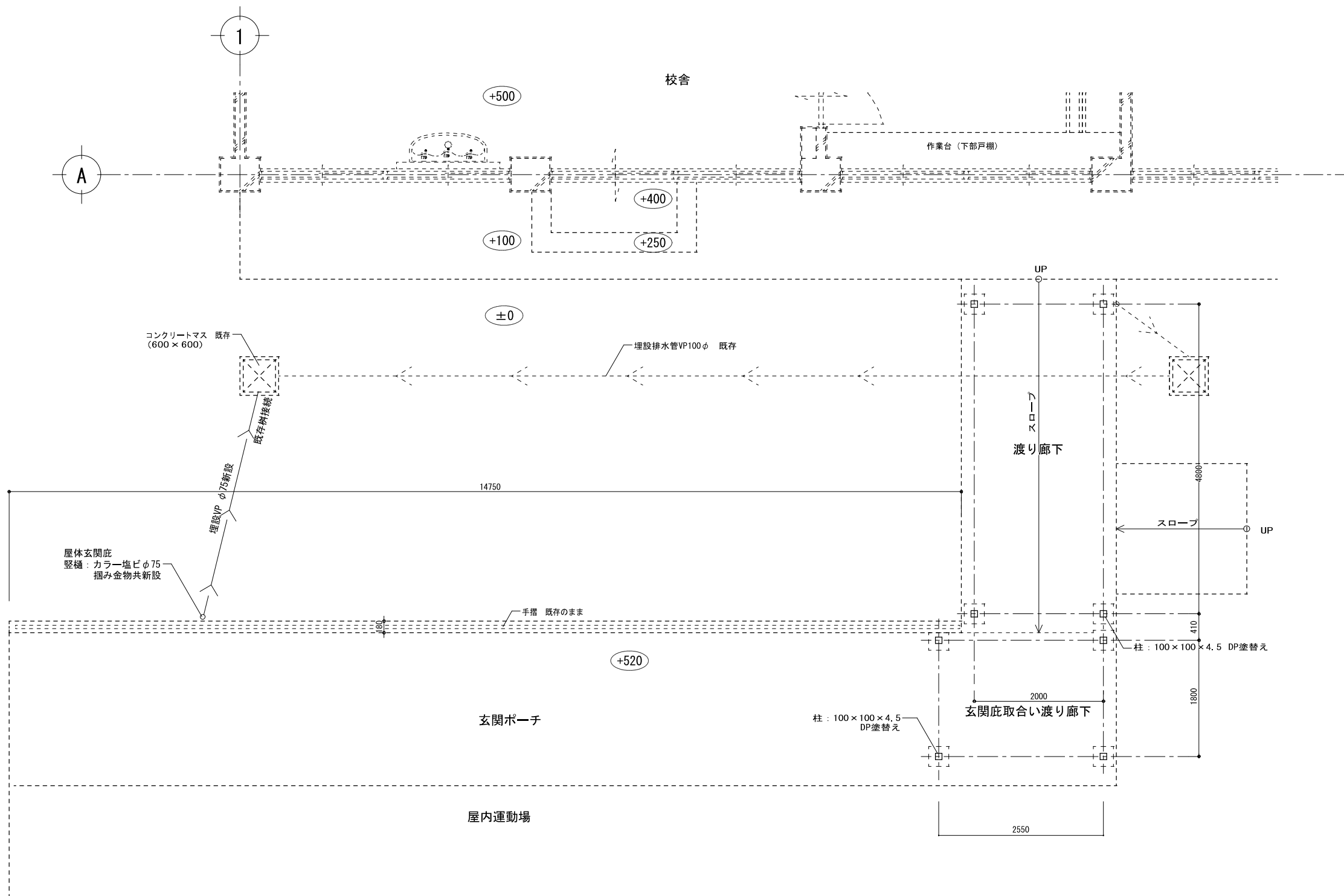


符号・名称	STD ステンレス製両開きドア袖付							
姿図					調整		(改修後)	
仕上・見込	SUS (HL)		100		100			
位置・数量	1階 玄関入口		1		1			
硝子	スクールテンパー (4)、ガラスブロック							
金物	フロアーヒンジ、フランス落し、丁番、本締錠、握り棒SUS HL (L=600)							
備考								
符号・名称	SD 1	スチール製両開き片面フラッシュ戸 枠以外撤去	SD 1	スチール製両開きフラッシュ戸 枠以外新設	SD 2	スチール製片開き中抜きフラッシュ戸	SD 2	スチール製片開き中抜きフラッシュ戸
姿図								
仕上・見込	OP塗		70		OP塗		70	
位置・数量	1階 東西面出入口		4		1階 控室1外部出入口		1	
硝子					網入り型 (t=6.8)			
金物	モノロック、上げ落し、アングルピース、ドアチェック		ドアチェック、フランス落し、丁番、モノロックシリンダー錠、順位調整		ドアチェック、丁番、シリンダー錠			
備考								
符号・名称	SD 3	スチール製片面フラッシュ片開き戸 枠以外撤去	SD 3	スチール製片開きフラッシュ戸 枠以外新設				
姿図								
仕上・見込	OP塗		70		OP塗		70	
位置・数量	2階 ギャラリー一階段出入口		1		1階 控室1外部出入口		1	
硝子								
金物	ドアチェック、丁番、シリンダー錠		ドアチェック、丁番、モノロックシリンダー錠					
備考							<ul style="list-style-type: none"> ・姿図は内観図。 ・建具製作にあたってはよく現地を調査し、施工図作成のうえ、監督員の承諾を得た後製作すること。 ・引き違い建具は全て網戸レールを具備してあるものとし、落下防止又はハズレ防止付とする。 ・引出し部分の既存番覆りは撤去し、ステンレス(SUS304)厚2.0mm製を取付けられるものとし、折り部分は現状仕上りに準じ補修すること。(出入口ドア下枠もこれに準ずる。) ・床折りは最小限にし、必要に応じてカッターを使用すること。 ・寸法は既存建具内法寸法を示す。 ・ガラス留め材は、網入り・FIXはシリング (SR-リコ-2系) を使用すること。 ・アルミ水切は建具同材とし、小口はエンドキャップを使用すること。 ・Zn製建具には二次電解着色+高耐候性7H/7-電解塗装 (SG1-T) をすること。 ・P-アルミプレート3mmを使用、FIX-ガラス。 <p><凡例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ステンレス製番覆り (t=2) を示す。 ・特記なき場合、AD、AWの場合は7H額縁 (w=25)、SD、LSDの場合は7H額縁 (w=25) SOP塗、STDの場合は7H額縁 (w=25)、WDの場合は木製額縁 (w=25) を示す。 	

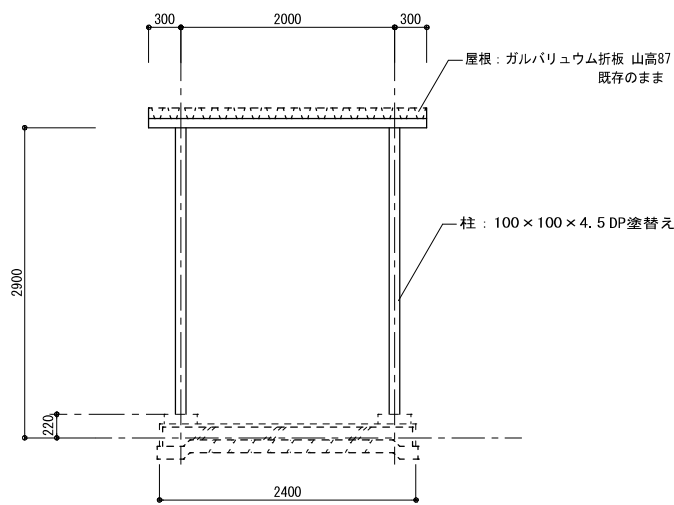
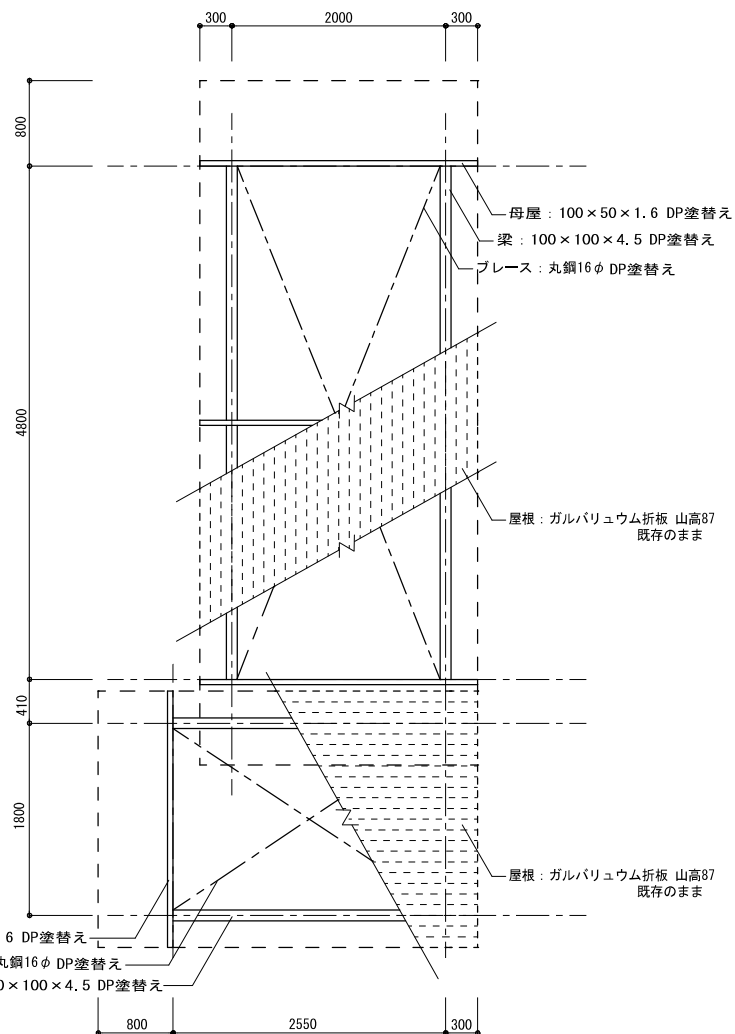
符号・名称	 スチール製引違い窓 可動式遮光板 鋼製格子付き	 アルミ製引違い窓新設、1'は塗装改修	 スチール製引違い窓 枠以外撤去	 アルミ製引違い窓 カバー工法 新設				
姿図	 <p>(鋼製引違い窓、鋼製格子撤去)</p>	 <p>(アルミ製引違い窓、鋼製格子新設)</p>	 <p>(改修前)</p>	 <p>(改修後)</p>				
仕上・見込	OP	70	既存木製枠、鋼製格子SOP	70	OP塗	70	木製枠SOP塗	70
位置・数量	地階、体操場フロア一	10	地階、体操場フロア一	10	1階 控室	2	1階 控室	2
硝子	フロートガラス (t=3)		地階：70tガラス (t=3) 2か所既存のまま 体操場：アルミパネル窓8ヶ所		フロートガラス (t=3)		強化透明ガラス (t=4)	
金物	クレセント、アングルピース、水切		クレセント、アルミカバー、水切		クレセント、アングルピース、水切		クレセント、アルミカバー、水切	
備考								
符号・名称	 スチール製2連引違い窓 躯体取合い枠以外撤去	 アルミ製2連引違い窓 カバー工法 新設	 スチール製引違い窓 枠以外撤去	 アルミ製引違い窓 カバー工法 新設				
姿図	 <p>(改修前)</p>	 <p>(改修後)</p>	 <p>(改修前)</p>	 <p>(改修後)</p>				
仕上・見込	OP塗	70	既存木製枠SOP塗	70	OP塗	70	既存木製枠SOP塗	70
位置・数量	2階 ギャラリー (西、東面)	16	2階 ギャラリー (西、東面)	16	2階 ギャラリー北面	2	2階 ギャラリー北面	2
硝子	フロートガラス (t=3)		強化透明ガラス (t=4)		フロートガラス (t=3)		強化透明ガラス (t=4)	
金物	クレセント、アングルピース、水切		クレセント、アルミカバー、水切		クレセント、アングルピース、水切		クレセント、アルミカバー、水切	
備考								
符号・名称	 付属鋼製格子 撤去		 付属鋼製格子 撤去					
姿図								
仕上・見込	OP塗	30			OP塗	30		
位置・数量	2階 ギャラリー (西、東面)	16			2階 ギャラリー北面	2		
硝子								
金物								
備考								

符号・名称	 軽量スチール製親子ドア		 軽量スチール製両引き戸 枠共取外し・再取付け	
姿図	(改修前) 	調整	(改修後) 	
仕上・見込	SOP塗	70	SOP塗	100
位置・数量	1階 控室2出入口	1	1階 器具室1	1
硝子				
金物	ドアチェック、丁番、シリンダー錠		スチール額縁、引棒、鎌錠、SUS沓摺り、標準金物一式	
備考				
符号・名称	 軽量スチール製片開き戸		 軽量スチール製両引き戸 枠共取外し・再取付け	沓摺り詳細図 取外し、再取付け
姿図	(改修後) 	調整	(改修後) 	
仕上・見込	SOP塗	70	SOP塗	100
位置・数量	地階 倉庫	2	1階 器具室2	1
硝子				
金物	ドアチェック、丁番、シリンダー錠		スチール額縁、引棒、鎌錠、SUS沓摺り、標準金物一式	
備考				
符号・名称	 木製片開き戸 枠共撤去	 軽量スチール製片開き戸 新設		
姿図	(改修前) 	(改修後)  		
仕上・見込	化粧合板フラッシュ	40	SOP塗	100
位置・数量	1階 控室1出入口	1		1
硝子				
金物	ドアチェック、丁番、シリンダー錠		ドアチェック、丁番、モノロックシリンダー錠	
備考				

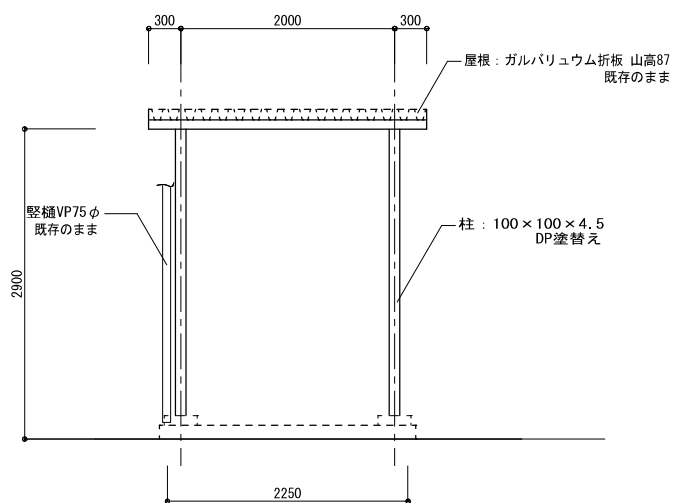




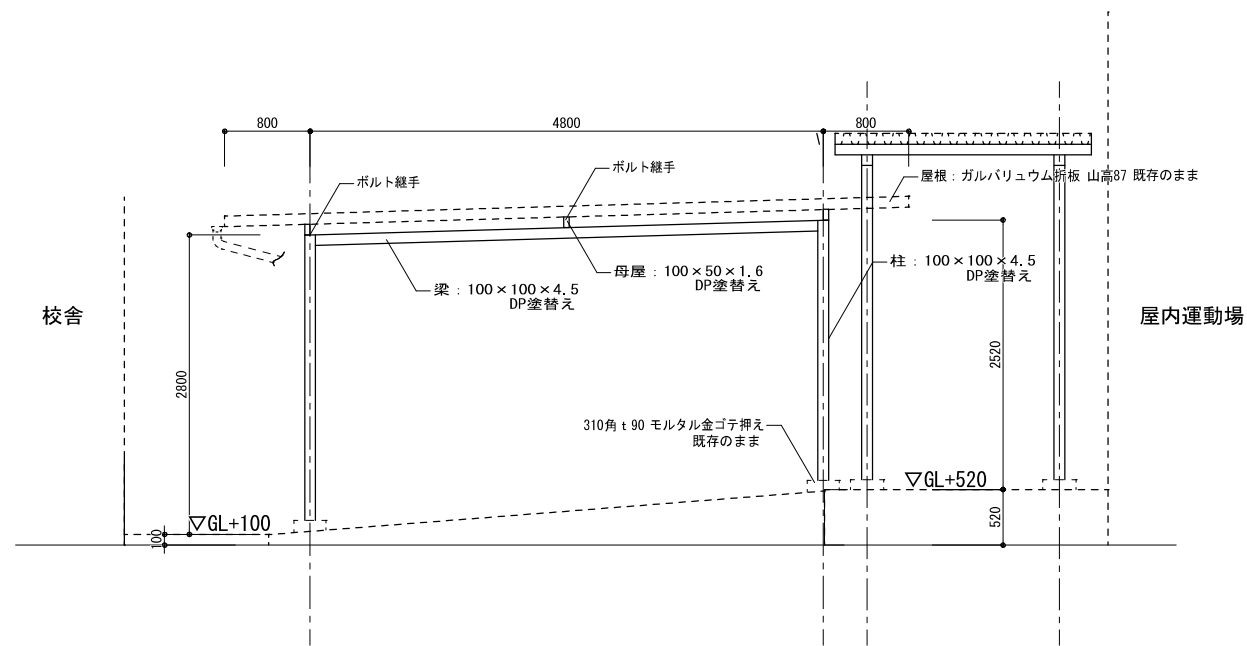
校舎南側 渡り廊下平面図(改修後) S 1 : 5 0



渡り廊下 断面図(改修後) S 1 : 5 0



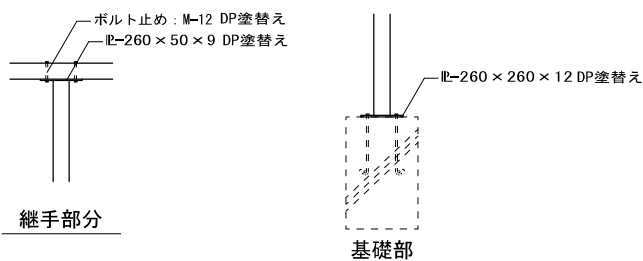
渡り廊下 北側立面図(改修後) S 1 : 5 0

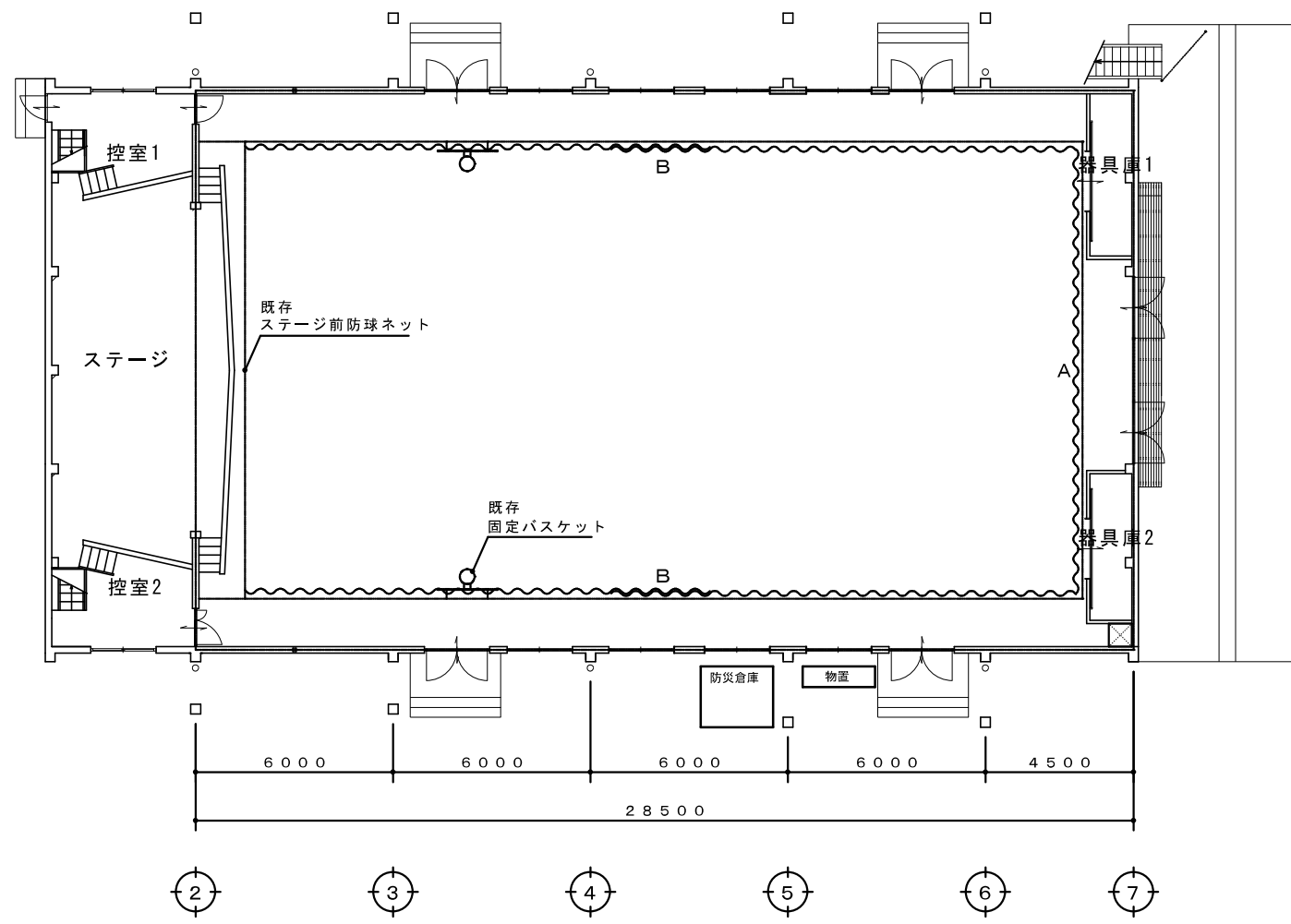
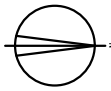


渡り廊下 西側立面図(改修後) S 1 : 5 0

※屋根以外の鉄部、タイトフレーム共SOP → DP 塗装改修

渡り廊下 屋根伏図 S 1 : 5 0



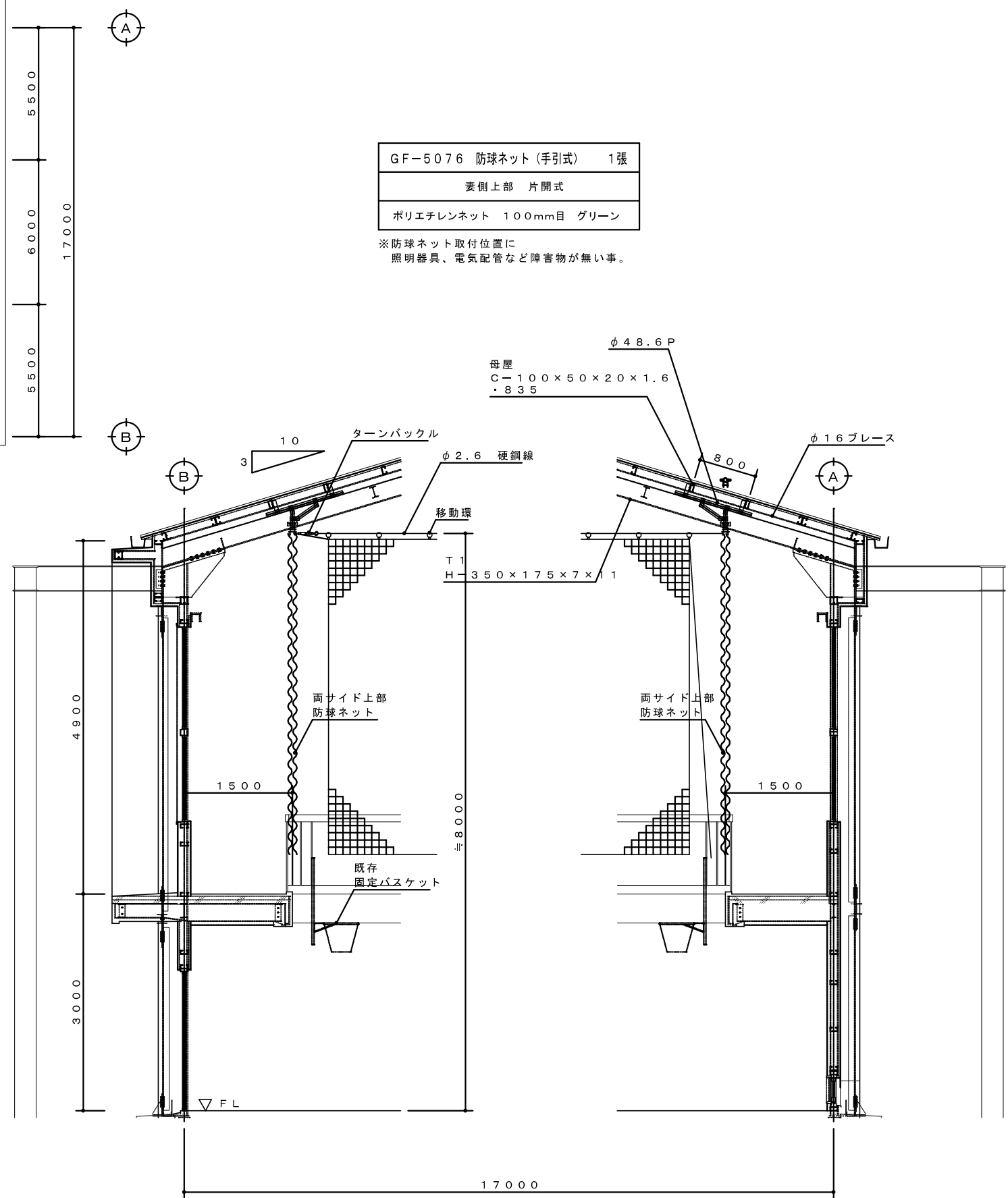


配置平面図 S=1/150

体育施設明細				
記号	品番	品名	仕様	数量
A	GF-5076	防球ネット(手引式)	ピアノ線張り 片開式 妻側上部 ポリエチレンネット 100mm目 グリーン	1張
B	GF-5076	防球ネット(手引式)	ピアノ線張り 両開式 両サイド上部 ポリエチレンネット 100mm目 グリーン	2張

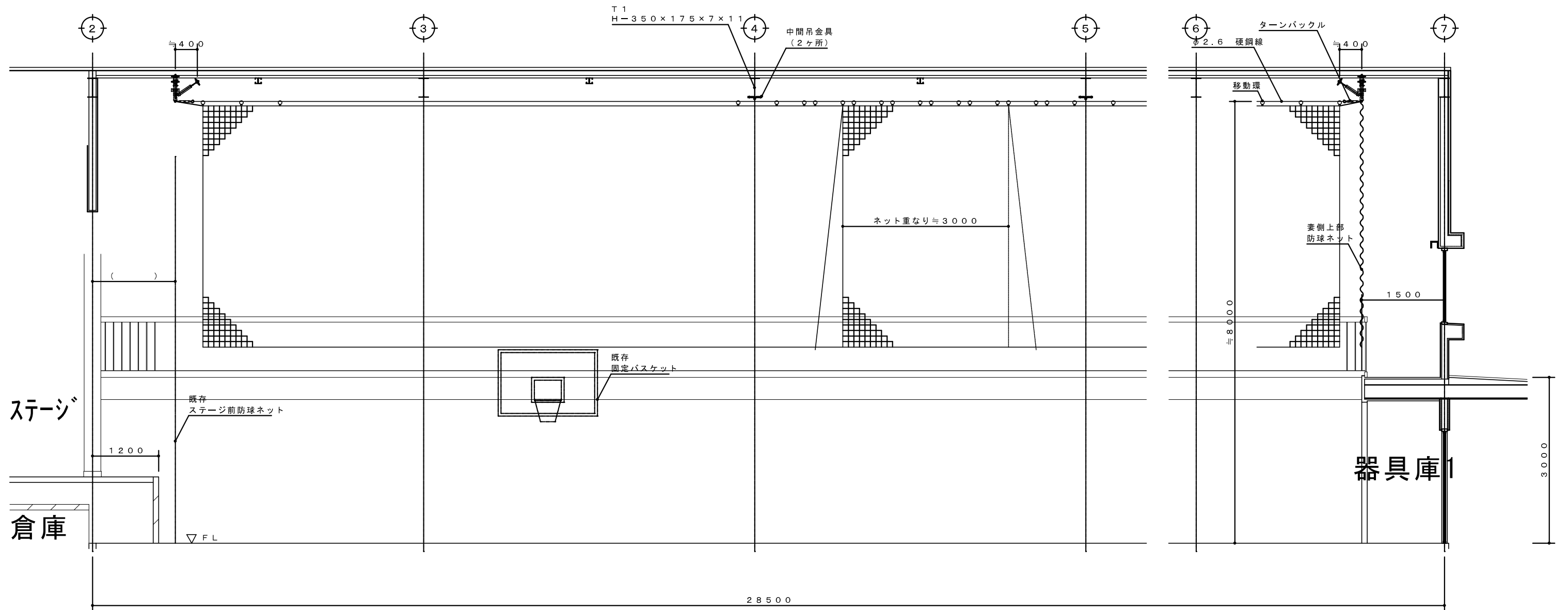
GF-5076 防球ネット(手引式)	1張
妻側上部 片開式	
ポリエチレンネット 100mm目 グリーン	

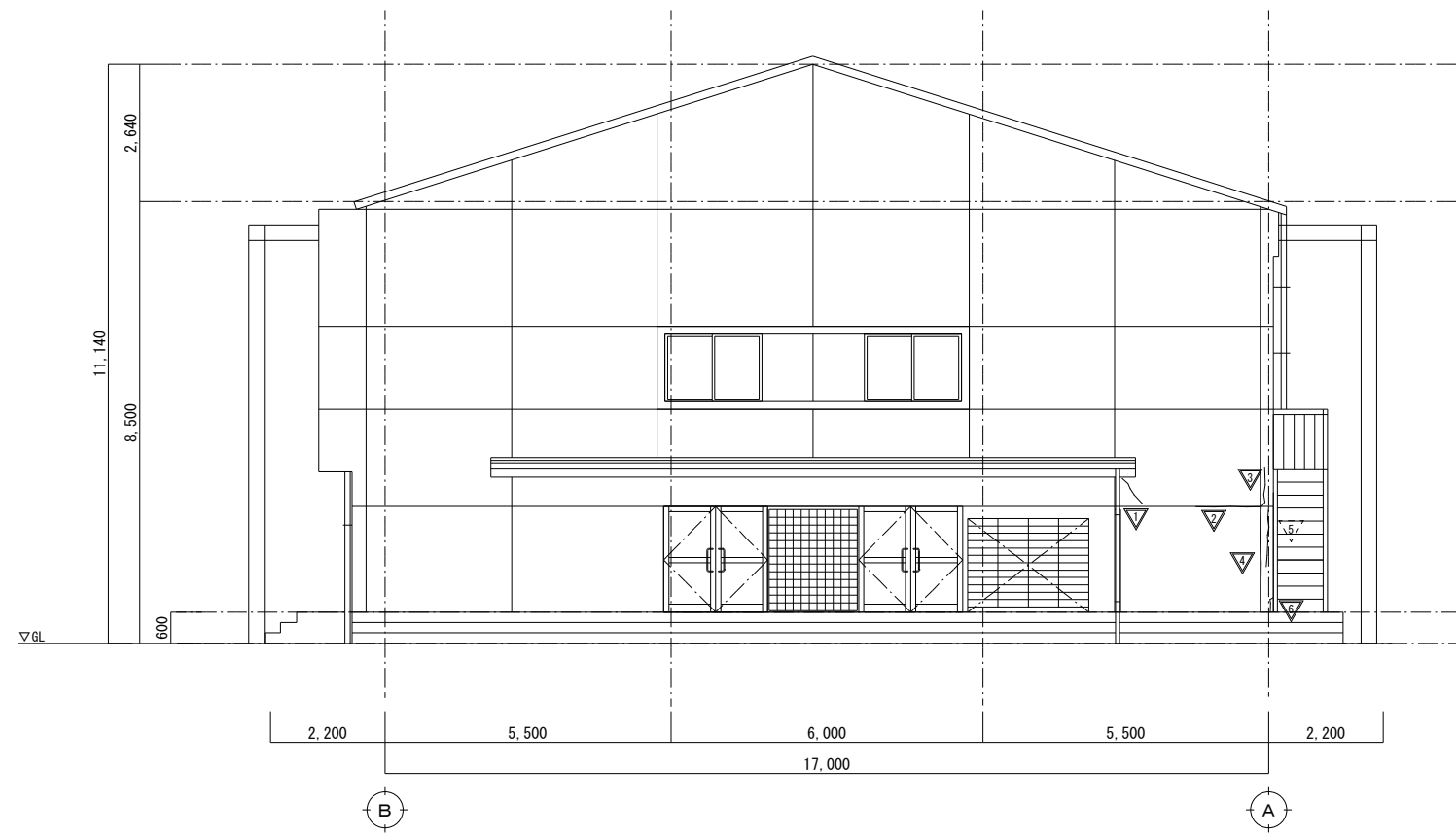
※防球ネット取付位置に
照明器具、電気配管など障害物が無い事。



GF-5076 防球ネット(手引式) 2張
両サイド上部 両開式
ポリエチレンネット 100mm目 グリーン

※防球ネット取付位置に
照明器具、電気配管など障害物が無い事。

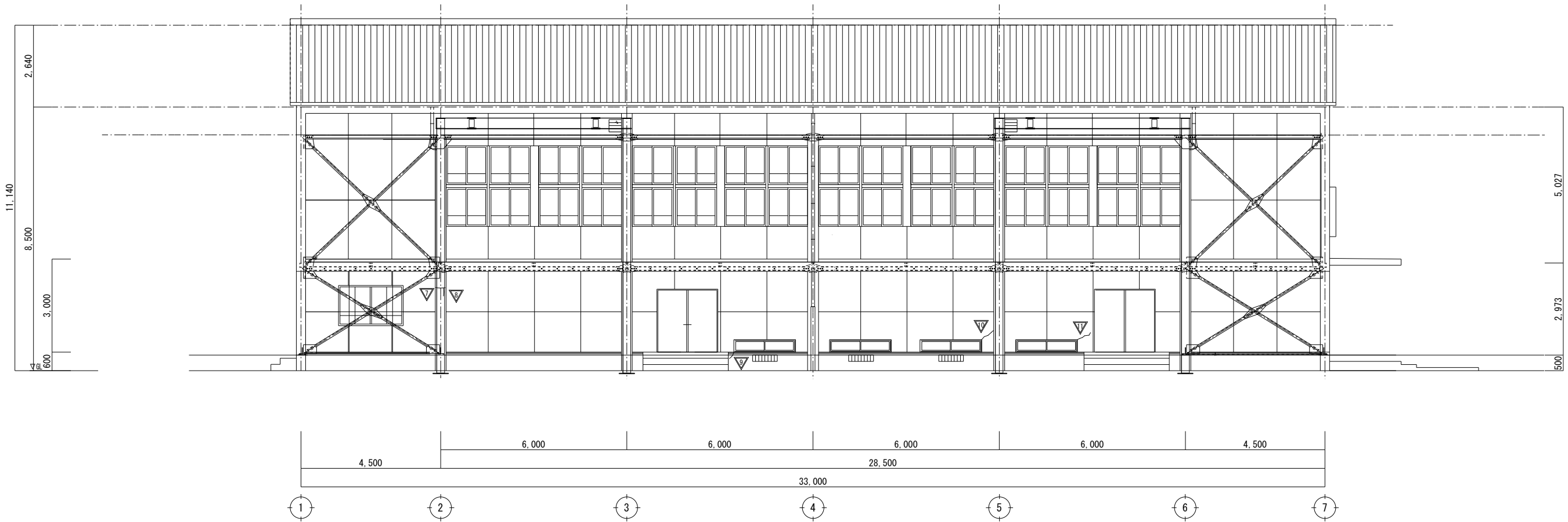




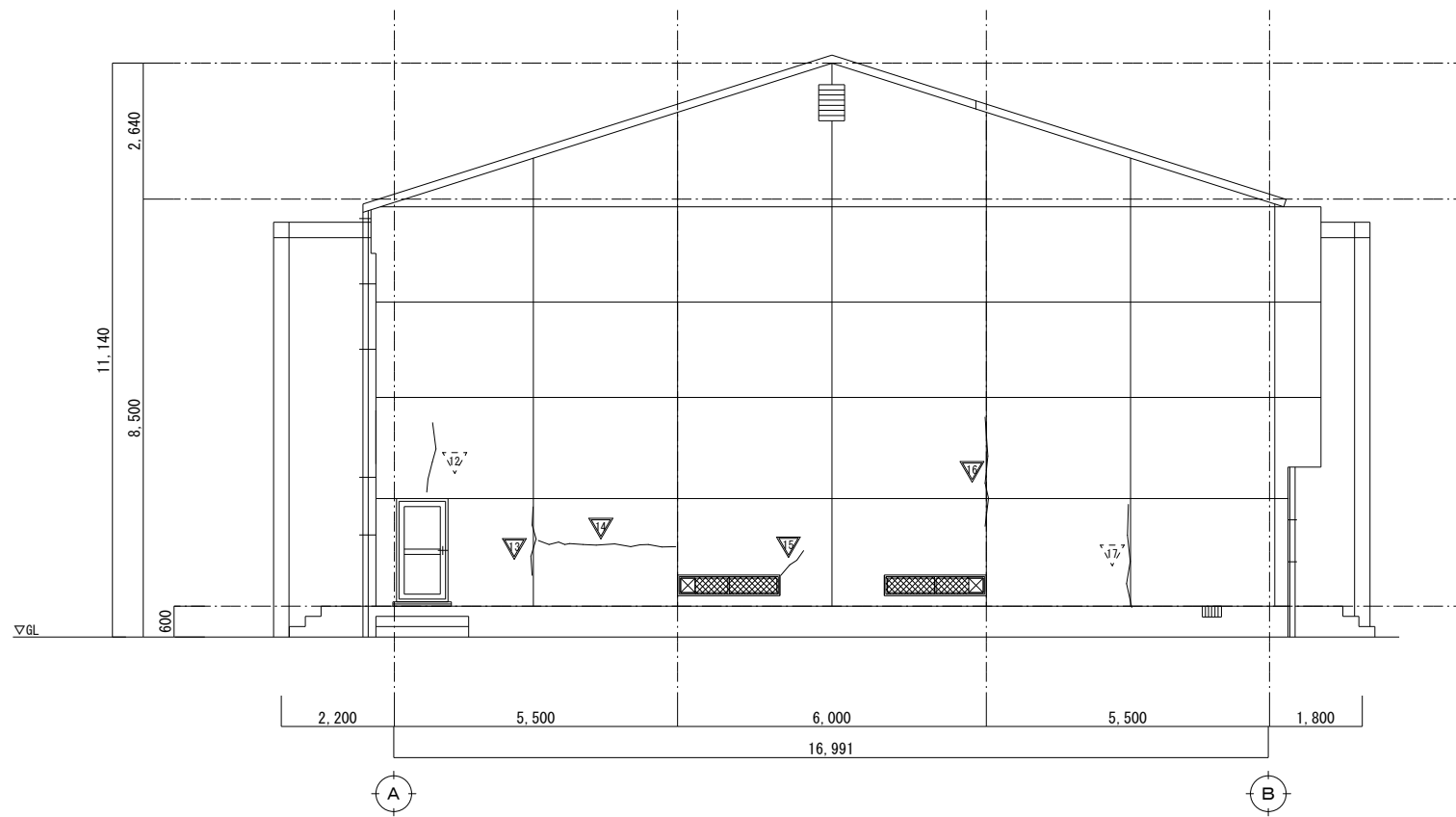
凡例

	B-6 ひび割れ (モルタル面)
	B-7 ひび割れ (モルタル面)

北側立面図 1/100



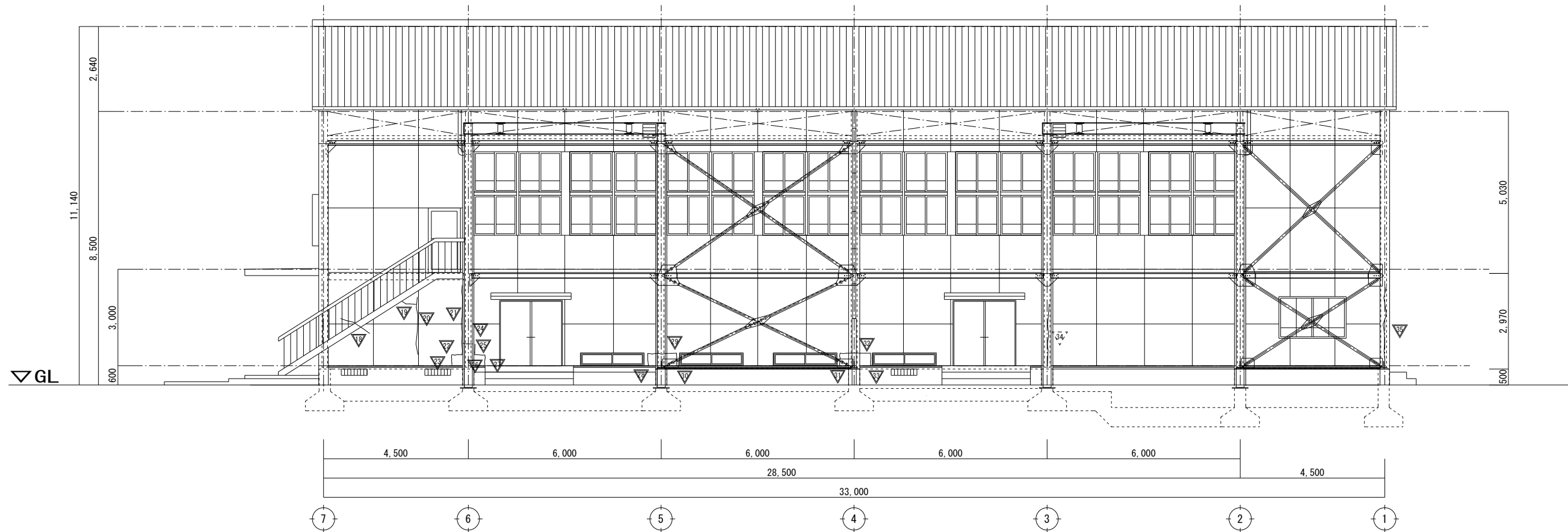
東側立面図 1/100



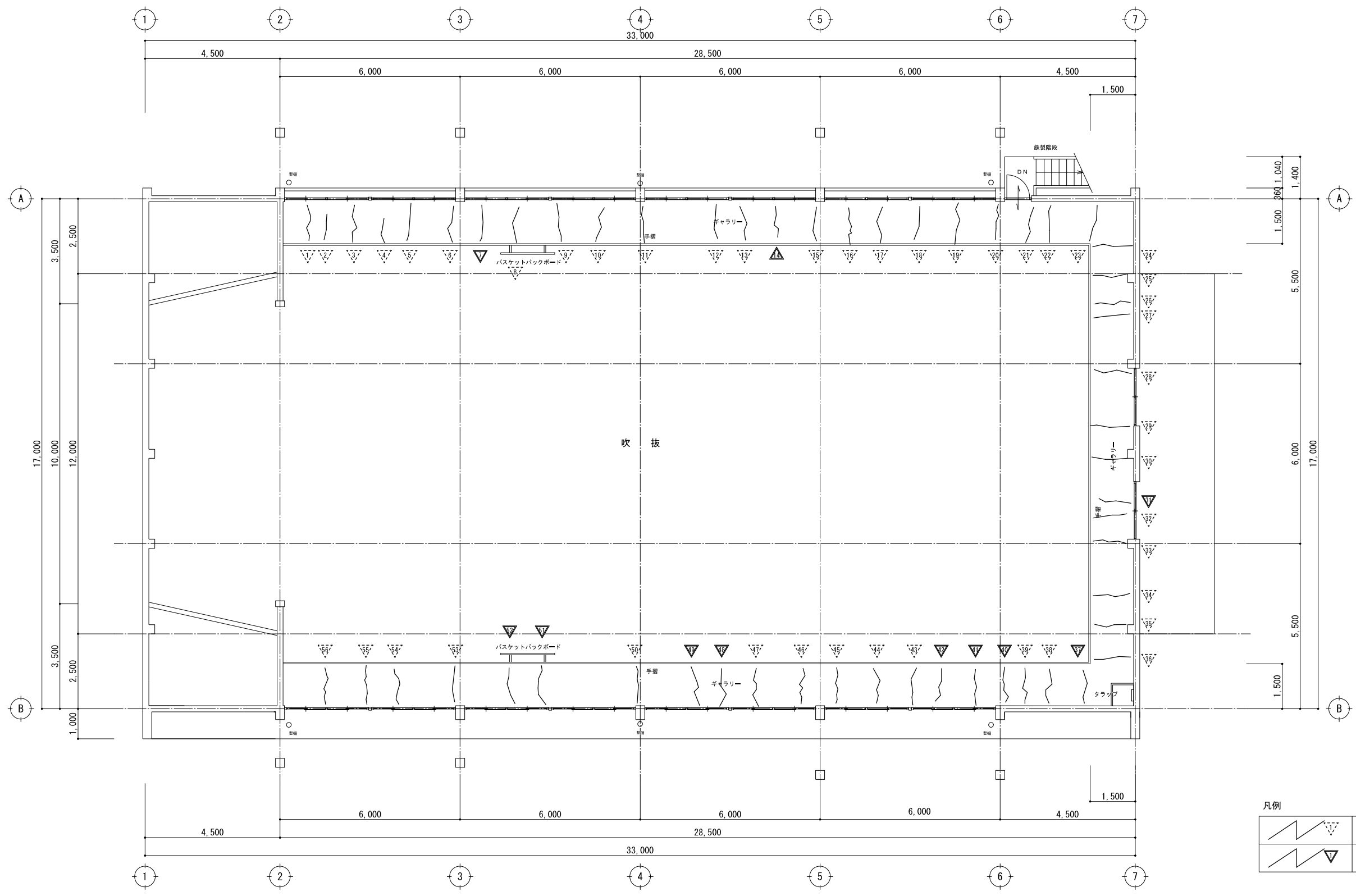
南側立面図 1/100

凡例

	B-6 ひび割れ (モルタル面)
	B-7 ひび割れ (モルタル面)



西側立面図 1/100

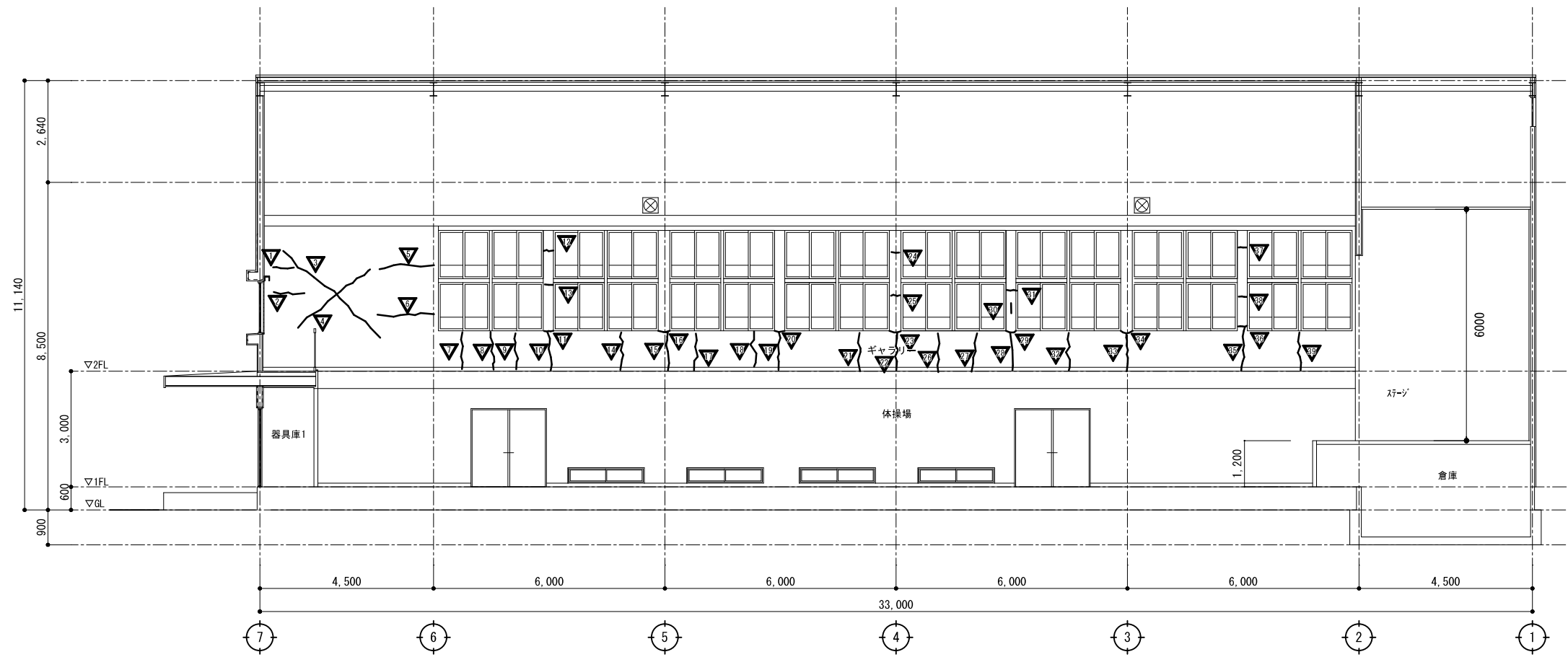


凡例

	B-6 ひび割れ (モルタル面)
	B-7 ひび割れ (モルタル面)

ひび割れ幅 (mm)	ひび割れ長さ (m)
1.0	18.0
1.5	28.5
2.0	39.0

2階平面図 1/100

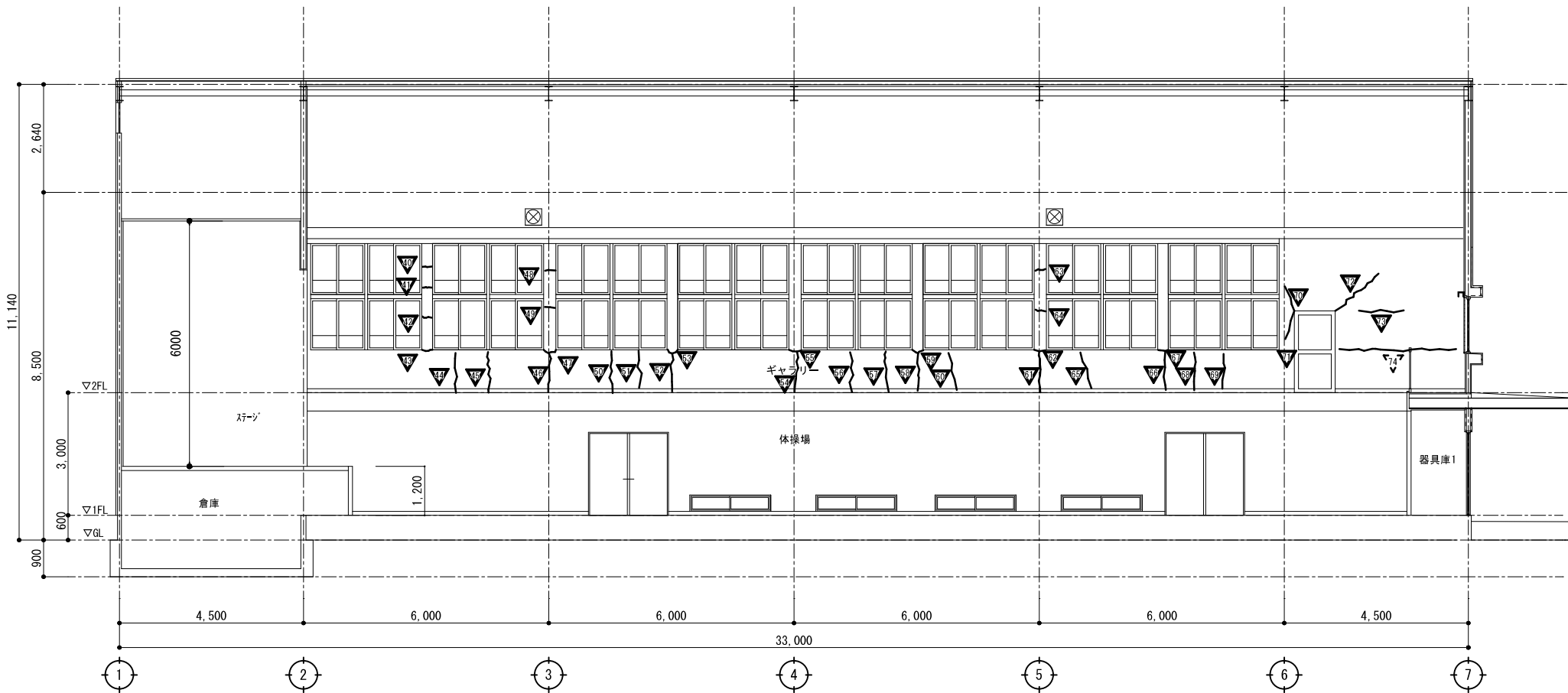


断面展開図 1/100

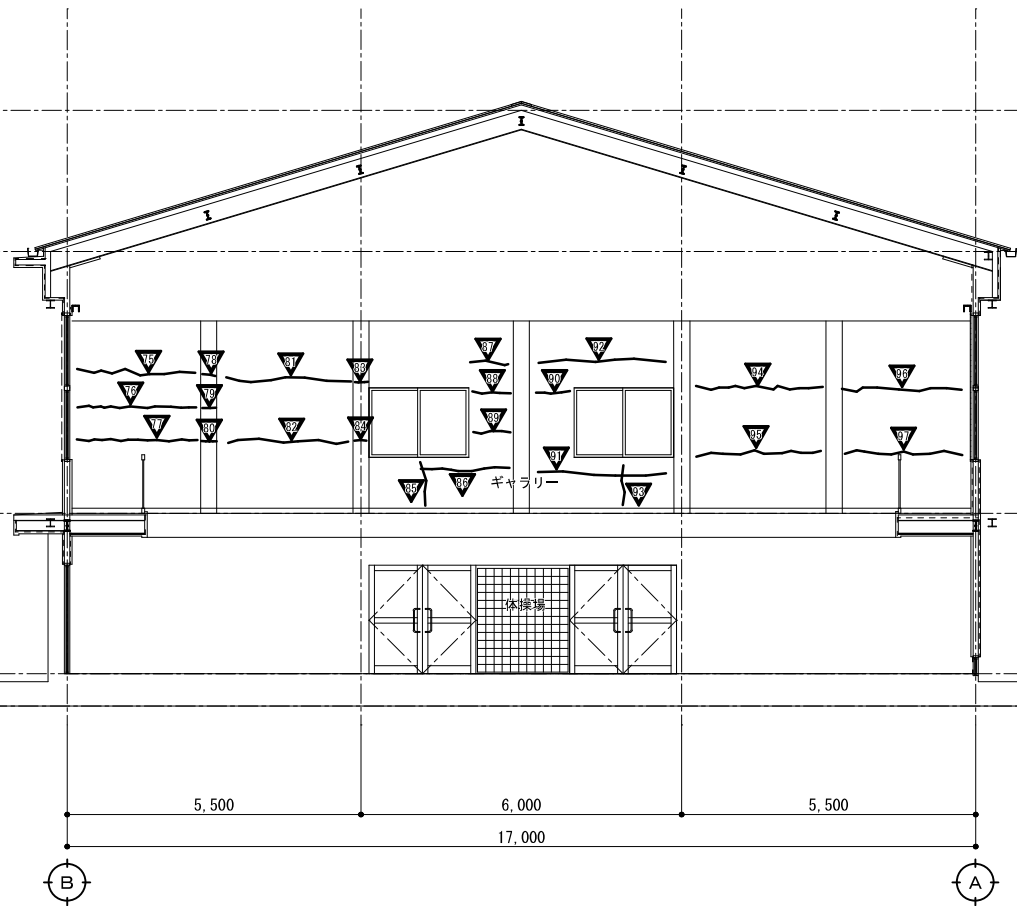
凡例

	B-6 ひび割れ (モルタル面)
	B-7 ひび割れ (モルタル面)

ひび割れ幅 (mm)	ひび割れ長さ (m)
0.2	5.2
0.3	15.9
0.5	64.4
1.0	1.7
1.5	3.2



断面展開図 1/100



断面展開図 1/100

参 考 数 量 表

工 事 名 称 鷺浦小学校屋内運動場長寿命化改修工事(建築主体工事)

工 事 場 所 三原市鷺浦町須波

[工 事 概 要]

用途, 構造, 面積	屋内運動場, S造, 561.00m2	
工 事 範 囲	建築工事一式	
別 途 工 事	電気・機械設備工事	
工 期	契約締結日の翌日 ～ 令和6年2月29日	
一 般 事 項		
《 工事予算内訳 》		
〈内 訳〉		
区 分		概 要
設 計 金 額		
消 費 税 額		
合 計 金 額		

工事費内訳

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費				
建築工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		
調査基準価格	1	式		
調査基準価格の100/110	1	式		

建築工事 中科目別内訳

屋内運動場					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設		1	式		
計					
防水改修	撤去	1	式		
防水改修	改修	1	式		
計					
外壁改修	撤去	1	式		
外壁改修	改修	1	式		
計					
建具改修	撤去	1	式		
建具改修	改修	1	式		
計					
内装改修	撤去	1	式		
内装改修	改修	1	式		
計					
塗装改修	改修	1	式		

建築工事 細目別内訳

屋内運動場		外壁改修		改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
施工数量調査	モルタル面	775	m ²			
B-7 モルタル面Uカットエポキシ 樹脂充填工法	0.2~1.0mm	212	m			
B-6 モルタル面Uカットシーラ材 注入工法	1.0mm以上 挙動 無し	54.4	m			
高圧水洗浄	150~200kg/cm ²	1,056	m ²			
既存仕上材サンダーケ レン		29.6	m ²			
既存仕上材サンダーケ レン		3.6	m ²			
下地調整塗材C-1	- 吹付け	873	m ²			
壁ラスこすりモルタル	厚さ9	3.9	m ²			
リフラス	A型2号	3.9	m ²			
外装薄塗材E	ケイカル面	68.7	m ²			
外装薄塗材E	防火下見板面	29.6	m ²			
防水型複層塗材E	モルタル面	775	m ²			
壁 けい酸 カルシウム板張り	タイプ2(ノンアス)0.8FK 厚 6 鋼製、木、ボード下地 突付け	0.8	m ²			
屋根メンテナンス用タラップ 取付	安全かご700×700 SUS304 FB6×50 φ25丸棒W400 SUS304	1	式			
計						

屋内運動場		建具改修		撤去		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
鋼製建具撤去 SD-1	両開きフラッシュ戸 W1700×H2030 扉のみ 集積共	4	か所			
鋼製建具撤去 SD-3	片開きフラッシュ戸 W850×H2030 扉のみ 集積共	1	か所			
鋼製建具撤去 SW-1	引違い窓 W1800×H300 窓のみ 集積共	8	か所			
鋼製建具撤去 SW-2	引違い窓 W1800×H1100 窓のみ 集積共	2	か所			
鋼製建具撤去 SW-3	引違い窓 W2700×H2700 窓のみ 集積共	16	か所			
鋼製建具撤去 SW-4	引違い窓 W1800×H1300 窓のみ 集積共	2	か所			
木製建具撤去 WD-1	引違い窓 W850×H2000 枠共 集積共	1	か所			
SW-1 格子撤去	W1800×H300 集積共	8	か所			
SW-3 格子撤去	W2730×H2730 集積共	16	か所			
SW-4 格子撤去	W1830×H1330 集積共	2	か所			
ガラス撤去	集積共	130	m ²			
計						

屋内運動場		建具改修		改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
(アルミ製建具)						
AW-1	W1720×H200	8	か所			
AW-1 運搬・取付費		1	式			
AW-2	W1720×H1000 ｶﾊﾞｰ-工法	2	か所			
AW-2 運搬・取付費		1	式			
AW-3	W2620×H2600 ｶﾊﾞｰ-工法	16	か所			
AW-3 運搬・取付費		1	式			
AW-4	W1720×H1200 ｶﾊﾞｰ-工法	2	か所			
AW-4 運搬・取付費		1	式			
AW-1 鋼製格子	W1720×H200	8	か所			
(鋼製建具)						
SD-1	W1700×H2030 ｶﾊﾞｰ-工法	4	か所			
SD-1 運搬・取付費		1	式			
SD-3	W850×H2030 ｶﾊﾞｰ-工法	1	か所			
SD-3 運搬・取付費		1	式			

屋内運動場		建具改修		改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
STD-1 調整	W5750×H2030	1	か所			
SD-2 調整	W850×H2030	1	か所			
(軽量鋼製建具)						
LSD-5	W850×H2000	1	か所			
LSD-5 運搬・取付費		1	式			
LSD-1 調整	W1200×H2000	1	か所			
LSD-3 調整	W800×H1900	2	か所			
LSD-2 取外し・再取付け	W4230×H2200	1	か所			
LSD-4 取外し・再取付け	W4410×H2200	1	か所			
(その他)						
強化透明ガラス	t4 1.80㎡以下	117	㎡			
ガラスとめ(シーリング)	シリコン 1成分形 SR-1	1,136	m			
ガラス清掃		6.8	㎡			
計						

屋内運動場		内装改修		撤去		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
基礎コンクリート撤去	鉄筋切断共	1.2	m ³			
土間コンクリート撤去	パッドプレート主体	0.2	m ³			
砕石撤去		8.4	m ³			
束石撤去		13.1	m ³			
床・縁甲板 フローリング撤去	集積共	476	m ²			
床組撤去	つか立て 集積共	476	m ²			
床下地板撤去	集積共	476	m ²			
木製幅木撤去	集積共	10.2	m			
壁モルタル・プラスター 撤去	集積共	259	m ²			
壁下地撤去	集積共	16.4	m ²			
壁下地撤去	集積共	11.2	m ²			
壁合板・ボード 撤去	一重張り 一般 集積共	14.8	m ²			
壁合板・ボード 撤去	二重張り 一般 集積共	27.5	m ²			
コーナ見切り撤去	米母	7.7	m			
天井下地撤去	集積共	47.6	m ²			

屋内運動場		内装改修		撤去		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
天井合板・ポート 撤去	一重張り 一般 集積共	47.6	m ²			
階段撤去	W600×L1000×H1200	2	か所			
木製柵撤去	W1350×D700×H1920	1	か所			
木製柵撤去	W1900×D900×H1000	2	か所			
木製柵撤去	W1900×D900×H1700	2	か所			
木製柵撤去	W4420×D550×H2130	1	か所			
木製机撤去	W600×D450×H600	12	か所			
木製台撤去	W1200×D450×H700	2	か所			
木製テーブル撤去	W1500×D450×H700	1	か所			
木製教壇撤去	W1900×D1000×H200	4	か所			
折りたたみテーブル 撤去	W1500×D450×H700	4	か所			
計						

建築工事 細目別内訳

屋内運動場		内装改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
すきとり	積み込み共 H300程度	105	m ³			
敷きならし	締め固め共	105	m ³			
砂利地業	再生クランチャー	48.1	m ³			
床下防湿層敷き	ポリエチレンフィルム 厚0.15	476	m ²			
異形鉄筋	SD295 D10	5,605	kg			
異形鉄筋	SD295 D16	20.8	kg			
スクラップ 控除	鉄 H2	▲151	kg			
鉄筋加工組立		5,409	kg			
鉄筋運搬費		5,409	kg			
普通コンクリート	JIS A5308 呼び強度18 S15 粗骨材20	0.1	m ³			
普通コンクリート	JIS A5308 呼び強度21 S15 粗骨材20	58.1	m ³			
コンクリート打設手間	捨てコンクリート 人力打設 - S15~S18 - -	0.1	m ³			
コンクリート打設手間	土間 ポンプ打設 50m ³ /回程度 S15~S18 - 圧送費、基本料別途	57.9	m ³			
コンクリート打設手間	小型構造物 人力打設 工作物の基礎等 S15~S18 - -	0.2	m ³			
コンクリートポンプ 圧送	50m ³ 以上100m ³ /回未満 基本料金別途加算	57.9	m ³			

屋内運動場		内装改修		改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリートポンプ圧送基本料金	50m3以上100m3/回未満	1	回			
普通型枠	小型構造物	8	m ²			
型枠運搬費	4t車 30km程度 往復	8	m ²			
ビニル床シート	無地 厚さ2.0 複層ビニル床シートFS 一般床 熱溶接工法	102	m ²			
床モルタル塗り	金ごて モルタル仕上げ 厚30	1.3	m ²			
床コンクリート直均し仕上げ	金ごて 直均し仕上げ	476	m ²			
鋼製床組	根太 30×35×1.2 @300 大引 40×40×1.6 @900 支持脚 @900×900	476	m ²			
複合フローリング*	t18 表層カバ t6	476	m ²			
床構造用合板張り	t12	476	m ²			
床下点検口	アルミ製 600×600	2	か所			
床換気口	ステンレス製 200×900	20	か所			
鋼製床組取合い材* レンゴム	18×20	91.9	m			
木製幅木	米梅 18×150	5.1	m			
木製幅木	米梅 20×150	5.1	m			
壁ビニルクロス張り	ボード面	55.8	m ²			

屋内運動場		内装改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
壁 せっこうボード 張り (GB-R)	厚 9.5 準不燃 鋼製、木、ボード下地 突付け -	260	m ²			
壁 せっこうボード 張り (GB-R)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 突付け -	11.2	m ²			
壁 けい酸 カルシウム板張り	タイプ 2(ノンズ)0.8FK 厚 6 鋼製、木、ボード下地 突付け -	0.8	m ²			
壁合板張り	t9.0 ボード下 LGS面	260	m ²			
壁フッ合板張り	t9.0 木下地面	11.2	m ²			
壁フッ合板張り	t12.0 LGS面	31.1	m ²			
壁汁合板張り	t5.5 合板面 目透し	16.4	m ²			
軽量鉄骨壁下地	65形 下地張りあり @450	16.4	m ²			
木胴縁	40×50	11.2	m ²			
木製額縁	25×55.5	4.9	m			
台ヒ	105×90	12.4	m			
コーナー見切り	米梅	7.7	m			
B-7 モルタル面Uカットエポキシ 樹脂充填工法	0.2~1.0mm	841.6	m			
B-6 モルタル面Uカットシール材 注入工法	1.0mm以上 挙動 無し	565.6	m			
木製棚	W1350×D700×H1920	1	か所			

屋内運動場		塗装改修		改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
(外部)						
SOP塗装	鋼製建具面 錆止め共	45.8	m ²			
SOP塗り (糸幅300mm以下)	木部 工程B種(屋内) 素地A種	4.9	m			
SOP塗り (糸幅300mm以下) 改修仕様	木部 工程B種 下地調整RB種(塗替え面)	197	m			
DP塗装	ケイル面	0.8	m ²			
DP塗替え	鉄鋼面 下地調整RB種	315	m ²			
DP塗替え	鋼製建具面 下地調整RB種	5.9	m ²			
DP塗替え	鉄部 細幅物 下地調整RB種	76.8	m			
屋根 遮熱塗装	鋼板面 下地調整共	634	m ²			
(内部)						
SOP塗り (糸幅300mm以下)	木部 工程B種(屋内) 素地A種	22.6	m			
SOP塗り 改修仕様	鉄鋼面 工程B種 塗料1種 錆止工程C塗料A 下地RB種(塗替え面)	67.7	m ²			
SOP塗替え	鉄部 細幅物 下地調整RB種	506	m			
SOP塗り (糸幅300mm以下) 改修仕様	木部 工程B種 下地調整RB種(塗替え面)	52.1	m			
EP塗り	ポット面 工程B種(一般) 素地B種	0.8	m ²			

屋内運動場		直接仮設				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
墨出し		1	式			
墨出し(内部改修)	複合改修	521	m ²			
計						
養生		1	式			
養生(屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	28.2	m ²			
養生(外壁改修)		204	m ²			
養生(内部改修)	複合改修	670	m ²			
計						
整理清掃後片付け		1	式			
整理清掃後片付け(屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	28.2	m ²			
整理清掃後片付け(外壁改修)		204	m ²			
整理清掃後片付け(内部改修)	複合改修	670	m ²			
計						

屋内運動場		直接仮設				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
枠組本足場 (手すり先行方式)	W900 12.0m未満	1	式			
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 掛払い手間 12m未満 - -	1,038	m ²			
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 供用1日賃料 修理費含む 12m未満 - -	1,038	m ²			
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 基本料 修理費含む 12m未満 - -	1,038	m ²			
計						
安全手すり	枠組本足場用	1	式			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 掛払い手間 -	110	m			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 供用1日賃料 修理費含む -	110	m			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 基本料 修理費含む -	110	m			
計						

屋内運動場		直接仮設				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
内部仕上足場	脚立足場	1	式			
内部仕上足場	掛払い手間 脚立足場 階高4.0m以下 -	245	m ²			
内部仕上足場	供用1日賃料 修理費含む 脚立足場 階高4.0m以下 -	245	m ²			
内部仕上足場	基本料 修理費含む 脚立足場 階高4.0m以下 平家用	245	m ²			
計						
災害防止		1	式			
養生シート張り	防災I類 掛払い手間 -	1,038	m ²			
養生シート張り	防災I類 供用1日賃料 修理費含む -	1,038	m ²			
養生シート張り	防災I類 基本料 修理費含む -	1,038	m ²			
計						

屋内運動場		環境配慮改修		撤去		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
アスベスト除去		1	式			
(アスベスト除去費)						
床養生	ﾌﾟﾗｽチックｼｰﾄ(厚0.15mm以上)二重 +吸水ｼｰﾄ	150	m ²			
床養生	ﾌﾟﾗｽチックｼｰﾄ(厚0.15mm以上)一重	750	m ²			
壁・開口養生	ﾌﾟﾗｽチックｼｰﾄ(厚0.08mm以上)一重	850	m ²			
天井養生	ﾌﾟﾗｽチックｼｰﾄ(厚0.08mm以上)一重	150	m ²			
外装塗材撤去(下 地調整共)	AGﾊﾞﾌﾞﾙｼｽﾃﾑ	840	m ²			
AGﾊﾞﾌﾞﾙｼｽﾃﾑ機 械設置解体費		1	式			
AGﾊﾞﾌﾞﾙｼｽﾃﾑ機 械運搬費	4tユニック 燃料費共	3	車			
AGﾊﾞﾌﾞﾙｼｽﾃﾑ設置 箇所屋根設置	W5.0×L5.0×H3.0程度(単管・コンﾊﾞｰﾝ)	1	式			
発電機	45KVA 燃料・運搬費共	1	式			
コンプレッサー	7.5馬力 アフタークーラー付き 燃料・運搬費共	1	式			
カバーアップ剤散布	除去面	840	m ²			
廃石綿密封処理	二重梱包(除去塗材・床養生材共)	1	式			
清掃費	施工区画二回清掃	900	m ²			

屋内運動場		環境配慮改修		撤去		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
アスベスト除去		1	式			
消耗品費	手袋・マスク等	840	m ²			
小計						
(粉塵濃度測定費)						
処理作業中	作業所内の作業員近傍	1	点			
処理作業中	AG ⁺ アブシステム装置の排気口近傍	1	点			
処理作業後(養生撤去前)	作業所内の作業員近傍	1	点			
小計						
(産業廃棄物処分費)						
特別管理産業廃棄物運搬費	4t(1車-8m ³)	2	台			
特別管理産業廃棄物処分費	除去アスベスト・養生材(床養生のみ)共	10	m ³			
小計						
計						

